岩手県文化財調査報告書　第142集

岩手県内遺跡発掘調査報告書

（平成25年度　国庫補助事業）

平成27年３月

岩　手　県　教　育　委　員　会

岩手県内遺跡発掘調査報告書

（平成25年度　国庫補助事業）

岩　手　県　教　育　委　員　会

序

平成23年３月11日に発生した東日本大震災津波から既に４年が経過したところであり、本県では、昨年、震災により発生したがれきと津波堆積物の処理が完了し、三陸沿岸の交通の柱となる三陸鉄道が完全復旧を果たすなど、着実に復興に向けた歩みが進んでおります。

当教育委員会では復興事業に伴う埋蔵文化財調査の増加に対応するため、平成24年度より文化庁の調整の下、全国の自治体から専門職員の派遣をいただいております。今年度も12道府県より支援を受け、埋蔵文化財調査の円滑な実施に努めてまいりました。

『岩手県内遺跡発掘調査報告書』は、県内に所在する遺跡の周知並びに開発事業との調整の中で行った諸調査の記録を目的として、平成元年度から当教育委員会が年次発刊してきたものです。本書には、平成25年度に実施した発掘調査、試掘及び分布調査のうち、復興関連事業を除いた通常事業に係る調査成果をまとめております。本書が広く活用され、埋蔵文化財保護に役立てば幸いです。

最後になりましたが、調査及び報告書作成に御指導と御協力をいただきました関係機関各位に厚く感謝申し上げます。

平成27 年３月

岩手県教育委員会

教育長　高　橋　嘉　行

目　　次

序

例言

凡例

Ⅰ　発掘調査

1　一関遊水地事業（第２管理用通路）（小島館（古館）遺跡）　2

2　地域連携道路整備事業飯岡工区（大宮遺跡）　6

3　岩手県企業局大規模太陽光発電所建設事業（相去遺跡）　9

4　地域連携道路整備事業（赤川Ⅱ遺跡）　11

5　経営体育成基盤整備事業六原地区（町の内道下遺跡・町の内道上遺跡）　51

6　経営体育成基盤整備事業和賀中部第四地区（伍大坂Ⅱ遺跡・六軒遺跡）　55

7　経営体育成基盤整備事業和賀中部岩崎地区（本郷野遺跡）　61

Ⅱ　試掘調査

1　一関遊水地事業（第２管理用通路）（館岡Ⅱ遺跡・小島館（古館）遺跡）　68

2　畑地帯総合整備事業（担い手育成型）湯田地区（段ノ越遺跡）　70

3　一般国道456号関口地区交通安全施設整備事業（上野々遺跡）　72

4　一般国道340号和井内地区地域連携道路整備事業（和井内西遺跡）　74

5　主要地方道重茂半島線千鶏地区地域連携道路整備事業（千鶏Ⅳ遺跡）　75

6　災害復旧事業白浜（鵜）地区（向山遺跡）　76

7　経営体育成基盤整備事業石山地区（大日前遺跡）　77

8　経営体育成基盤整備事業荻ノ窪地区（小十文字遺跡・石行遺跡）　78

9　経営体育成基盤整備事業古城２期地区（中畑城遺跡）　80

調査一覧表

1　発掘調査一覧　83

2　試掘調査一覧　84

3　分布調査一覧　86

4　工事立会一覧　92

報告書抄録

例　　言

1　本書は岩手県教育委員会が平成25年度に実施した県内遺跡調査事業に係る調査成果の概要報告である。

2　本事業は岩手県教育委員会が調査主体となり、(公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下、県埋蔵文化財センターと略記する）及び関係市町村教育委員会の協力を得て、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課埋蔵文化財担当が行った。

3　遺跡位置図は、国土地理院発行『数値地図25,000（地図画像)』（ＣＤ‐ＲＯＭ版）を使用した。

4　発掘調査の調査区位置図、試掘調査の調査図等は各事業者から提供された工事計画図・地形図等を原図として作製した。

5　遺跡位置図・調査区位置図等においては、遺跡範囲をアミフセ、トレンチ・調査区をシロヌキでそれぞれ示した。

6　発掘調査については調査成果の概要を記載した。

7　発掘調査の遺物実測図・遺物観察表は遺跡ごとに、試掘調査の遺物実測図は一括して掲載した。

8　遺構・遺物名称は次のように略号を付した。掘立柱建物：ＳＢ、竪穴住居：ＳＩ、土坑・陥し穴状遺構：ＳＫ、溝：ＳＤ、柱穴：ｐｐ、土器：Ｐ、石器・礫：Ｓ

9　遺構・遺物実測図の掲載の縮尺は以下のとおりで、それぞれにスケールを付した。実測図の表現は凡例のとおりである。

遺構：1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/150

遺物（土器)：1/3、1/4、(石器)：2/3、1/3、(木製品)：1/3、(古銭)：1/1

10　写真図版は、主な遺構・遺物を選択して掲載した。掲載縮尺は、遺構については任意、遺物については実測図と同寸である。

11　平成25年度、復興事業に伴う埋蔵文化財調査の増加が予想されたことから、文化庁の調整の下、当教育委員会では８道府県から各１名、計８名の専門職員の派遣を受けた。平成25年度の調査体制は次のとおりとした。

〈埋蔵文化財担当総括〉文化財専門員　菅常久

〈予算・経理〉主任　藤村フサ子

〈通常事業担当〉文化財専門員　千葉正彦・佐々木務・晴山雅光　文化財調査員　栗谷昭博

〈復興事業担当〉文化財専門員　半澤武彦・鳥居達人・相原伸裕

[派遣専門職員] 文化財専門員　宗像公司(北海道)・斉藤慶吏(青森県)・宇田川浩一(秋田県)、上席文化財専門員　安井健一（千葉県)、文化財専門員　武田寛生（静岡県)・北原治（滋賀県)・横田明（大阪府)・平美典（鹿児島県）

※(　) は派遣元の道府県

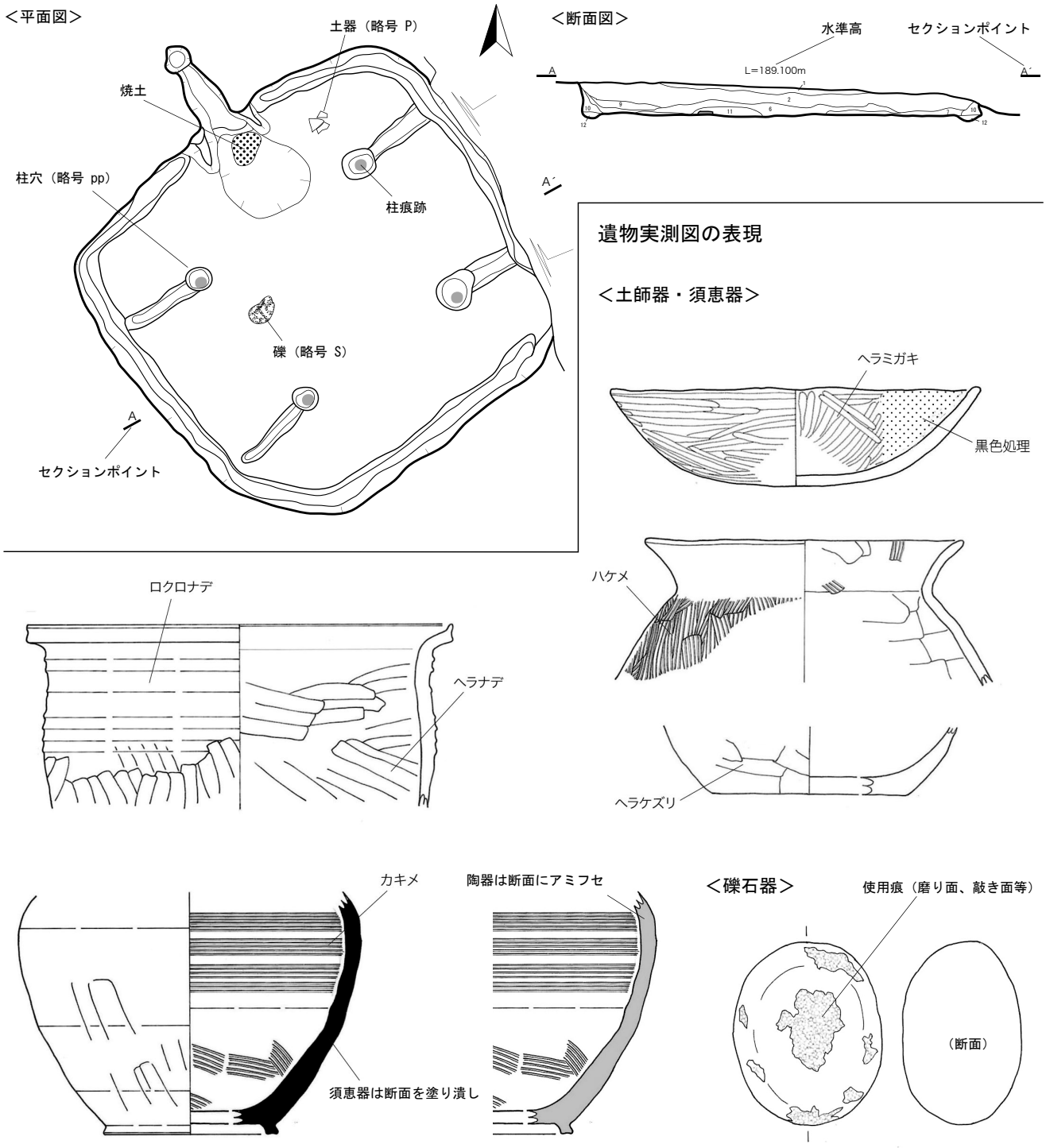
※ このほかに、平成25年４月の約１か月間、青森県教育委員会から５名（永嶋豊・浅田智晴・葛城和穂・荒谷伸郎・加藤隆則各氏）による復興事業に伴う調査支援をいただいた。

12　本書には、埋蔵文化財緊急調査費国庫補助の交付を受けて実施した通常事業関係調査を収録した。野外調査・室内整理は主として千葉・晴山・栗谷・鳥居・佐々木が担当し、報告書の作成・編集は千葉・晴山・鳥居・高橋が行った。なお、復興事業関係の調査については、第143集として別途刊行した。

13　本事業の調査記録及び出土品は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課が保管している。

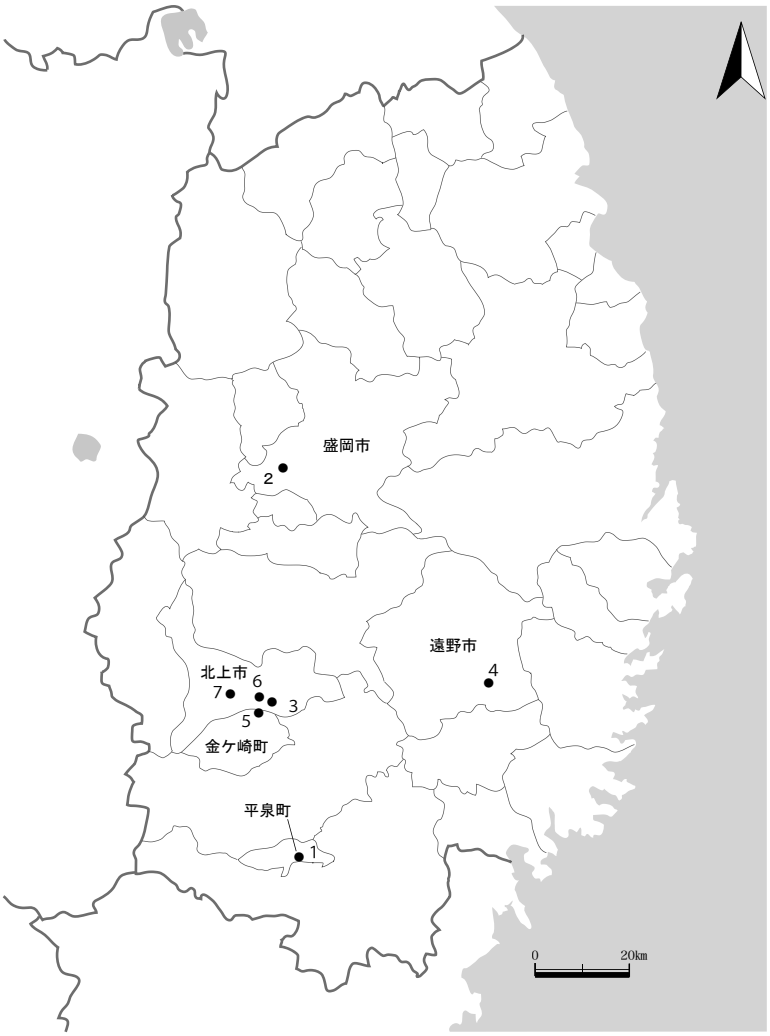
凡　　例

遺構図の表現



第１図　凡例

Ⅰ　発掘調査



発掘調査

1　小島館遺跡（平泉町）
2　大宮遺跡（盛岡市）
3　相去遺跡（北上市）
4　赤川Ⅱ遺跡（遠野市）
5　町の内道下遺跡・町の内道上遺跡（金ケ崎町）
6　伍大坂Ⅱ遺跡・六軒遺跡（北上市）
7　本郷野遺跡（北上市）

第２図　発掘調査位置

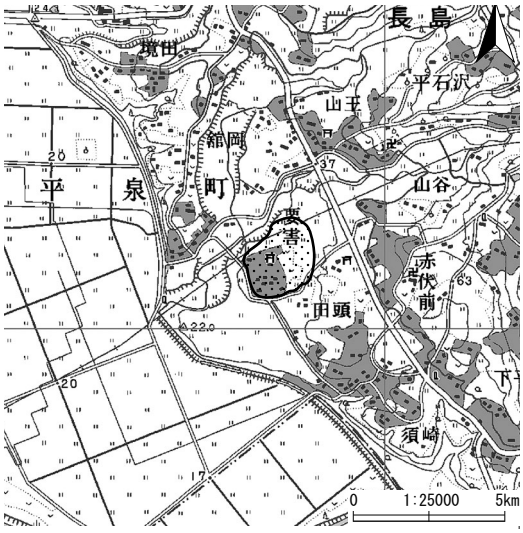
1　一関遊水地事業（第２管理用通路）

小島館（古館）遺跡（NE76－1383）

所 在 地：西磐井郡平泉町長島字古館

事 業 者：国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所

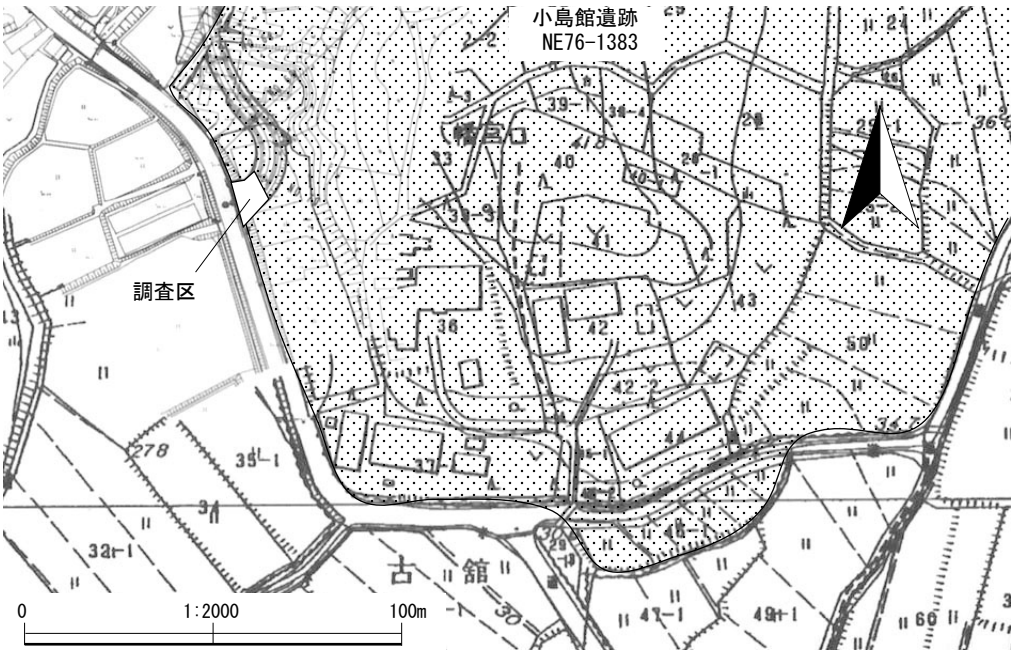
調査期日：平成25年８月21日（水）～８月22日（木）



第３図　小島館遺跡位置

小島館遺跡は平泉町役場の東約2.7㎞、北上川左岸の氾濫低地へと舌状に張り出す段丘面に立地している。当遺跡は中世末期の城館跡であり、城主は「小島三右衛門」と伝えられている。遊水地の管理用通路工事に係り、遺跡の一部が工事予定地に含まれることから７月に試掘調査を実施した結果、遺構が検出されたため、今回、検出遺構周辺について発掘調査を行ったものである。調査地は現町道脇の畑地で、現道から１m弱の段差をもって高くなっている。基本層序は次のとおりである。Ⅰ層：表土・盛土（層厚80～150㎝。ビニール片、磁器等の近現代遺物を含む。新旧２期あると思われる）。Ⅱ層：黒褐色土（層厚0～20㎝。ほぼ削平されているが、部分的に残存）。Ⅲ層：明黄褐色土（層厚不明。砂質で礫を疎らに含む。遺構検出面）。

調査の結果、土坑２基（SK01・02）が検出された。調査区中央付近のSK01は試掘で確認したもので、開口部は1.3m ×1.3mの隅丸方形状、深さ15㎝、埋土はにぶい黄褐色粘質土の単層である。壁の立ち上がりは緩やかで、断面形は浅皿形になっている。また、底面には地山に含まれる巨礫が露出している。一方、南側調査区境に位置するSK02は、一部が調査区外に延びており全体形は不明であるが、開口部平面形は径1.4m程度の円形と推測される。深さは70㎝で、壁は底面からほぼ直立している。埋土は黒褐色粘質土の単層でしまり無く、底面直上には大礫が混入している。この２基の埋土から、ロクロかわらけ、石器と思われる扁平な礫が出土した。なお試掘で検出した溝跡は、地山面では

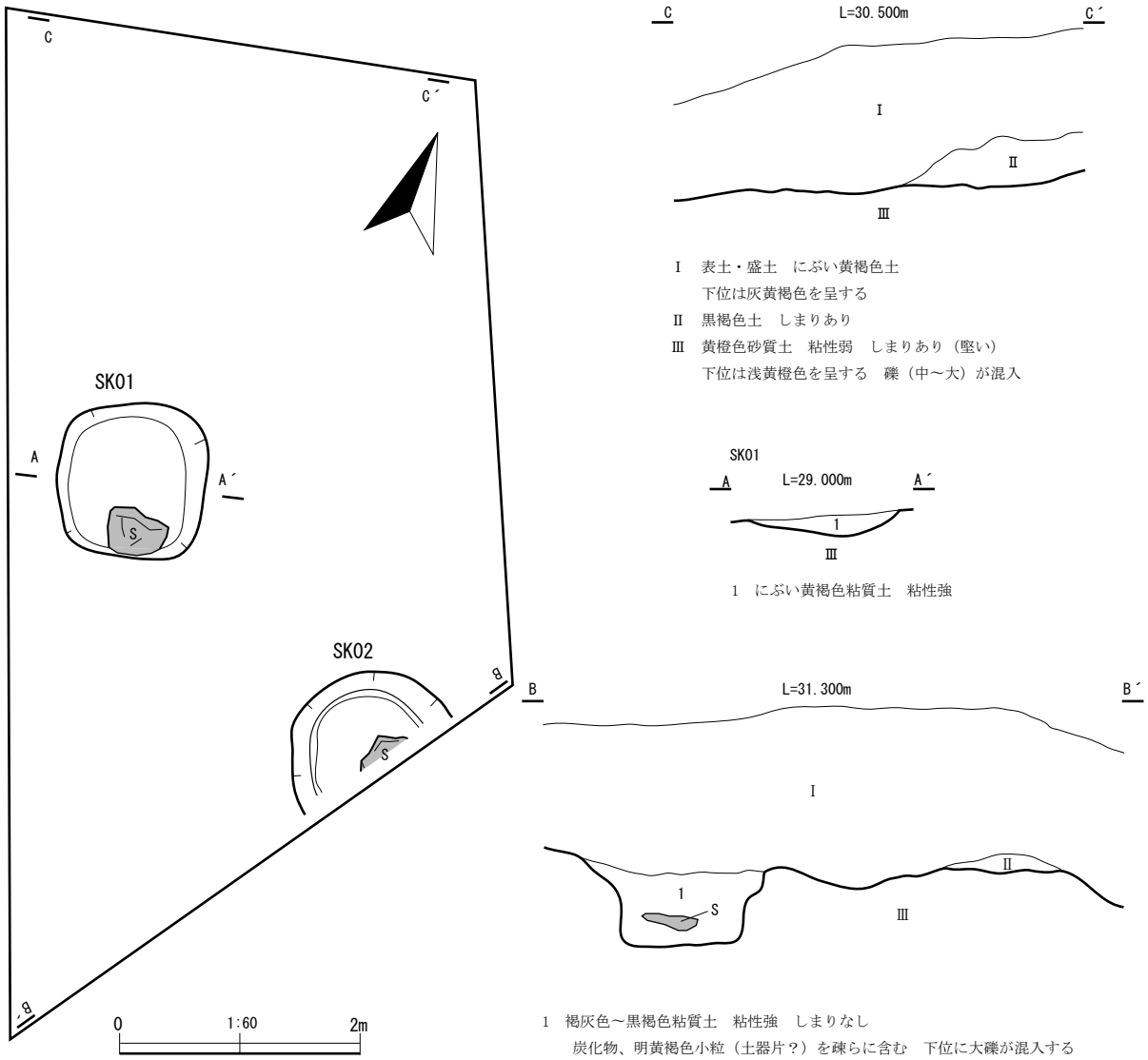


第４図　小島館遺跡調査位置

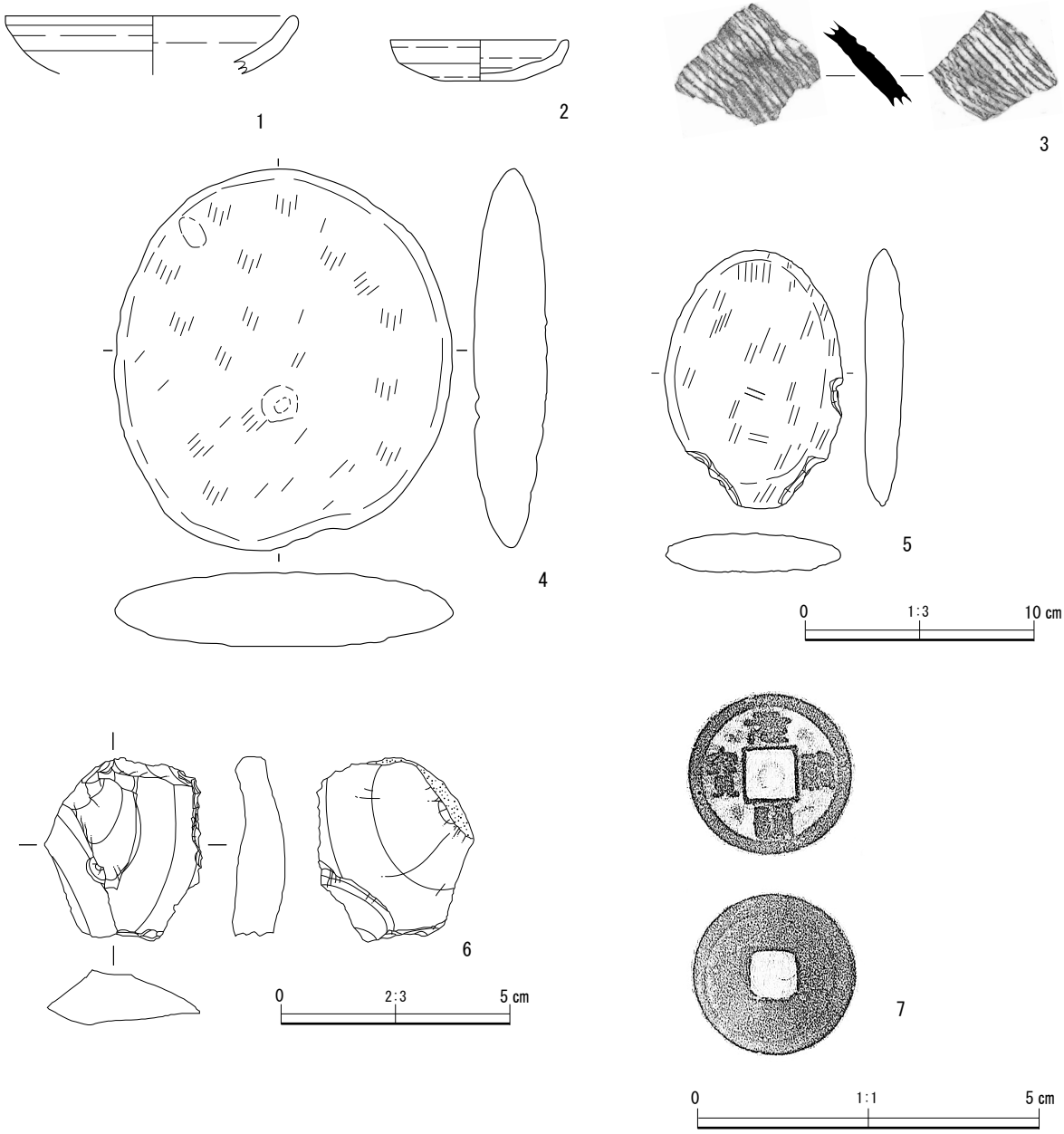
ごく浅い痕跡程度のものであるが、調査区境の土層断面を観察したところ盛土層から掘り込まれていると判明したため、遺構とは認定しなかった。遺物はごく少なく、上述のかわらけ・石器以外に、遺構外・盛土層から須恵器(小型甕)片、北宋銭(元祐通宝､1086年)がそれぞれ１点出土したのみである。

今回調査地は、土層断面を参照するとほぼ地山（Ⅳ層）上面まで削平されており、現況の段のほとんどが盛土によって造成されたものと判明した。検出した土坑２基は上部を削平されていると推測される。２基ともにかわらけが出土したことから、12世紀、奥州藤原氏時代に属する可能性がある。

なお、今回調査地よりも奥側（東側）については、本来は斜面上方にあたり削平著しいものと推測し、試掘結果を考えあわせて、調査区を拡張しなかった。また地山面では柱穴等の遺構は確認されなかったため、削平が中世城館にともなう普請によるものとは思われず、調査地内では中世城館に関連する遺構・遺物はないと判断した。



第５図　小島館遺跡遺構配置・検出遺構



第６図　小島館遺跡出土遺物

第１表　小島館遺跡出土遺物観察表

遺跡名	掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）				特徴
							口径	器高	底部径	重量	
							縦	横	厚さ		
小島館	1	SK01	埋土	土師器	かわらけ	口縁部	(13.0)	(2.6)	—	—	内外面ロクロナデ
小島館	2	SK02	埋土	土師器	かわらけ	口縁部～底部	(8.0)	1.8	3.4	—	内外面ナデ
小島館	3	発掘区	盛土	須恵器	甕	体部	—	—	—	—	内外面タタキ
小島館	4	SK01	埋土	石器	根石		16.8	14.9	3.4	1074.4	中央部に柱痕？あり
小島館	5	SK02	埋土	石器	磨石		11.4	7.9	1.8	202.6	
小島館	6	SK02	埋土	石器	フレーク		4.1	3.5	1.1	15.9	頁岩
小島館	7	発掘区	盛土	古銭	元祐通宝		2.4	2.4	0.1	3.0	銅

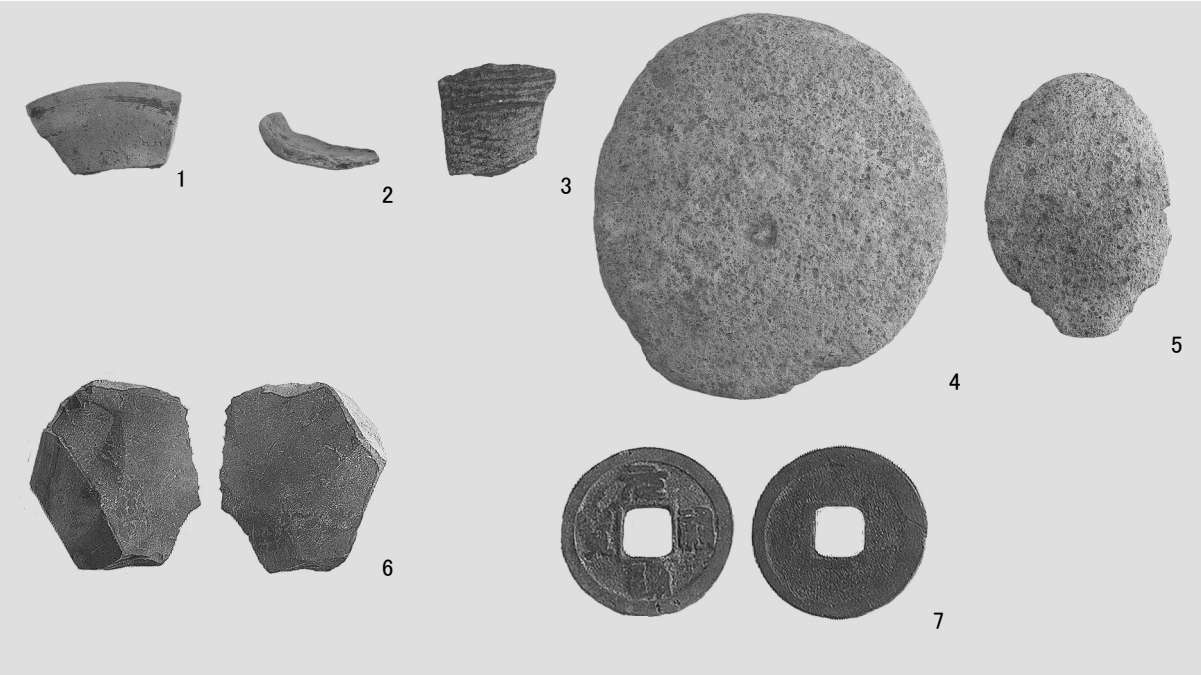
調査状況（北西から）

１号土坑　断面（南東から）

１号土坑　完掘（北から）

２号土坑　完掘（北から）

写真図版１　小島館遺跡検出遺構・調査状況



写真図版２　小島館遺跡出土遺物

２　地域連携道路整備事業飯岡工区

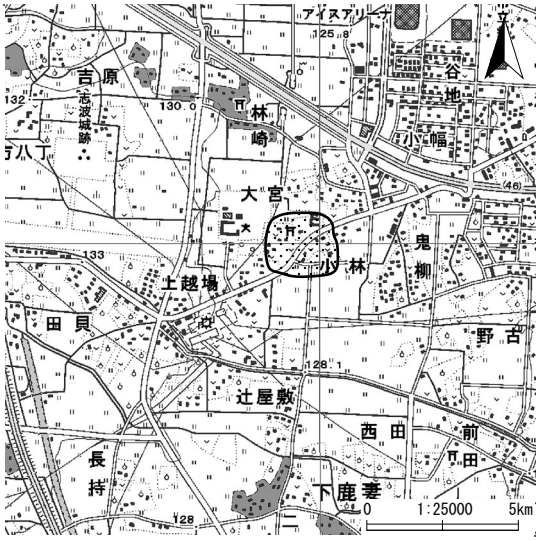
大宮遺跡（LE16－2035）

所 在 地：盛岡市本宮字大宮

事 業 者：盛岡広域振興局土木部

調査期日：平成25年５月７日(火)～５月８日(水)

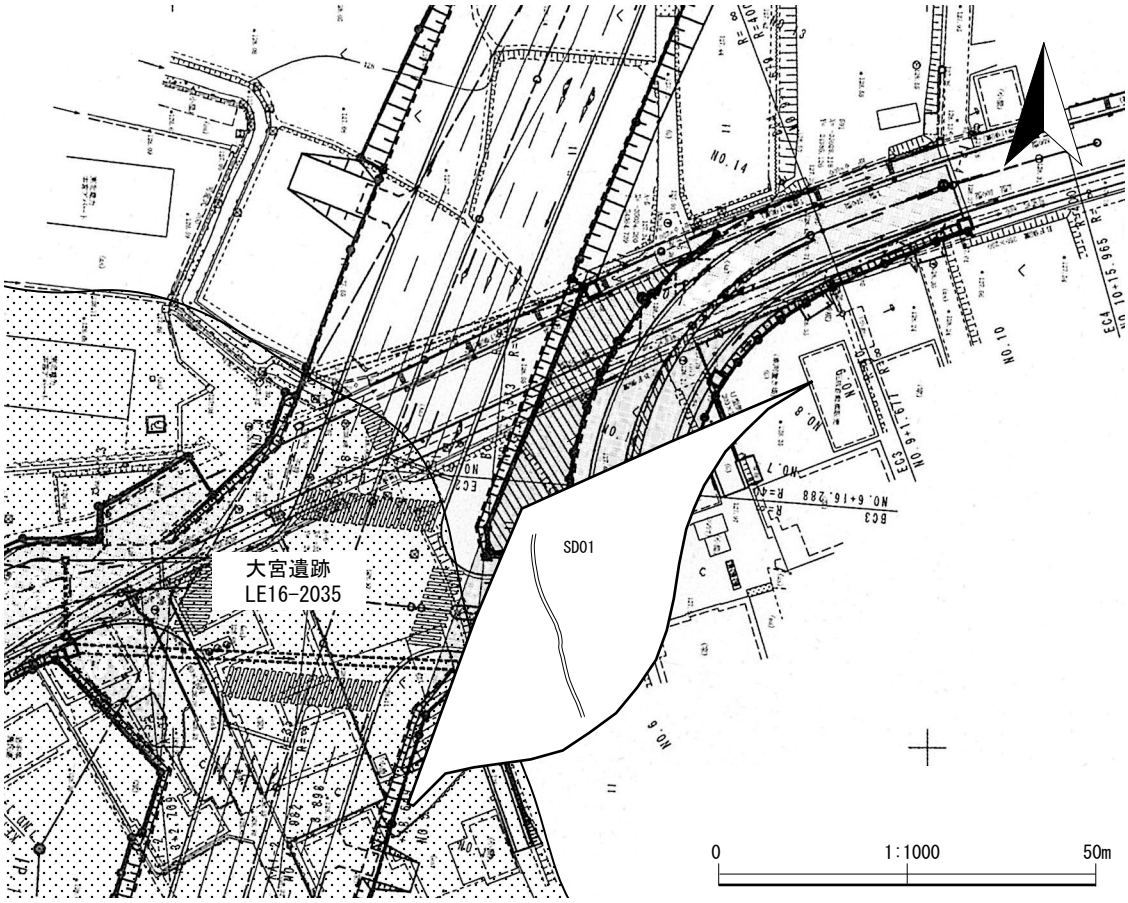
大宮遺跡は盛岡市役所の西北西約４㎞に位置する。付近は雫石川右岸の砂礫段丘低位面に分類されており、現況で宅地・神社地となっている微高地及びその周辺が遺跡範囲とされている。遺跡を貫いて北東－南西方向に走る現道により遺跡範囲は大きく二分されるが、遺跡の主体部分は北西側の大宮神社周辺と推測されている。当遺跡の所在する大宮地区は国史跡志波城跡の東側隣接地であり、当遺跡の周辺には北に大宮北遺跡、東に鬼柳Ａ・Ｂ遺跡、南には小林遺跡・水門遺跡等、古代の集落跡が密に分布している。



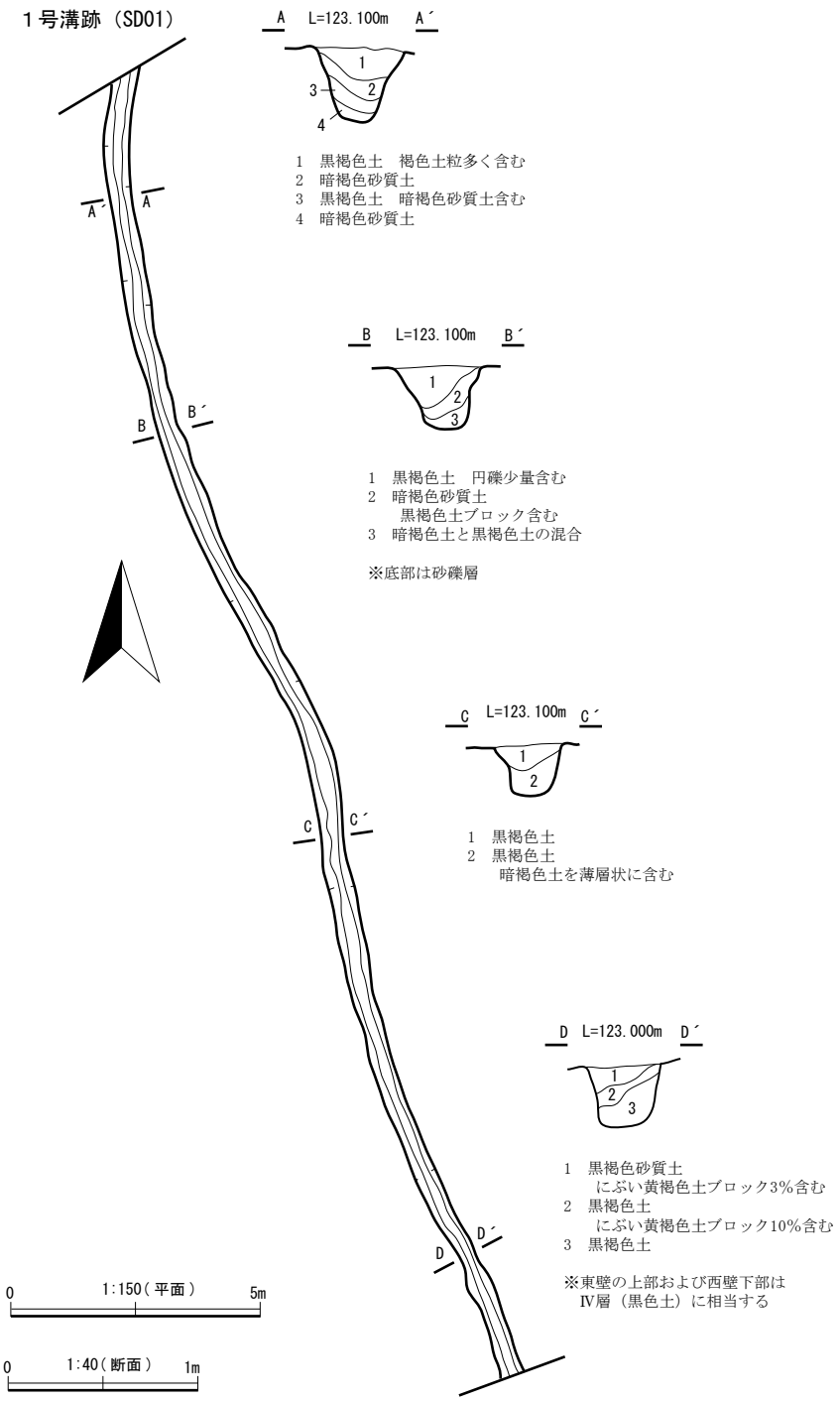
第７図　大宮遺跡位置

今回の調査は、県道13号の改築工事に伴うもので、調査区は遺跡範囲の北東縁辺部とその隣接部分の960㎡である。調査区は、東側が宅地隣接の畑地、西が水田面であり地形的には二分されている。東側が僅かに標高高く、宅地部分から連続する微高地面に相当すると解される。

基本層序は次のとおりである。Ⅰ層：表土・盛土（層厚40～60㎝)。Ⅱ層：黒褐色土（層厚0～20㎝)。Ⅲ層：黄褐色土（層厚 0～30㎝。地山。遺構検出面)。



第８図　大宮遺跡調査位置・遺構配置



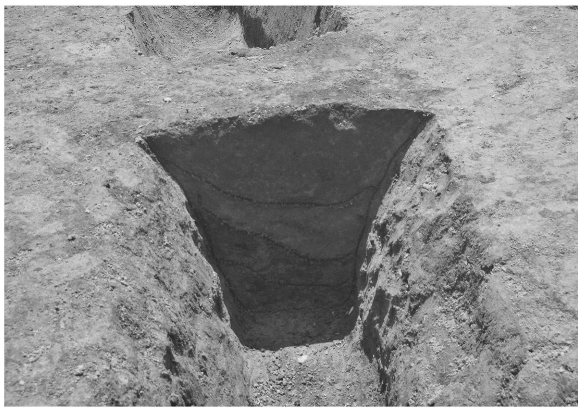
第９図　大宮遺跡検出遺構

掘削の結果、東側の高位面は、ごく一部に黒色土（Ⅱ層）が見られたが、大部分は盛土層の下で地山である黄褐色土層（Ⅲ層）が露出する形となっており、削平を被ったと推測される。一方、西側の水田面は西に向けて地山（Ⅲ層）が徐々に落ち込んでおり、礫の混入が著しくなることから、低地的な様相だったと推測される。

検出された遺構は、調査区の中央付近を南北に縦断している溝跡１条である。検出面は主にⅢ層上面である。当溝跡は試掘調査の際に検出されていたもので、調査区東西の境界付近に位置し、旧地形の微高地面縁辺を巡る形であったと推測される。溝跡の確認部分は延長約27m、開口部幅35～50㎝、深さ25～40㎝を測る。埋土は黒褐色及び暗褐色の砂質土が主体で、高位の東側から流入している。遺物は出土せず、当溝跡の時期は不明である。またその用途について推測できる痕跡も確認されなかった。一方、今回調査区から遺物は全く出土しなかった。なお、表土・盛土層中に赤褐色の微細粒がごく疎らに混入しており、粉砕された土器片とも思われたが、判然としなかった。

以上のとおり、今回調査区からは溝跡が検出されたものの、その性格・時期は不明であり、当地がどのように利用されていたのか、その詳細は不明である。

１号溝跡　平面（北から）



１号溝跡　断面（Ａ－Ａ´）（北から）

１号溝跡　断面（Ｂ－Ｂ´）（南から）

１号溝跡　断面（Ｃ－Ｃ´）（南から）

写真図版３　大宮遺跡検出遺構

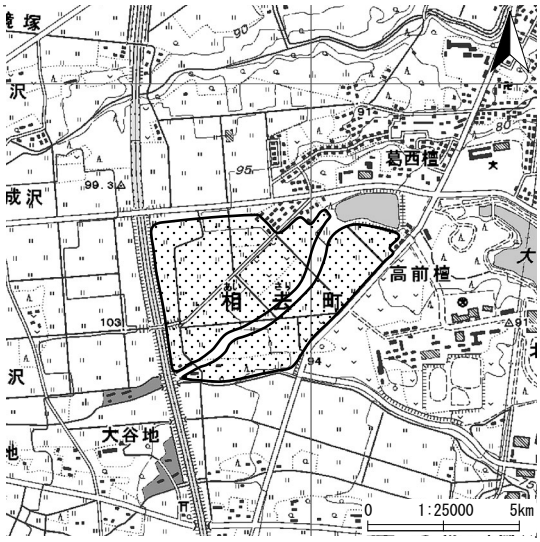
３　岩手県企業局大規模太陽光発電所建設事業

相去遺跡（ME75－1139）

所 在 地：北上市相去町高前壇

事 業 者：企業局経営総務室

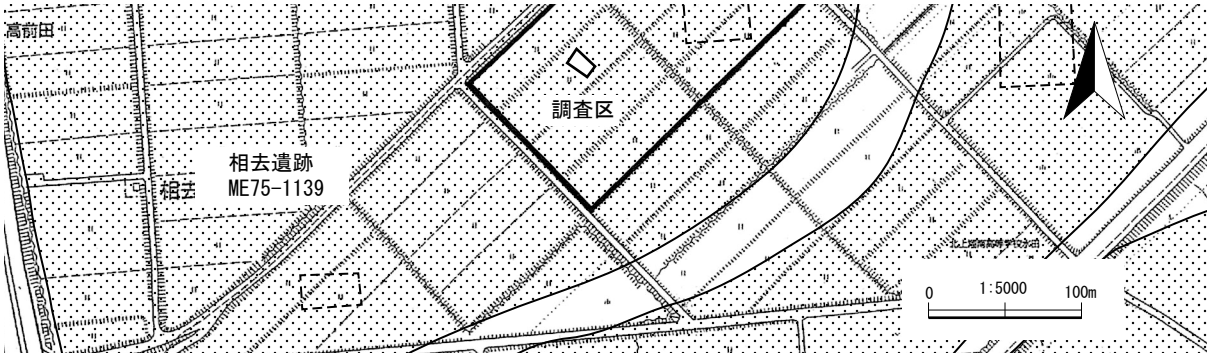
調査期日：平成25年６月18日(火)～６月21日(金)



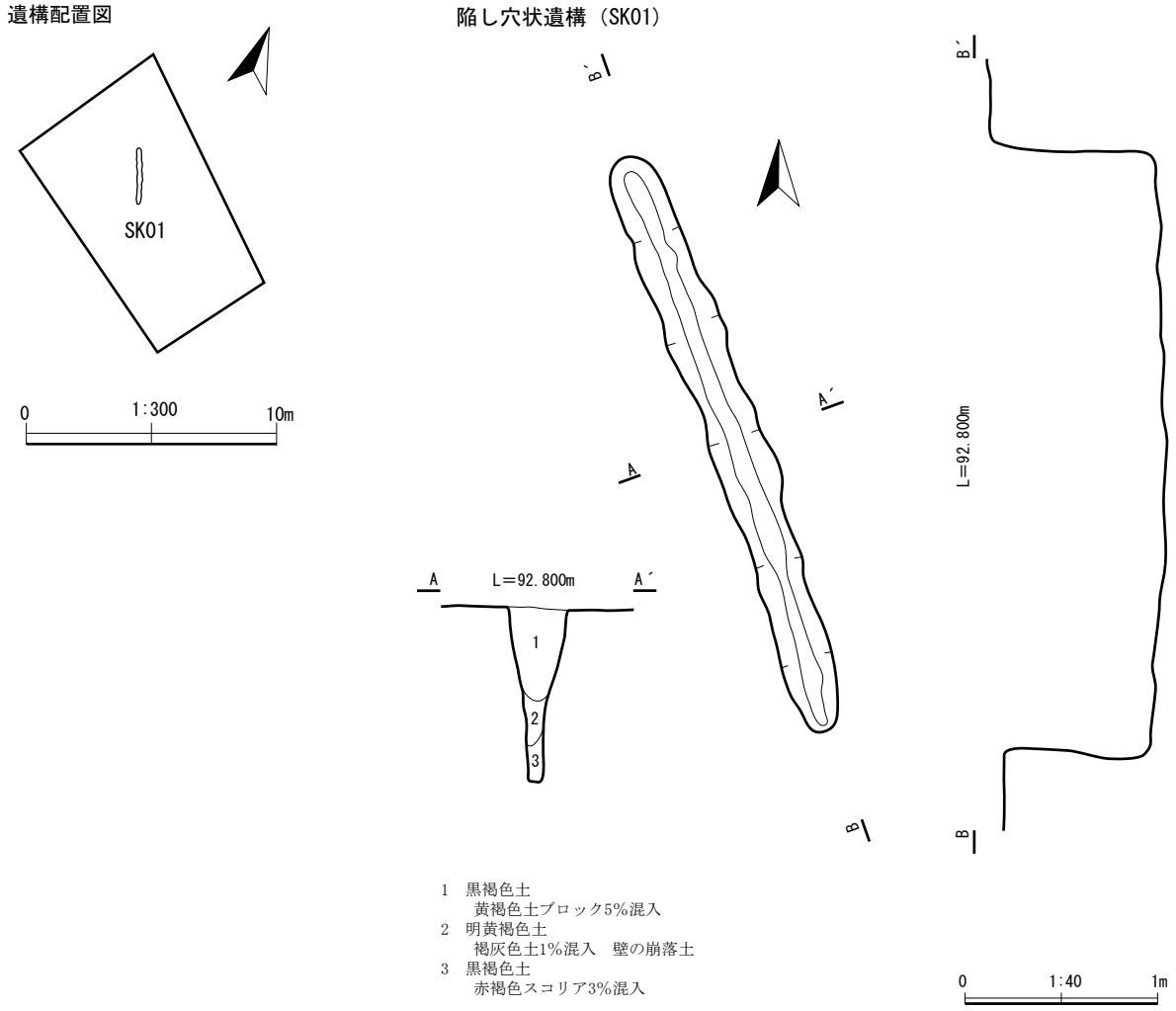
第10図　相去遺跡位置

相去遺跡は北上市役所の南西約3.9㎞、県立北上翔南高校の西南西約0.7㎞の牧草地である。調査地の周辺には水田が広がり、北東側には新堤が位置する。昭和48年、水田区画整理に伴って県教委と北上市が相去地区の試掘調査及び一部の発掘調査を行い、今回調査地部分で竪穴住居跡や方形土坑等を検出している。その後、造成工事が行われたことで、遺跡の大部分は壊滅したとされている。平成24年度に大規模太陽光発電所建設が計画されたため、平成25年１月及び３月に試掘調査を行い、陥し穴状遺構１基が検出された（以下、便宜的に「陥し穴」と呼称する）。今回の発掘調査は、当該陥し穴について実施したものである。調査地は遺跡範囲の中央東寄りに位置する。周辺は、現況では南に向かって標高を下げる棚田状に造成されているが、造成前の旧地形では遺跡を南西－北東方向に貫く小河川に向かって南東へと向斜する緩斜面だったと思われる。基本層序は次のとおりである。Ⅰ層：暗褐色土（層厚20～35㎝。表土。しまりなし）。Ⅱ層：暗褐色土（層厚35～50㎝。明黄褐色ブロックを疎らに含む。造成土か）。Ⅲ層：明黄褐色土（層厚20～40㎝。橙色スコリアを疎らに含む。遺構検出面。地山）。Ⅳ層：黄橙色土（層厚不明。橙色スコリア40％混入。地山）。陥し穴を再検出して精査を行った。遺構はⅢ層上面で検出され、最大長3.1ｍ、開口部の最大幅30㎝、底面最大幅15㎝の溝状を呈する。長軸は概ね南西－北東方向をとり、旧地形の等高線に沿う形だったと推測される。調査地全体が耕地整理の際に削平されているため、底面付近のみしか遺存しないと予想したが、実際には深さ80～90㎝を測り、遺存状態は良好であった。壁の上位はⅢ層に相当するが、壁の中～下位及び底面はⅣ層を掘り込んでいる。埋土は概ね３層に大別され、中間に黄褐色土（Ⅲ層由来、壁の崩落土）を挟んで、その上下に黒褐色土が堆積しており、自然に埋没した様相を示している。埋土中からの出土遺物はなかった。

当陥し穴は出土遺物を欠き、所属時期は明確ではない。かかる陥し穴については、これまでの調査事例から縄文時代の遺構であると見做されており、今回調査した陥し穴についても該期の遺構である可能性が高いものと思われる。また、陥し穴は複数基がセットで配置される例が多いことから、今回調査でも周辺に他の陥し穴がないか確認したが検出されなかった。

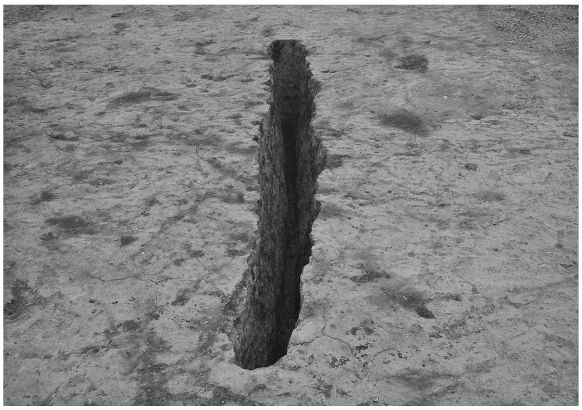


第11図　相去遺跡調査位置



第12図　相去遺跡遺構配置・検出遺構

１号陷し穴状遺構　断面（南東から）



１号陷し穴状遺構　完掘（南から）

写真図版４　相去遺跡検出遺構

４　地域連携道路整備事業

赤川Ⅱ遺跡（MF56－2180）

所 在 地：遠野市上郷町板沢地内

事 業 者：県南広域振興局土木部

調査期日：平成25年７月22日（月）～８月20日（火）

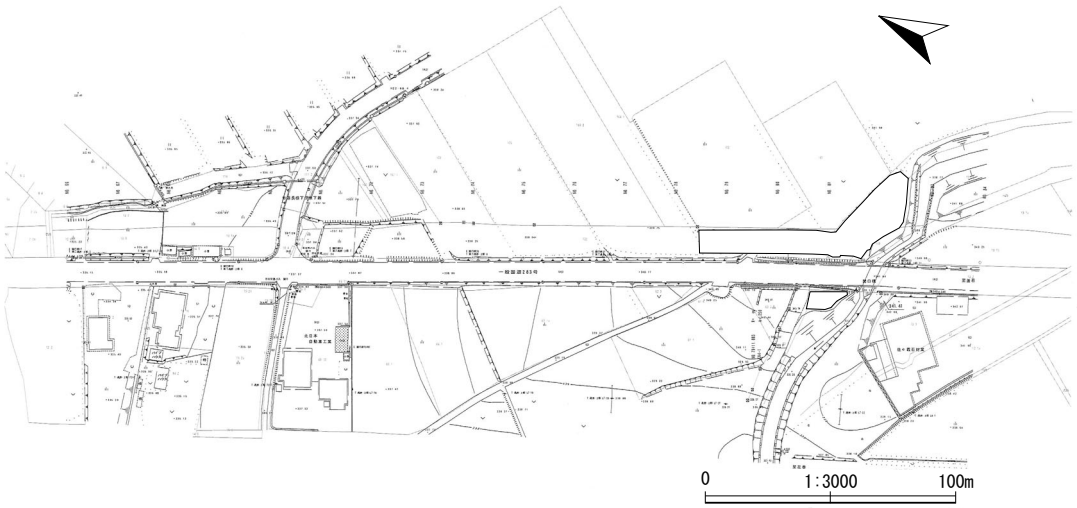
平成25年９月９日（月）～10月１日（火）

第13図　赤川Ⅱ遺跡位置

赤川Ⅱ遺跡は、遠野市役所の南東約5.1㎞、同市上郷町板沢地内に位置する。今回の調査は国道283号線の道路拡幅及び河道掘削の工事に係るものである。調査に先立つ試掘調査で、従来の遺跡範囲の隣接地より長楕円形の陥し穴状遺構（以下、便宜的に「陥し穴」と呼称する）が検出され、拡幅部分について遺構の精査を行ったところ、陥し穴の密集度とその範囲より、河道付替え部分まで遺構が広範することが明確となり、追調査を行った。調査期間は、上記の通り、二期に分かれ、第一次調査がお盆にかかる一週を除き、延べ17日間と、第二次調査が、延べ15日間である。周辺の地形は、扇状地に区分されている（『北上山地系開発地域　土地分類基本調査　遠野』岩手県1970）が、当遺跡付近は扇状地上を西流する赤沢川によって開析が進んでいる。調査地は、赤沢川の右岸に接し、遺跡の載る地形面は赤沢川により浸食されてきたと考えられる。

調査地の基本層序は、Ⅰ層：表土・耕作土（層厚20～30㎝）、Ⅱ層：黒褐色土（層厚10～20㎝）、Ⅲ層：褐色土(層厚0～10㎝・パミスを含む)、Ⅳ層：黄褐色粘質土(30㎝以上、地山・遺構検出面)、Ⅴ層：灰白色粘質土（30㎝～）、Ⅵ層：暗灰色砂礫（30㎝～）となっており、Ⅲ層は、主に第二次調査区でみられた。

調査の結果、第一次調査（道路拡幅部分）では土坑1基（SK5・時期不明）、平面形状の異なる陥し穴34基（SK1～4・6～35）を検出、第二次調査では、時期の新しい土坑1基（SK303）、陥し穴30基（SK201～228・301・302）計66基が確認された。陥し穴は、その形態から概ね3種類に分けられ



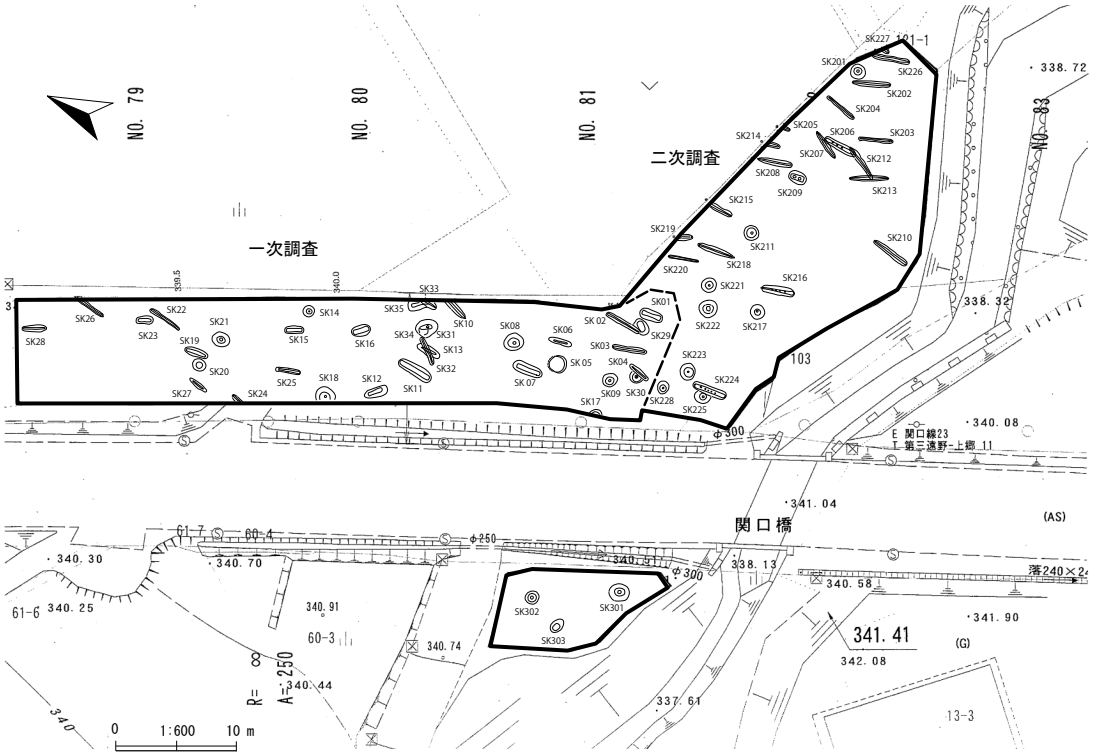
第14図　赤川Ⅱ遺跡調査位置

る。開口部の平面形が溝形のもの【①】、長楕円形のもの【②】、円形のもの【③】、の3類型である。

①に属するものは28基である。長さ200～370㎝、幅40～70㎝、深さ40～110㎝を測る。埋土上位に黒色土が堆積し、中～下位には締まりのない黄褐色粘土が堆積し、底に黒色土が堆積するものが多い。また、埋土の大部分が地山系の黄褐色粘土で占められているもの（SK02）や、黒色土で占められているもの（SK220）などもみられる。②に属するものは17基である。長径160～350㎝、短径70～120㎝、深さ60～110㎝を測る。埋土は、暗褐色や黄褐色を呈するシルトを主体とし、中～下位に黄色パミス粒（中掫火山灰と考えられる）を僅かに含んでいる。③に属するものは19基である。径105～200㎝、深さ65～115㎝を測る。当類のうち規模が大きいもの（SK08・18・31・301）は、埋土最上位に中掫火山灰が塊状に堆積している。また、SK20を除き、規模の大小に関わらず底面中央付近に「逆茂木」痕と考えられる小穴を伴っている。形態の推移をみると、大型円形は、縄文時代前期前葉には埋没した状況にあり、構築時期は縄文時代早期～前期初頭と推測される。埋土上～中位に黄パミス粒を含む小型円形と長楕円形では、重複関係（SK224・225）より、小型円形が古く長楕円形が新しい。Ⅱ層起源の黒褐色土を埋土とする溝形が最も新しく、縄文時代中期以降と推測される。

調査区内、形状別陥し穴出現率（個体数）、溝形43.75%、楕円形（小判形）26.56%、円形29.69%で、溝形が多く、配置は広範にわたる。旧地形、南側河道域は低位で、二次調査区より南向き緩斜面となる。円形や楕円形は、高位段丘面から段丘縁辺にみられるが、溝形は南側低位河道域付近までみられる。溝形・楕円形の長軸はおよそ南北方向が多く、東西に連設するものが多い。以上より、時期ごとのおおよその獣道が推測される。

今回の調査地は、縄文時代早期以降、長期に亘って狩場として利用されていたことが判明した。調査地の東側畑地が、遺跡の主要部と考えられ、陥し穴を設けた人々のムラが存在している可能性がある。



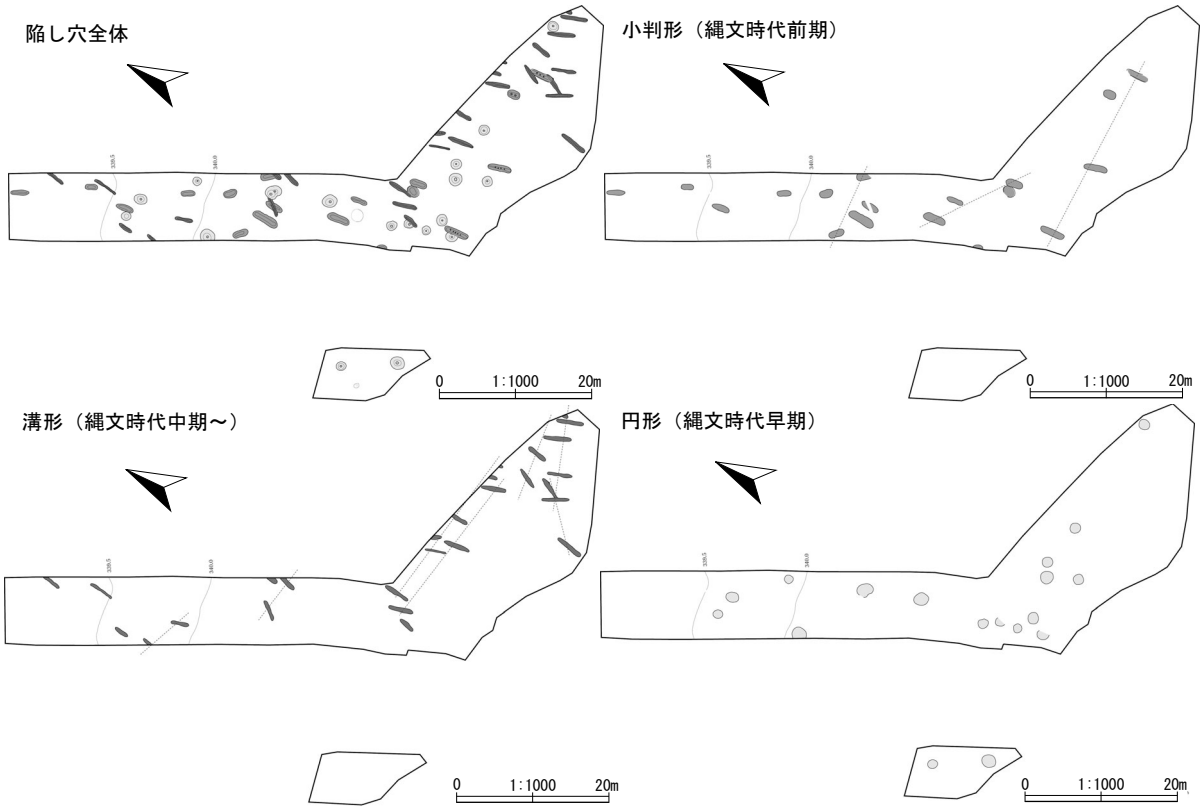
第15図　赤川Ⅱ遺跡遺構配置

【 一次調査 】

北側の一次調査では、検出された遺構35基の内、陥し穴が34基と９割７分以上を占める。陥し穴は先述の通り、形状より大きく３種に分類され、溝形が12基、楕円形（小判形）が13基、円形が９基検出された。SK5は、平面円形の平底で、壁面内傾するフラスコ状の底の部分にも見えるが、検出状況から明確でない。遺構内に土器片など遺物は確認されず、溝形陥し穴の埋土では、中位に崩落土と思われる締まりのない褐色粘土層が、９割以上の遺構にみられる。形状同種の重複は、みられず、溝形と楕円形（SK13・32）の他は、円形と溝形もしくは円形と楕円形である。

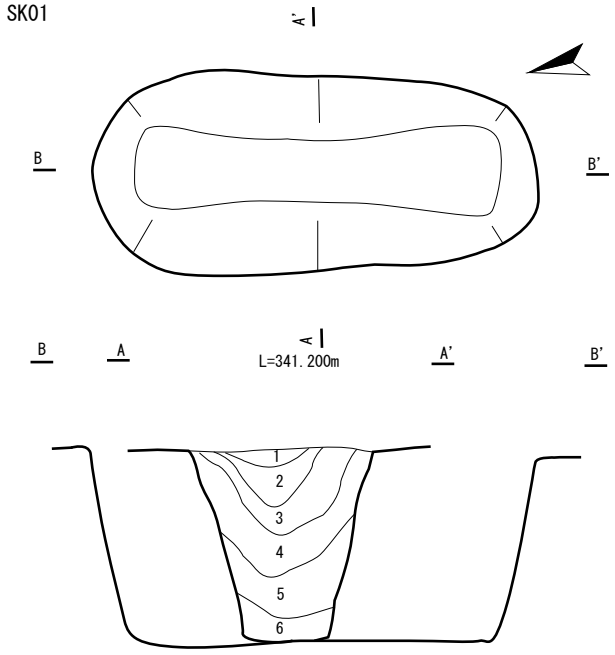
【 二次調査 】

南側の二次調査では、検出された遺構31基の内、陥し穴が30基と９割6分以上を占める。陥し穴は先述の通り、形状より大きく３種に分類され、溝形が16基、楕円形（小判形）が4基、円形が10基検出された。 形状同種の重複する陥し穴（SK212・213）がみられ、軸方向が違い、時期差がみられる。その他、円形と楕円形や溝形と楕円形の重複は一次調査同様にみられる。遺構内から土器片など遺物は確認されていない。



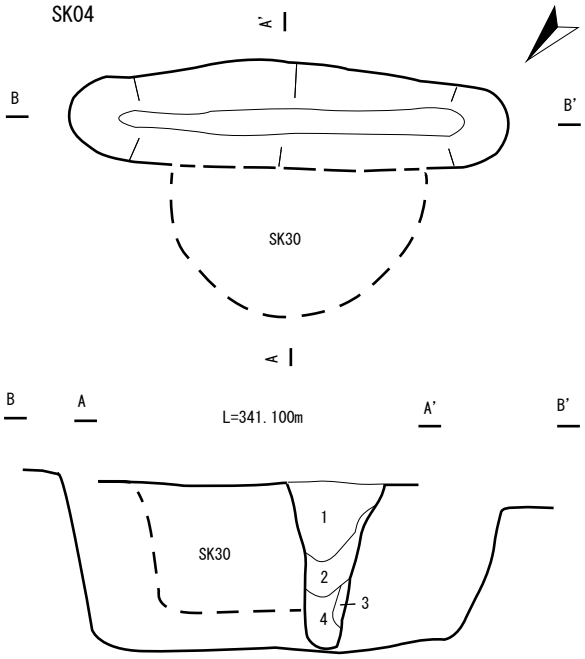
第16図　赤川Ⅱ遺跡遺構配置（形状別・陥し穴状遺構）

SK01



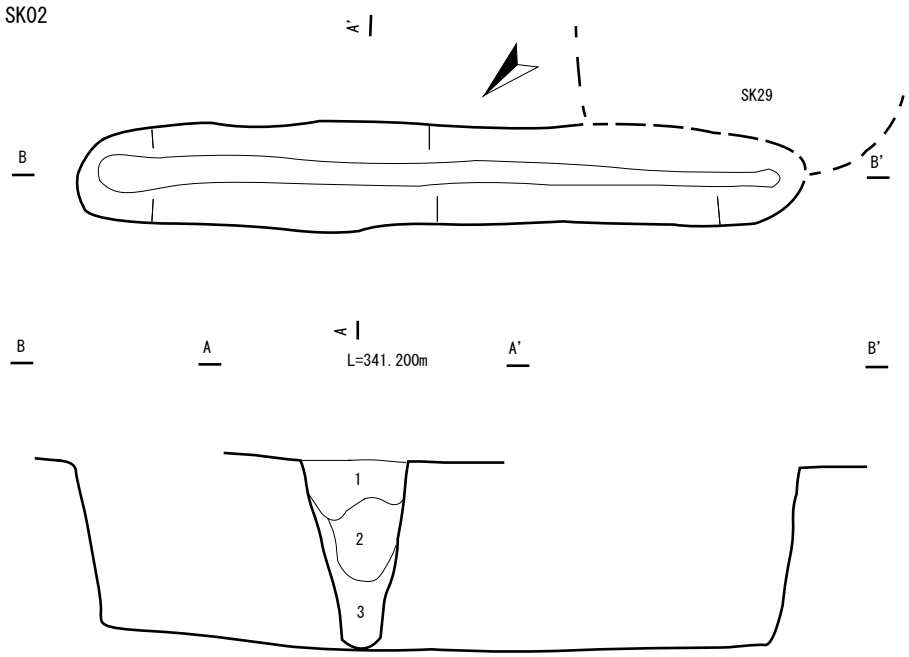
1　10YR2/1　黒　色　　しまりあり　　粘りやや強　粘土質シルト
2　10YR3/2　黒褐色　　しまりあり　　粘りやや強　　シルト
　10YR7/8 黄橙色微細パミス５％混入
3　10YR4/3　にぶい黄褐色　しまりあり　　粘りやや強　　シルト
　黄橙色微細パミス７％ 混入
4　10YR3/3　暗褐色　　しまりややなし　粘り強　　粘質土
　橙色微細パミス ３％混入
　地山（2.5Y8/6 黄褐色粘土）ブロック 10% 主に下位に混入（霜降状）
　黄褐色パミス、ブロック上位に1% 混入
5　2.5Y7/6　明黄褐色　　しまりなし　　粘り強　　地山崩落土
6　2.5Y6/4　にぶい黄褐色　しまりややなし　粘り強　　地山崩落土

SK04



1　7.5Y3/1　黒褐色　　しまりあり　　粘り強　　シルト
　2.5Y8/6　黄褐色パミス粒 5% 全体に入る
2　10YR4/4　褐　色　　しまりあり　　粘りやや強　　シルト
　2.5Y8/6　黄褐色パミス粒 3% 全体に入る
3　2.5Y7/6　明黄褐色　　しまりなし　　粘り強　　地山（粘土）
　壁の崩落土
4　10YR4/1　褐灰色　　しまりあり　　粘りやや強　　シルト

SK02

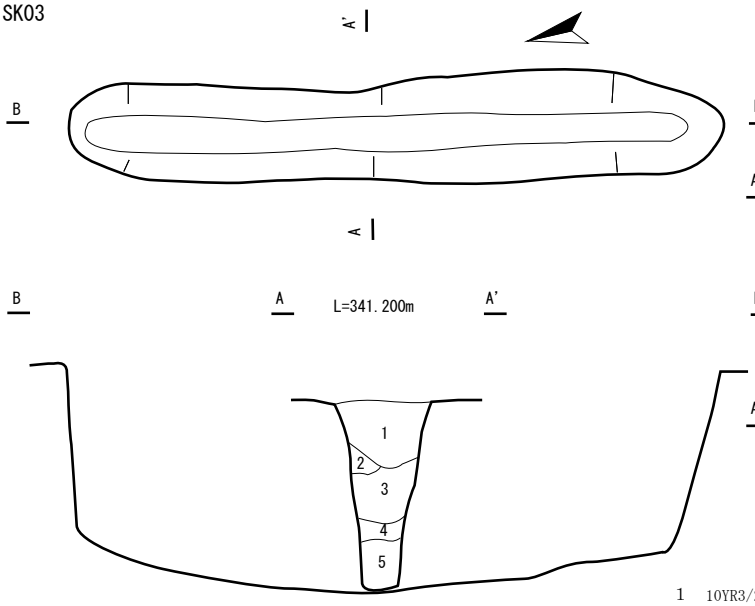


1　2.5YR5/4　黄褐色　　しまりなし　　粘りやや強　粘土質シルト
2　2.5YR7/6　明黄褐色　　しまりなし　　粘りやや強　　粘質土
3　2.5YR6/4　にぶい黄褐色　しまりなし　　粘りやや強　　粘質土

0　1:40　1m

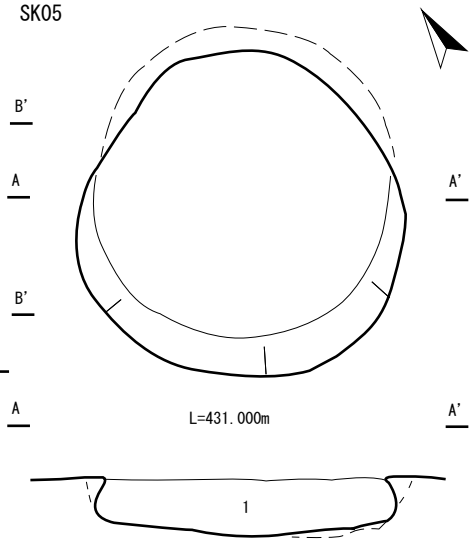
第17図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（１）

SK03



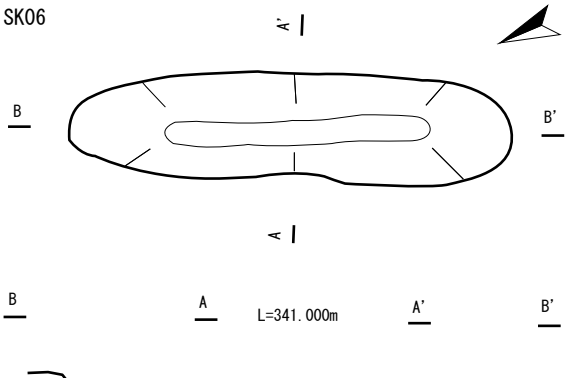
1　7.5YR3/1 黒褐色　しまりあり　粘りやや強　シルト
　2.5Y5/4 黄褐色シルトを霜降り状に10％混入
　2.5Y7/6 明黄褐色地山ブロック（小）壁際に3%混入
2　10YR2/2　黒褐色　しまりあり　粘りやや強　シルト
　2.5Y5/4 黄褐色シルトを20％混入
3　2.5Y7/6　明黄褐色　しまりなし　粘り強　地山（粘土）
　壁の崩落土　１層土を20%を筋状に含む
4　7.5YR2/1　黒　色　しまりややなし　粘りやや強　シルト
　下部が崩落したため、詳細不明
5　2.5Y7/6　明黄褐色　しまりなし　粘り強　地山（粘土）
　壁の崩落土　１層土を20%を筋状に含む

SK05



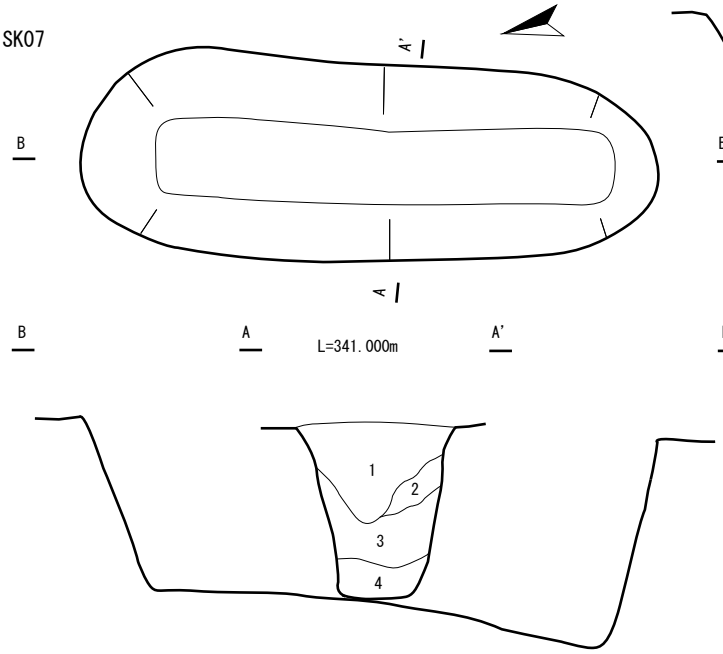
1　10YR3/2　暗褐色　しまりなし　粘りやや強　シルト
　10YR5/4　にぶい黄褐色・2.5Y7/6　明黄褐色 粘土の混合
　炭化物　少量混入

SK06



1　10YR2/2　黒褐色　しまりあり　粘りやや強
　2.5Y5/4 黄褐色シルトを10％含む　シルト
2　10YR5/4　にぶい黄褐色　しまりややなし　粘り強
　2.5Y7/6 明黄褐色　地山崩落土との混合　シルト
3　7.5YR2/1 黒　色　しまりややなし　粘り強
　最下層に 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質土入る15%
　シルト

SK07

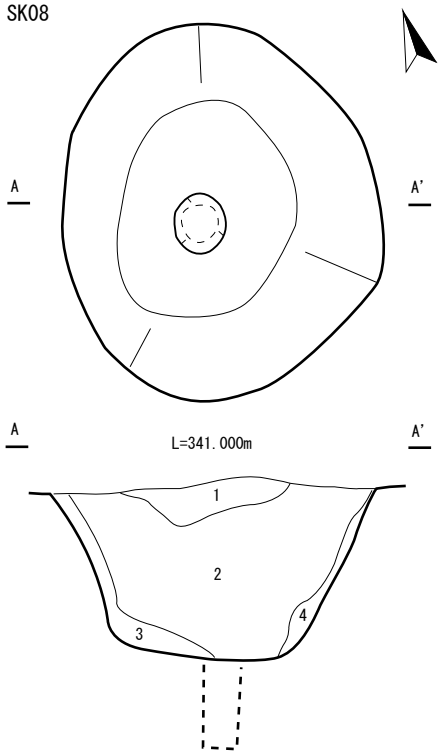


1　7.5YR2/1　黒　色　しまりあり　粘りやや強　シルト
2　10YR4/4　褐　色　しまりあり　粘り強　粘土質シルト
　10YR2/2　黒褐色シルトをわずかに含む 10 ～ 20%
3　7.5YR5/8　明褐色　しまりあり　粘り強　粘土
4　7.5YR2/2　黒褐色　しまりややなし　粘りやや強　粘土質シルト

0　1:40　1m

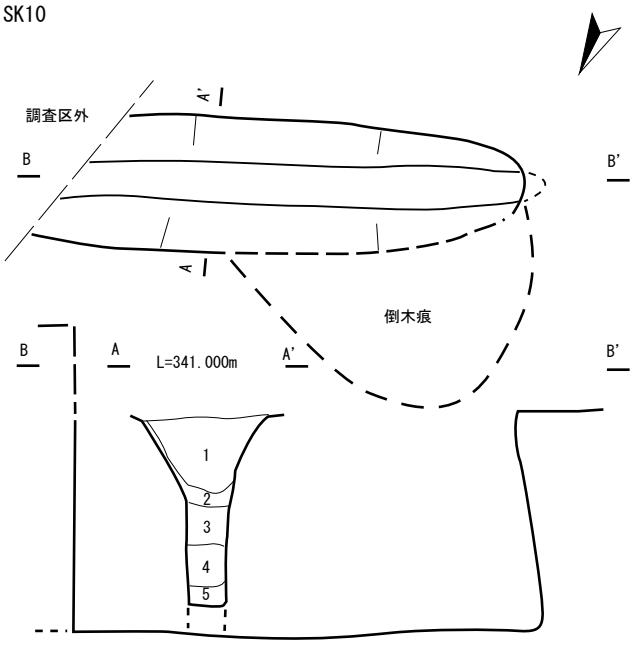
第18図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（２）

SK08



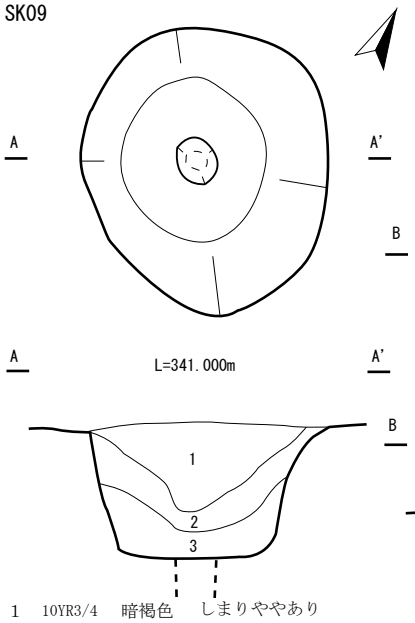
1	10YR6/8	明黄褐色	しまりあり	粘り強	粘土質シルト
2	7.5YR2/1	黒　色	しまりややあり	粘りやや強	シルト
3	2.5YR7/6	明黄褐色	しまりあり	粘り強	壁の崩落土
4	2.5YR7/6	明黄褐色	しまりあり	粘り強	壁の崩落土

SK10



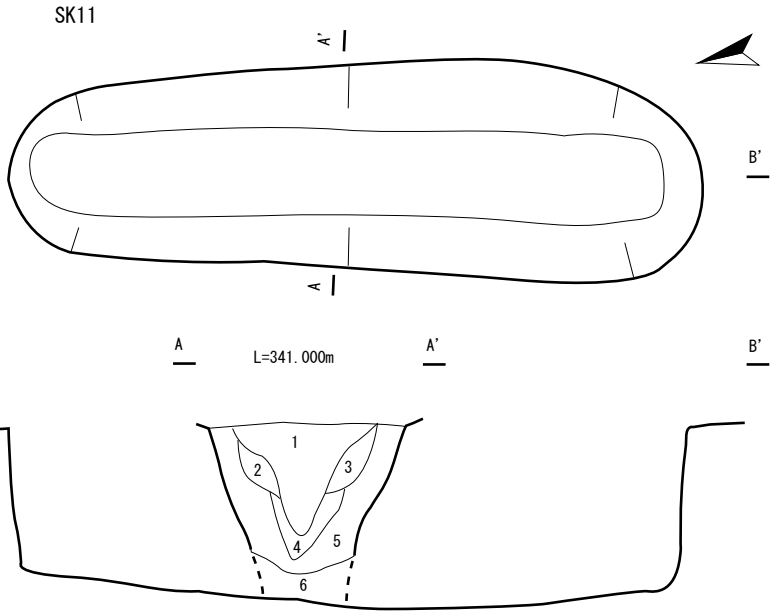
1	7.5YR2/1	黒　色	しまりややあり	粘りやや強	シルト
2	7.5YR5/8	明褐色	しまりあり	粘り強	粘土
3	7.5YR5/8	明褐色	しまりあり	粘り強	粘土
	黒色シルトを多量に含む 40 ～ 50%				
4	7.5YR5/8	明褐色	しまりあり	粘り強	粘土
5	7.5YR2/1	黒　色	しまりややあり	粘りやや強	粘土質シルト

SK09



1	10YR3/4	暗褐色	しまりややあり
	粘りやや強　粘土質シルト		
2	10YR2/2	黒褐色	しまりあり
	粘りやや強　シルト		
3	10YR4/4	褐　色	しまりあり
	粘り強　粘土質シルト		
	暗褐色土ブロックを含む 20 ～ 30%		

SK11

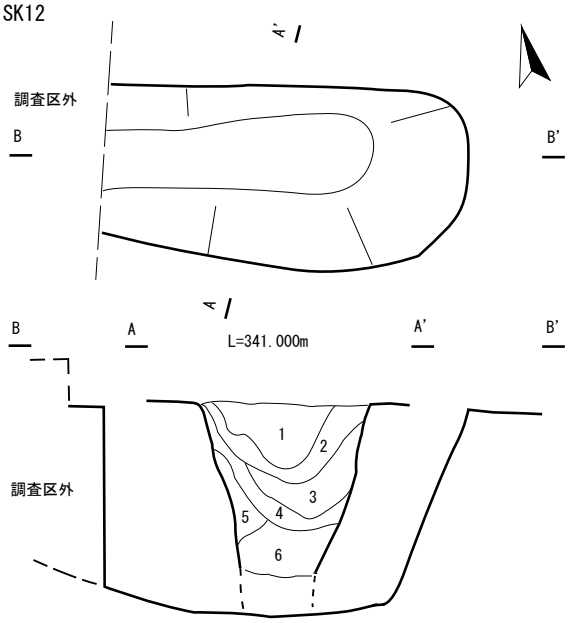


1	10YR2/2	黒 褐 色	しまりあり	粘りやや強	粘土質シルト
2	10YR4/6	褐　色	しまりややあり	粘り強	粘土質シルト　黒褐色シルトを多量40 ～ 50%含む
3	10YR4/6	褐　色	しまりあり	粘り強	粘土質シルト　黒褐色シルトを多少30 ～ 40%含む
4	10YR4/6	褐　色	しまりあり	粘り強	粘土質シルト　黒褐色シルトを少々10 ～ 20%含む
5	10YR6/8	明黄褐色	しまりあり	粘り強	粘土　壁 崩落土
6	10YR2/1	黒　色	しまりややあり	粘りやや強	シルト

0　1:40　1m

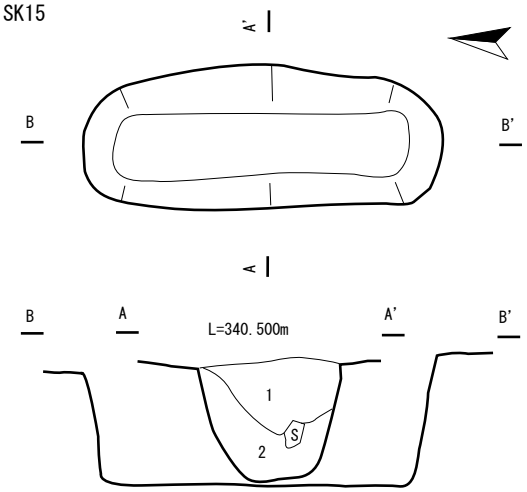
第19図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（3）

SK12



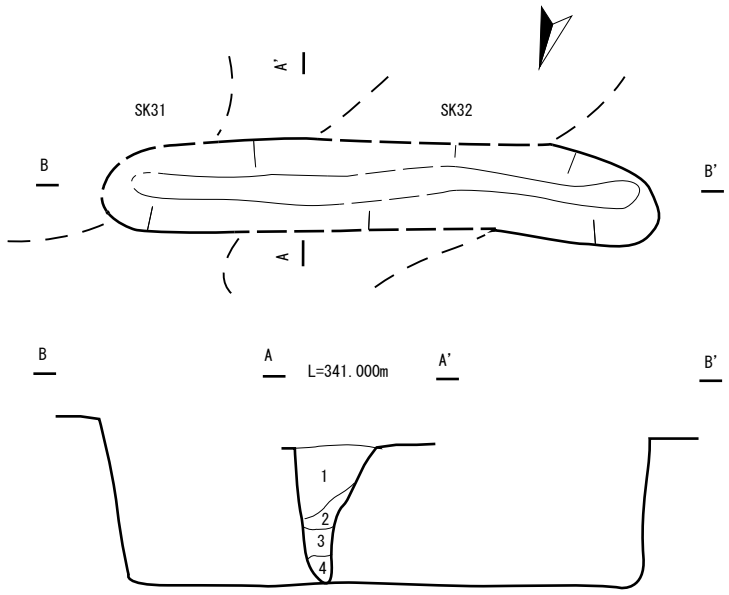
1	7.5YR2/1	黒　　色	しまりあり	粘りやや強	シルト
2	10YR5/4	にぶい黄褐色	しまりあり	粘りやや弱	シルト
3	10YR3/3	暗 褐 色	しまりなし	粘りやや強	シルト
4	7.5YR3/2	黒 褐 色	しまりなし	粘りやや強	シルト
5	2.5YR7/4	浅黄褐色	しまりなし	粘りやや弱	砂質シルト
6	10YR4/4	褐　　色	しまりなし	粘りやや強	シルト
	10YR5/4	にぶい黄褐色シルト 5% 含む			

SK15



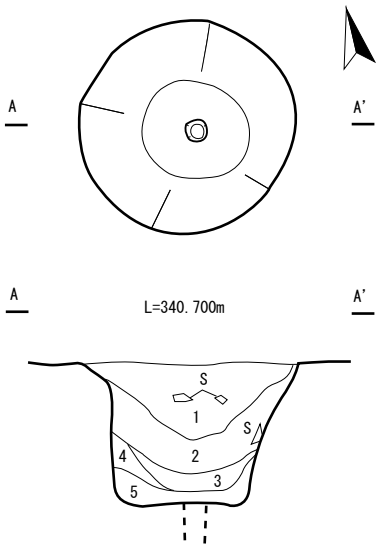
1	10YR5/2	灰黄褐色	しまりあり	粘り強	粘土質シルト
	10YR3/1	黒褐色土混入			
2	2.5YR7/6	明黄褐色	しまりあり	粘り強	地山崩落土

SK13



1	7.5YR3/1	黒褐色	しまりあり	粘りやや強	シルト
	10YR3/3	暗褐色シルト 20% 混入			
2	10YR3/3	暗褐色	しまりあり	粘りやや強	シルト
3	2.5Y6/4	にぶい黄褐色	しまりなし	粘りやや強	地山の崩落土
4	10YR2/1	黒　色	しまりなし	粘り強	シルト
	2.5Y7/6	黄褐色粘土（地山）ブロック状に 5% 含む			

SK14

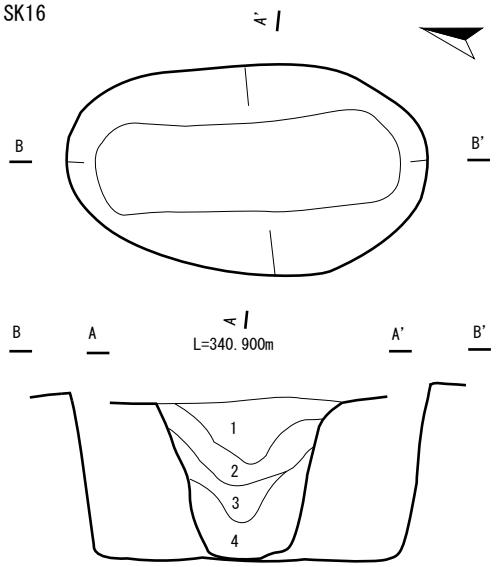


1	10YR3/1	黒褐色	しまりあり	粘りやや強
	炭化粒・礫が入る			粘土質シルト
2	2.5Y5/2	暗灰黄褐色	しまりあり	粘りやや強
				粘土質シルト
3	10YR4/1	褐灰色	しまりあり	粘りやや強
				シルト
4	2.5Y6/4	にぶい黄褐色	しまりなし	粘りやや強
				地山の崩落土
5	３層＋地山崩れ			

0　1:40　1m

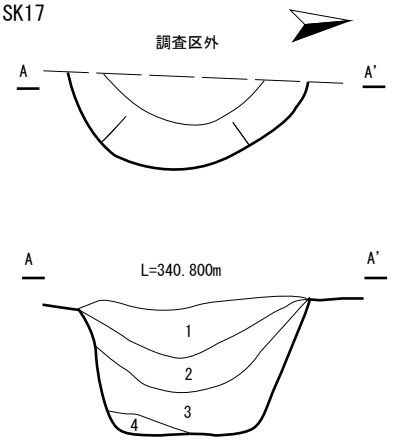
第20図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（４）

SK16



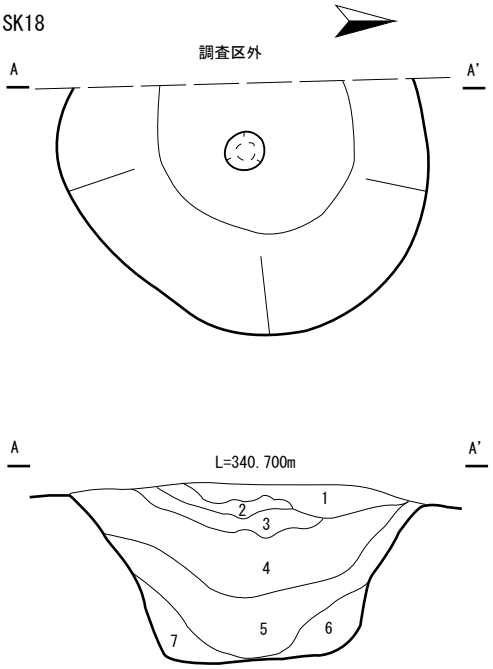
1	10YR2/2	黒褐色	しまりあり	粘り強	シルト
	明黄褐色火山灰ブロックを含む				
2	10YR3/4	暗褐色	しまりなし	粘りやや強	シルト
3	2.5Y6/4	にぶい黄褐色	しまりなし	粘りやや強	粘質土
4	2.5Y7/6	明黄褐色	しまりあり	粘り強	地山崩落土

SK17



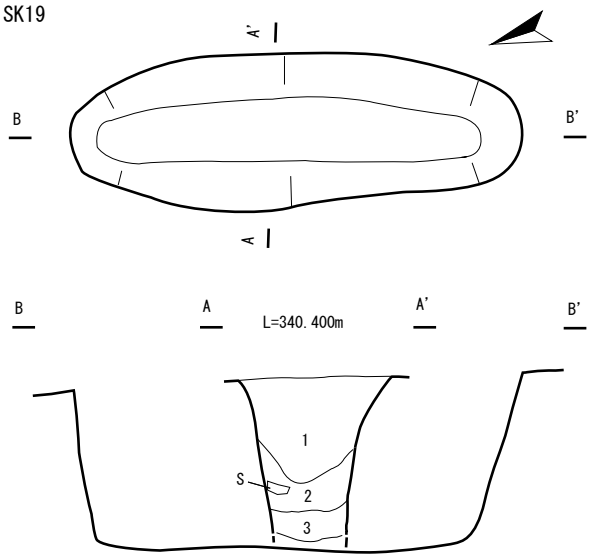
1	10YR4/6	褐　色	しまりややあり	粘りやや弱	シルト
	10YR8/4 浅黄橙色微細パミスを含む				
2	10YR3/2	黒褐色	しまりあり	粘りやや強	シルト
3	10YR5/2	灰黄褐色	しまりあり	粘りやや強	シルト
4	10YR5/4	にぶい黄褐色	しまりあり	粘りやや強	粘質土

SK18



1	2.5Y8/8	黄褐色	しまりあり	粘りなし	パミス
2	10YR3/2	黒褐色	しまりややなし	粘りやや強	シルト
3	7.5YR3/2	黒褐色	しまりややなし	粘りやや強	シルト
4	10YR4/3	にぶい黄褐色	しまりややあり	粘りやや強	シルト
5	10YR2/3	黒褐色	しまりなし	粘りやや強	シルト
6	10YR4/4	褐　色	しまりややあり	粘り強	シルト
7	10YR4/4	褐　色	しまりややあり	粘り強	シルト

SK19

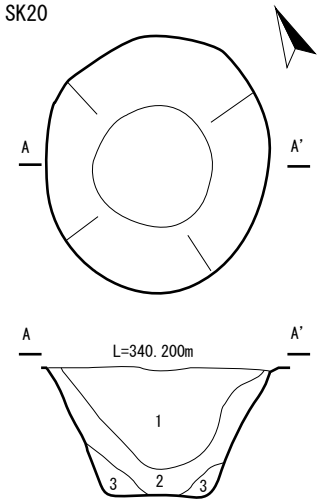


1	10YR3/2	黒褐色	しまりあり	粘りやや強	シルト
	10YR1.7/1 黒色シルトを上位に15%含む				
	2.5Y 8/6 黄褐色パミス小ブロックを下位に5%含む				
2	10YR5/3	にぶい黄褐色	しまりあり	粘りやや弱	シルト
	2.5Y 7/6 明黄褐色粘土（地山崩れ）両サイドに15%混入				
3	10YR2/3	黒褐色	しまりあり	粘り強	シルト

0　1:40　1m

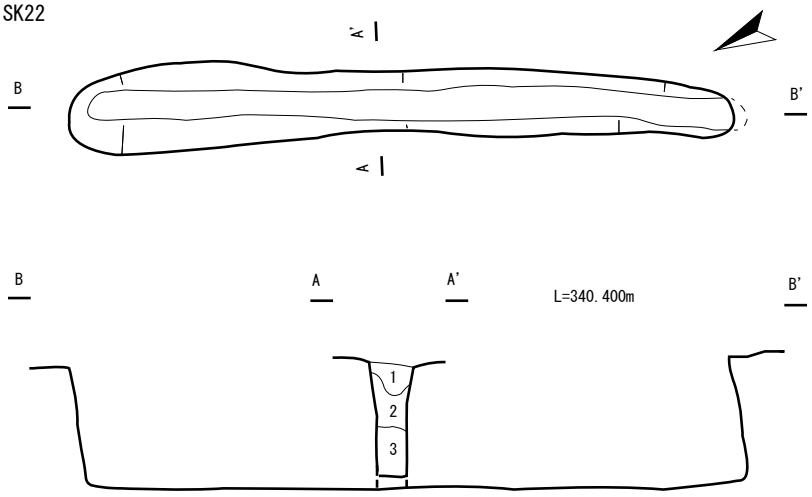
第21図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（５）

SK20



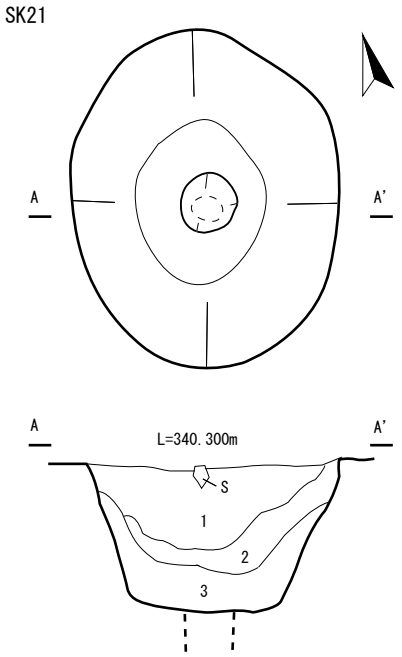
1　10YR3/3　暗褐色　しまりあり　粘りやや強　シルト
2　10YR2/3　黒褐色　しまりあり　粘り強　シルト
　10YR5/2 灰黄褐色土が筋状に　10%入る
3　2.5Y7/6　明黄褐色粘土　しまりなし　粘りやや強　地山崩れ

SK22



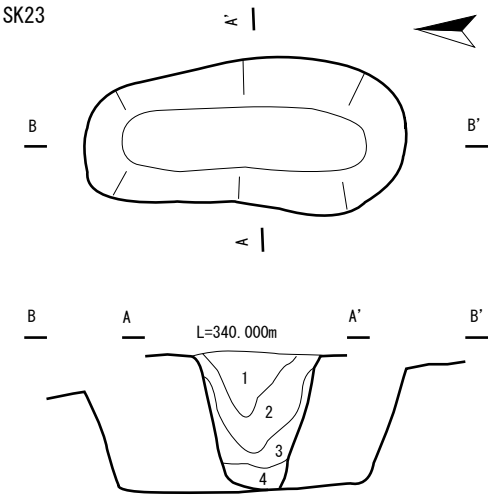
1　10YR2/2　黒褐色　しまりなし　粘りやや強　シルト
　2.5Y7/6 明黄褐色粘質土 斑に混入
2　2.5Y7/6　明黄褐色　しまりなし　粘り強　粘質土
　10YR2/2 黒褐色シルト 5%混入
3　10YR1.7/1 黒　色　しまりややなし　粘りやや強　シルト
　2.5Y7/6 明黄褐色粘質土ブロック 15%混入

SK21



1　7.5YR2/2　黒褐色　しまりあり　粘りやや弱　シルト
　2.5Y6/4　にぶい黄褐色土ブロック 5% 中位に混入・礫少量混入
2　10YR4/4　褐　色　しまりあり　粘りやや強　シルト
3　10YR7/6　明黄褐色 しまりあり　粘り強　粘　土
　礫 少量混入

SK23

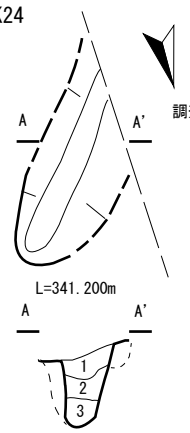


1　10YR2/1　黒　色　しまりややなし 粘り強　シルト
　10YR2/3 黒褐色土ブロック 10%　混入
2　10YR3/3　暗褐色　しまりなし　粘りやや強　シルト
3　2.5Y7/6　明黄褐色　しまりなし　粘り強　粘　土
　2層を 5%含む
4　10YR5/2　灰黄褐色　しまりあり　粘り強　粘質土

0　1:40　1m

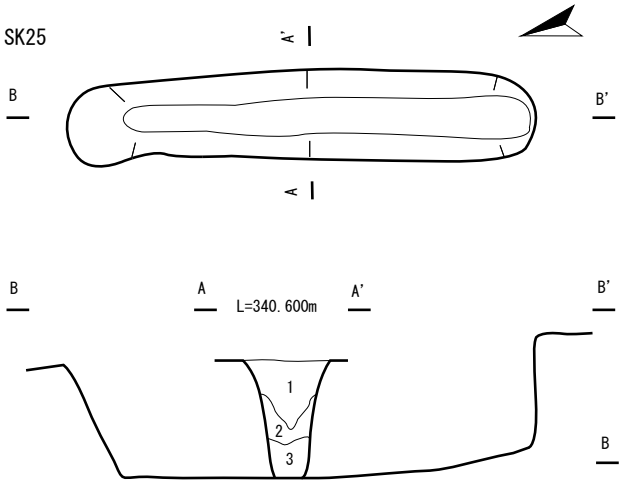
第22図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（6）

SK24



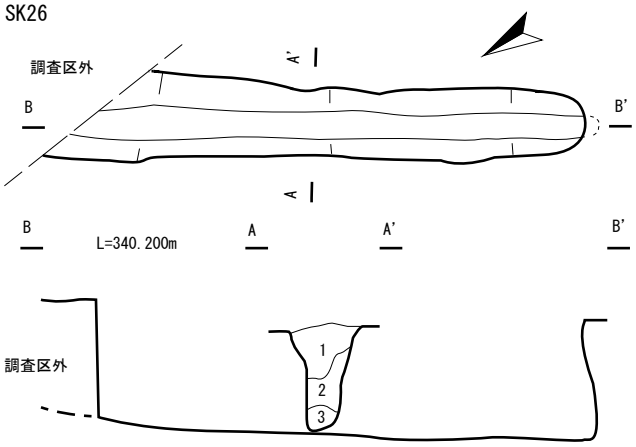
1　10YR2/3　黒褐色　しまりなし
　　粘りやや弱　シルト
　褐色粘土ブロックを10～20%含む
2　10YR4/6　褐　色　しまりあり
　　粘り強　粘　土
3　10YR2/3　黒褐色　しまりなし
　　粘りやや強　粘土質シルト

SK25



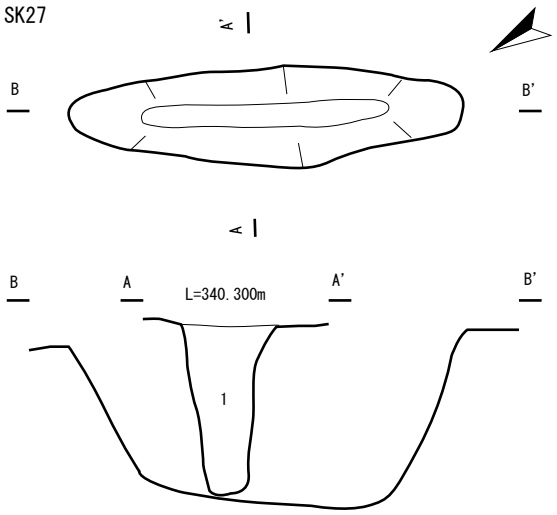
1　10YR2/2　黒褐色　しまりなし　粘り弱　シルト
　褐色粘土ブロックをわずかに含む
2　10YR4/6　褐　色　しまりあり　粘り強　粘土ブロック
3　10YR3/4　暗褐色　しまりなし　粘りやや弱　シルト
　褐色粘土ブロックを10～20%含む

SK26



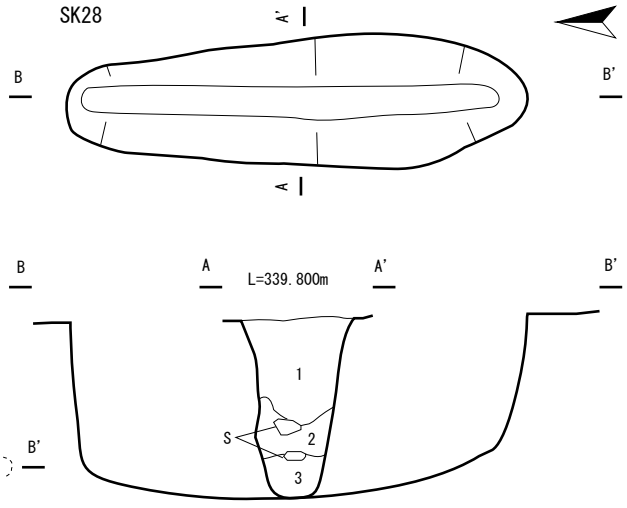
1　10YR1.7/1　黒　色　しまりややあり　粘りやや弱　シルト
　褐色粘土粒をわずかに含む
2　10YR3/4　暗褐色　しまりあり　粘りやや強　シルト
　黒色土ブロックをわずかに含む
3　10YR2/2　黒褐色　しまりなし　粘りやや強　シルト
　褐色粘土粒をわずかに含む

SK27



1　10YR2/1　黒 色　しまりあり　粘りやや弱　シルト

SK28

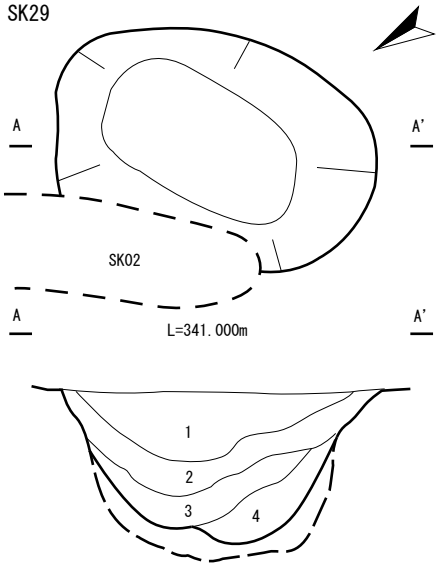


1 10YR2/1　黒　色　しまりあり　粘りやや弱　シルト
2 2.5Y7/6　明黄褐色　しまりなし　粘り強　礫混粘土
3 10YR4/3　にぶい黄褐色　しまりややあり　粘りやや強
　礫混　粘土質シルト

0　1:40　1m

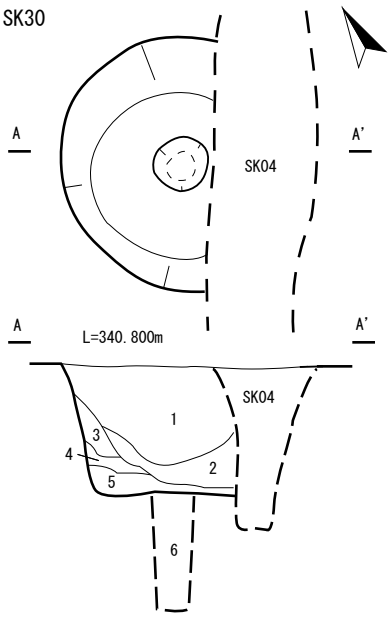
第23図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（7）

SK29



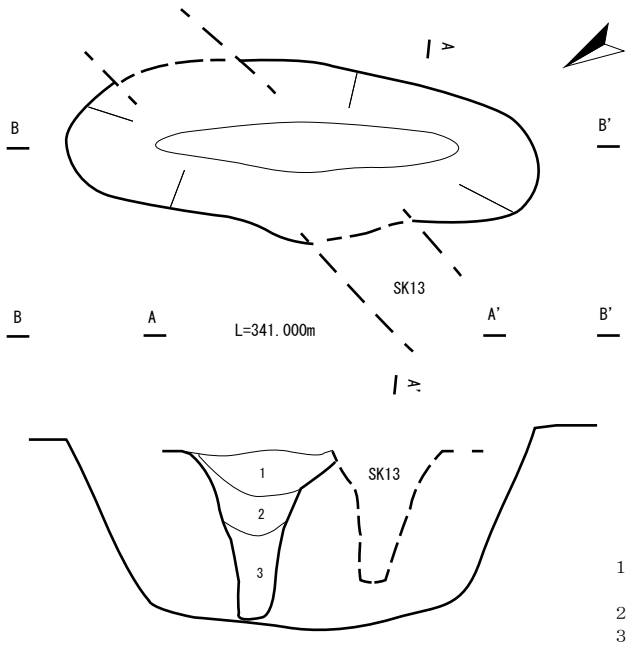
1　10YR3/3　暗褐色　　しまりなし　粘りやや強　　シルト
　炭化粒10%混入
2　10YR4/2　灰黄褐色　しまりあり　　粘り強　粘土質シルト
　2.5Y7/6 明黄褐色粘質土ブロック 1%　混入
3　10YR4/4　褐　色　　しまりあり　　粘りやや強　　シルト
　2.5Y7/6 明黄褐色粘質土ブロックを僅かに含む
4　10YR7/6　明黄褐色　しまりなし　　粘り強　　粘　土
　地山崩落土、３層の土を 1%含む

SK30



1　10YR3/2　黒褐色　　しまりややなし　粘り弱　　シルト
　炭化粒　小粒 1%
2　10YR3/3　暗褐色　　しまりあり　　粘り弱　　シルト
3　10YR7/6　明黄褐色　しまりなし　　粘り強　　地山崩れ
4　10YR4/3　にぶい黄褐色　しまりなし　　粘りやや強　シルト
5　10YR3/4　暗褐色　　しまりあり　　粘り弱　　シルト
6　10YR6/3　にぶい黄橙色　しまりなし　　粘り強　　逆茂木痕

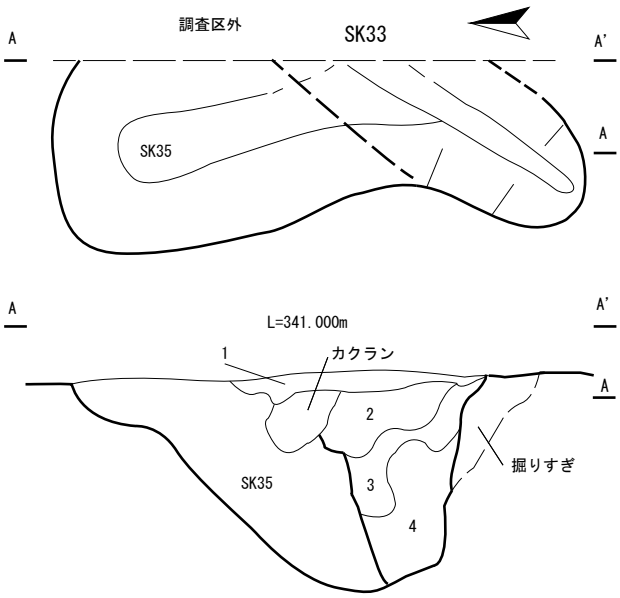
SK32



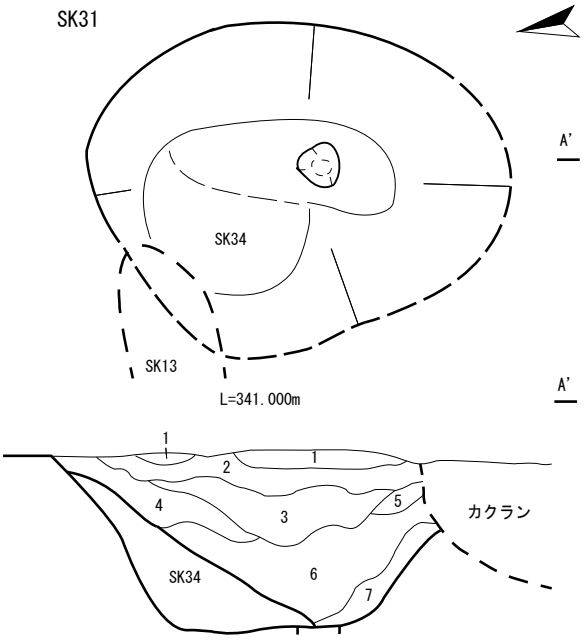
1　7.5YR3/1　黒褐色　　しまりあり　粘りやや強　シルト
　10YR3/3　暗褐色シルト20%混入
2　2.5YR6/4　にぶい黄褐色　しまりなし　粘りやや強　地山の崩落土
3　10YR2/1　黒　色　　しまりなし　粘り強　　シルト
　2.5YR7/6 黄褐色粘土（地山）ブロック状に5%含む

0　1:40　1m

第24図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（８）

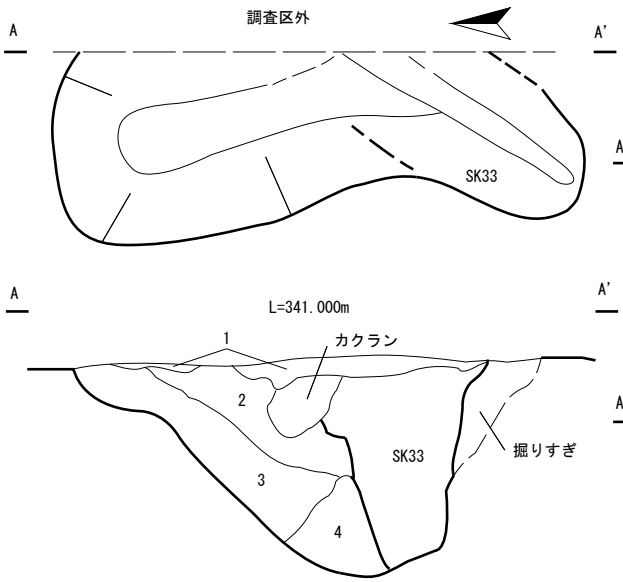


1　10YR4/2　灰黄褐色　しまりややなし　粘りやや弱　シルト（表土層）
2　10YR2/1　黒　色　しまりややなし　粘りやや強　シルト
3　10YR3/1　黒褐色　しまりややなし　粘りやや強　シルト
　黄褐色パミスブロック 5% 混入
4　10YR3/3　暗褐色　しまりなし　粘りやや弱　シルト
　地山がスジ状に 1% 入る



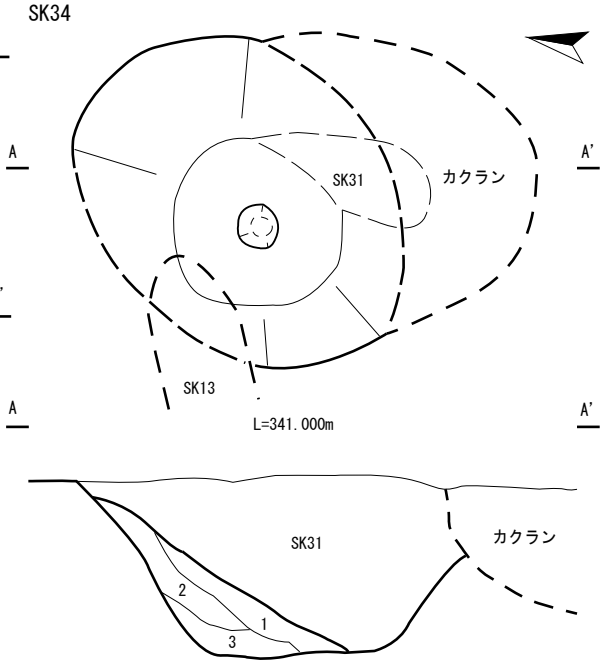
1　2.5Y8/8　黄褐色　しまりあり　粘りなし　パミス
2　10YR3/2　黒褐色　しまりややなし　粘りやや強　シルト
　10YR2/3 黒褐色シルトが 40%混在する
3　7.5YR3/2　黒褐色　しまりややなし　粘りやや強　シルト
4　10YR4/3　にぶい黄褐色　しまりややあり　粘りやや強　シルト
　2.5Y7/3 浅黄色土が 10%入る
5　10YR4/3　にぶい黄褐色　しまりややあり　粘りやや強　シルト
　2.5Y7/3 浅黄色土が 10%入る
6　10YR2/3　黒褐色　しまりなし　粘りやや強　シルト
7　10YR4/4　褐　色　しまりややあり　粘り強　シルト
　地山ブロックを含む

SK35



1　10YR4/2　灰黄褐色　しまりややなし　粘りやや弱　シルト（表土層）
2　10YR3/2　黒褐色　しまりあり　粘りやや強　シルト
　黄褐色パミス（To-Cu?）ブロック 20%混入
3　10YR4/4　褐　色　しまりあり　粘りやや強　シルト
4　10YR3/4　暗褐色　しまりややなし　粘り弱　シルト
　SK35の埋土

SK34

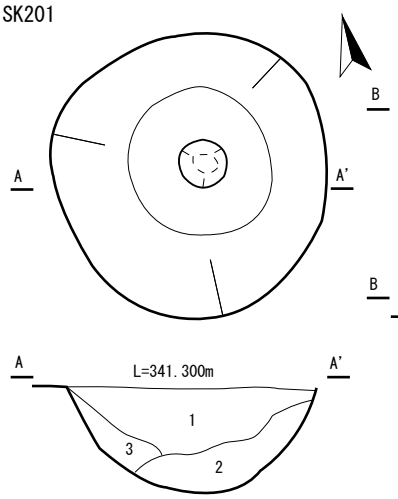


1　10YR4/2　灰黄褐色　しまりあり　粘りやや強　シルト
2　10YR4/4　褐　色　しまりややあり　粘り強　シルト
　地山ブロックを含む
3　10YR5/3　にぶい黄褐色　しまりあり　粘り強　粘土質シルト

0　1:40　1m

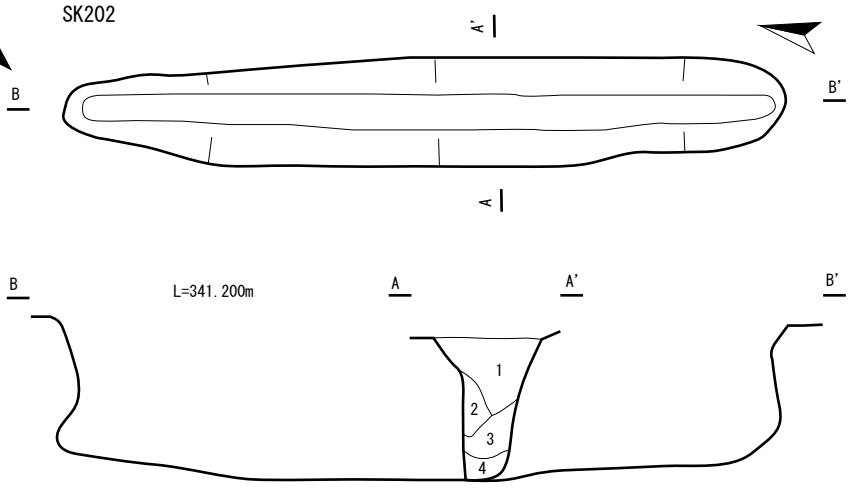
第25図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（9）

SK201



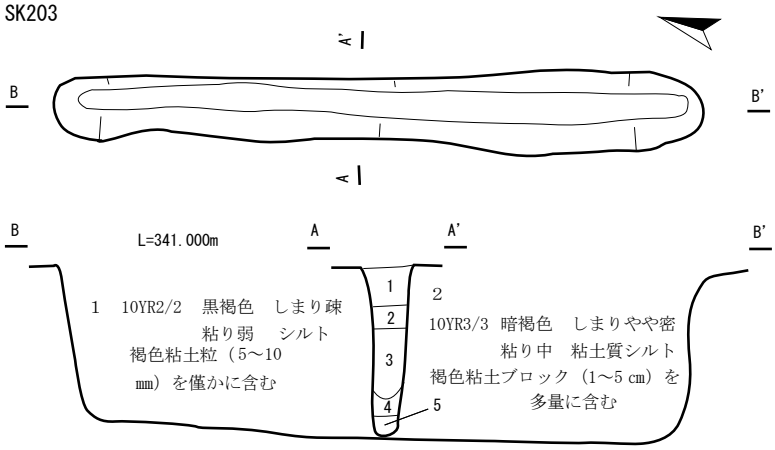
1　10YR2/2　黒褐色　しまり疎　　粘り弱　シルト
　褐色粘土粒（1～2㎜）を僅かに含む
2　10YR3/3　暗褐色　しまりやや密　粘り中　粘土質シルト
　粘土ブロック（1～2㎝）を僅かに含む
3　10YR3/3　暗褐色　しまり密　　粘り強　粘土質シルト
　粘土ブロックを斑に含む

SK202



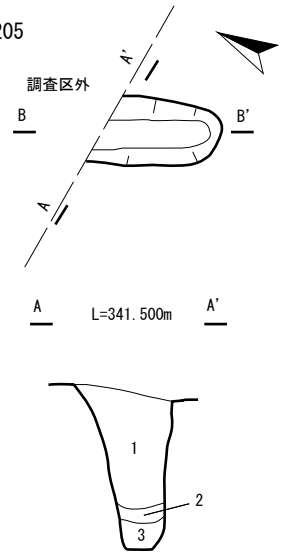
1　10YR2/2　黒褐色　しまりやや疎　粘り弱　シルト
　褐色粘土粒（5～10㎜）を僅かに含む
2　10YR3/4　暗褐色　しまりやや密　粘り中　粘土質シルト
　黒褐色土ブロック（5～10㎜）を多少含む
3　10YR5/8　黄褐色　しまり密　　粘り強　粘土
　黒褐色土ブロックを一箇所含む
4　10YR2/2　黒褐色　しまりやや疎　粘り弱　シルト

SK203



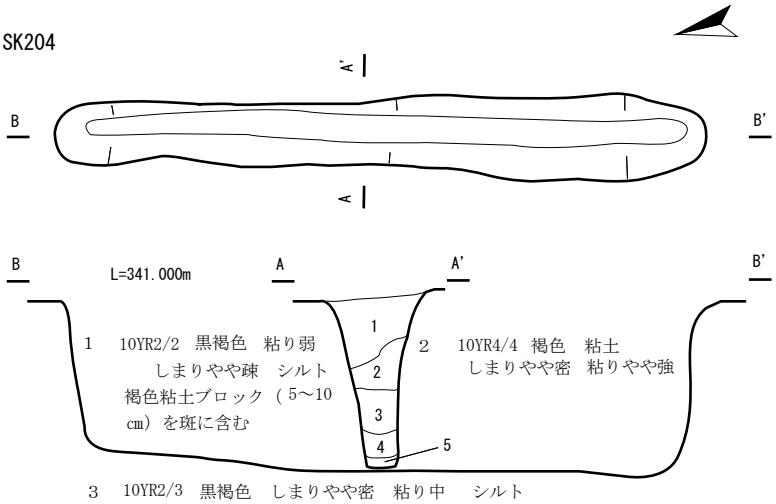
1　10YR2/2　黒褐色　しまり疎
　粘り弱　シルト
　褐色粘土粒（5～10㎜）を僅かに含む
2　10YR3/3　暗褐色　しまりやや密
　粘り中　粘土質シルト
　褐色粘土ブロック（1～5㎝）を多量に含む
3　10YR2/2　黒褐色　しまり疎　　粘り弱　　シルト
4　10YR5/8　黄褐色　しまり密　　粘り強　　粘土
5　10YR2/2　黒褐色　しまり弱　　粘りやや弱　シルト

SK205

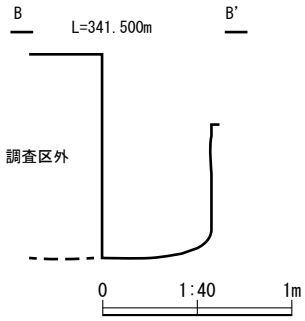


1　10YR3/4　暗褐色　しまりやや疎
　粘り弱　シルト
　大小褐色粘土ブロックを斑に含む
2　10YR5/8　黄褐色　しまり密
　粘り強　粘土
3　10YR2/2　黒褐色　しまりやや密
　粘り弱　シルト

SK204

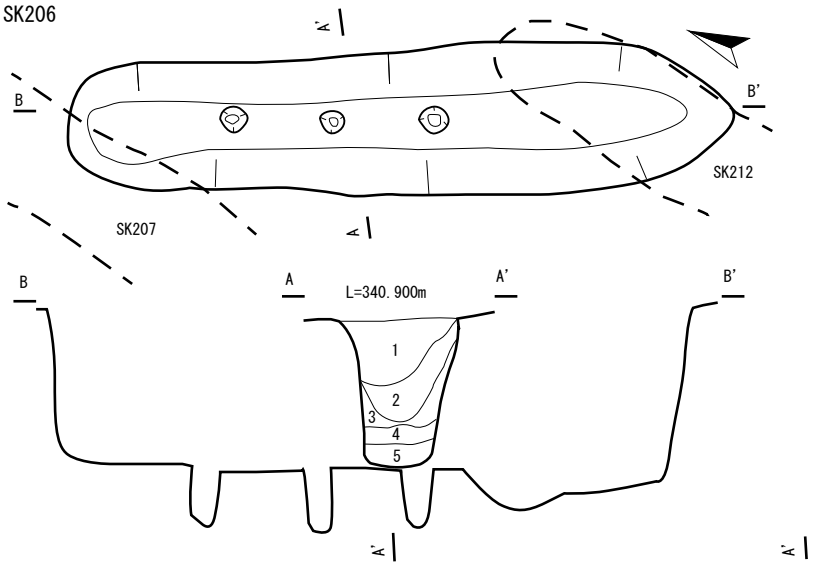


1　10YR2/2　黒褐色　粘り弱
　しまりやや疎　シルト
　褐色粘土ブロック（5～10㎝）を斑に含む
2　10YR4/4　褐色　粘土
　しまりやや密　粘りやや強
3　10YR2/3　黒褐色　しまりやや密　粘り中　シルト
4　10YR4/6　褐　色　しまり密　　粘り強　粘土
5　10YR2/2　黒褐色　しまりやや密　粘り弱　シルト



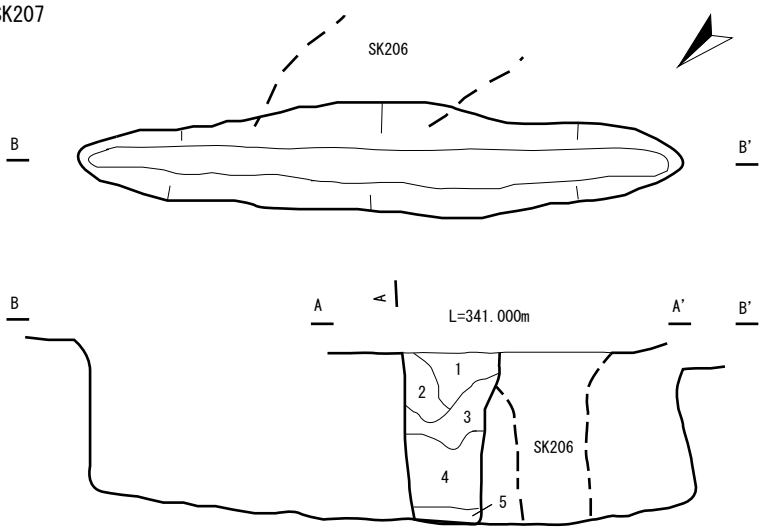
第26図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（10）

SK206



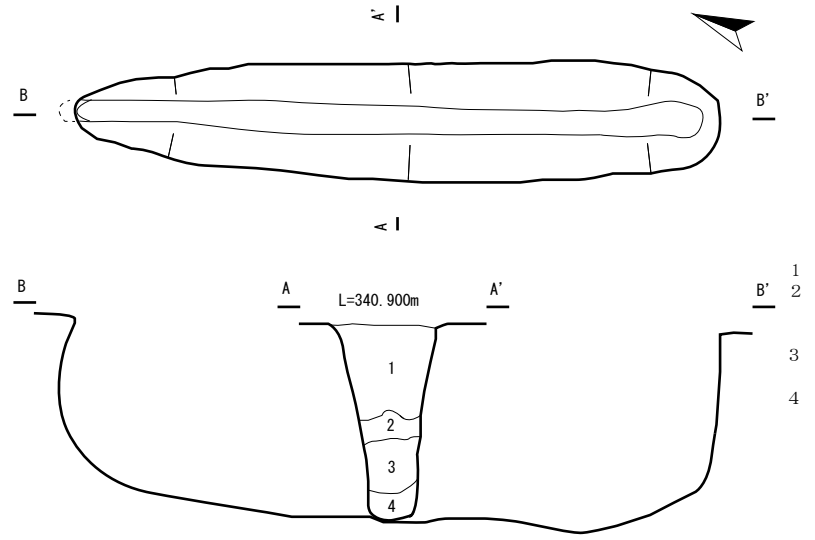
1　10YR3/2　黒褐色　しまりやや密
粘りやや強　シルト
2　10YR4/2　灰黄褐色　しまりやや密
粘りやや強　シルト
2.5Y6/6　明黄褐色粘土ブロック 3%混入
3　2.5Y7/8　黄褐色　しまり疎
粘り強　粘土
4　10YR1.7/1　黒色　しまりやや疎
粘り強　シルト
5　10YR5/3　にぶい黄褐色　しまりやや密
粘り強　粘土質シルト

SK207



1　10YR2/2　黒褐色　しまりやや密　粘りやや弱
シルト
2　10YR3/2　黒褐色　しまり密　粘りやや弱
10YR5/3 にぶい黄褐色粘土粒を含む　シルト
3　10YR3/4　暗褐色　しまり密　粘りやや強
シルト
4　2.5Y7/6　明黄褐色　しまり疎　粘り強
粘土
5　10YR4/2　灰黄褐色　しまりやや密　粘りやや強
粘土質シルト

SK208

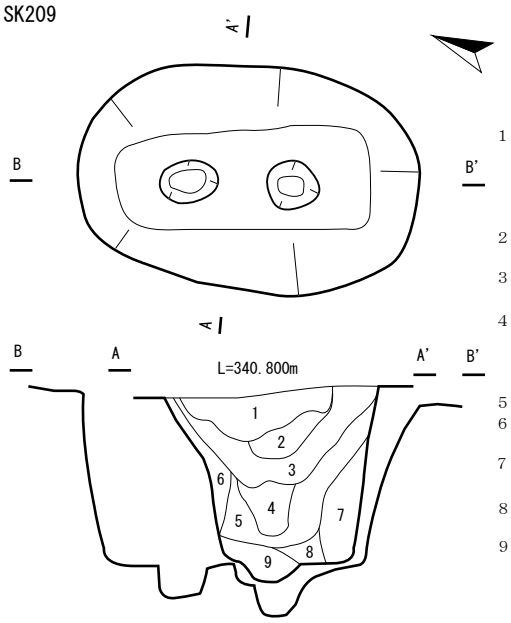


1　10YR3/3　暗褐色　しまりやや疎　粘り弱　シルト
2　2.5Y7/6　明黄褐色　しまり疎
粘り強（地山崩れ）粘土
10YR3/1 黒褐色土ブロック 3% 混じる
3　10YR2/2　黒褐色　しまりやや疎　粘りやや強
地山ブロックを5%含む　シルト
4　10YR4/2　灰黄褐色　しまり密　粘り強
粘土質シルト

0　1:40　1m

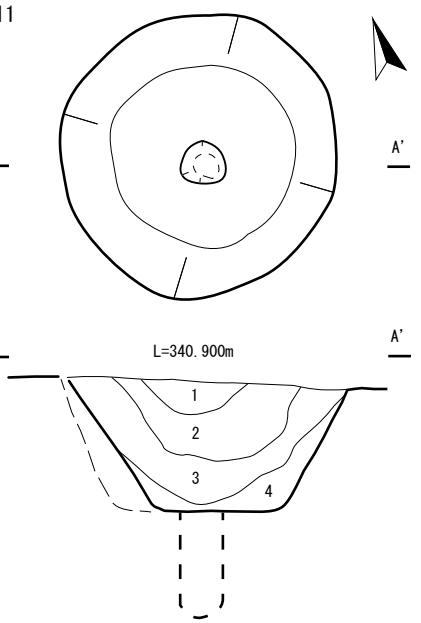
第27図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（11）

SK209



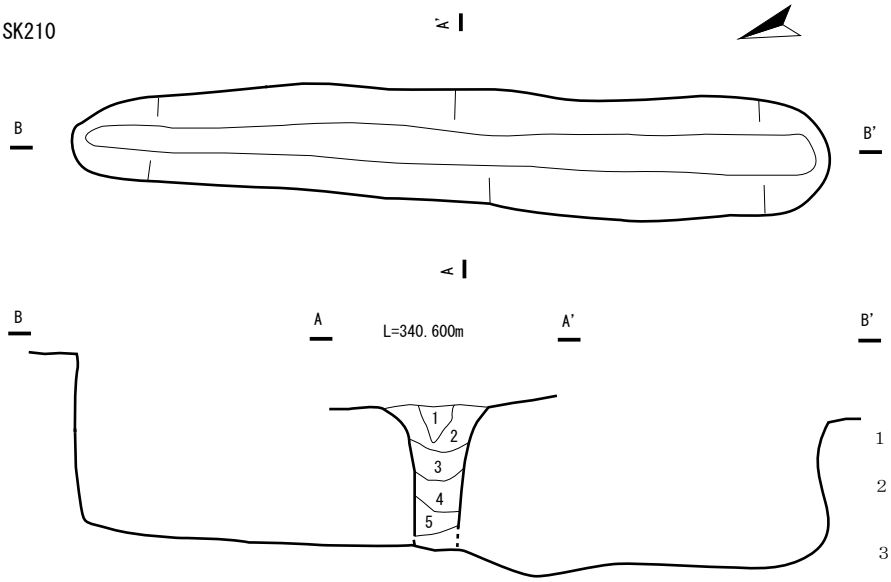
1　10YR3/2 黒褐色　しまり密
粘りやや強　　シルト
10YR7/3　にぶい黄橙色 パミス
2.5Y7/8　黄色パミス
10%混入（主に下位）
2　10YR2/3 黒褐色　しまりやや密
粘りやや強　　シルト
3　10YR3/4 暗褐色　しまりやや疎
粘りやや弱　　シルト
4　10YR4/4 褐　色　しまりやや疎
粘りやや弱　粘土質シルト
2.5Y7/8　明黄褐色
地山ブロック3%混入
5　2.5Y7/8 明黄褐色 地山ブロック
6　2.5Y7/8 明黄褐色 地山ブロック
崩落土
7　2.5Y7/8 明黄褐色 地山ブロック
崩落土
8　2.5Y7/8 明黄褐色 地山ブロック
地山ブロックを3%含む
9　2.5Y7/8 明黄褐色 地山ブロック
10YR3/3 明褐色地山ブロックを
5%含む

SK211



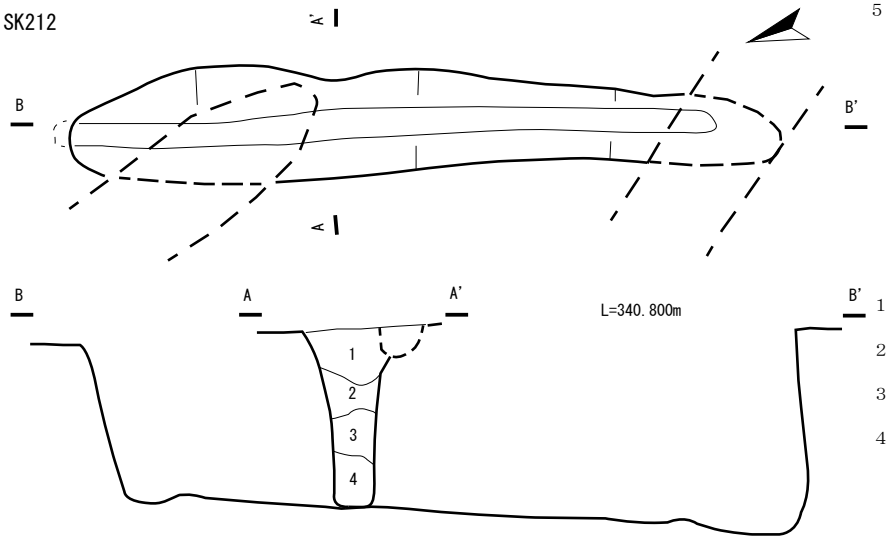
1　10YR3/1　黒褐色　　シルト
しまりやや密　粘りやや弱
2.5Y7/8
黄色パミス（ブロック状）
10YR6/8 にぶい黄褐色 5%混入
2　10YR5/4　にぶい黄褐色　シルト
しまりやや疎　粘りやや弱
パミス粒全体に 5%、
10YR7/6 にぶい黄橙色
10%（下位に）含む
3　10YR5/2　灰黄褐色　粘土質シルト
しまり疎　　粘りやや強
10YR2/1 黒色土ブロックを1%含む
4　2.5Y7/8　明黄褐色 地山ブロック
粘土質シルト

SK210



1　10YR2/1　黒色　　しまりやや疎
粘り弱　　シルト
2　10YR6/3　にぶい黄橙色　しまり疎
～10YR7/6　明黄褐色
粘り強　　粘土
3　10YR3/3　暗褐色　　しまりやや疎
粘りやや強　　シルト
4　10YR7/2　にぶい黄褐色　しまり疎
粘りやや強　　シルト
5　10YR4/2　灰黄褐色　　しまり密
粘り強　粘土質シルト

SK212

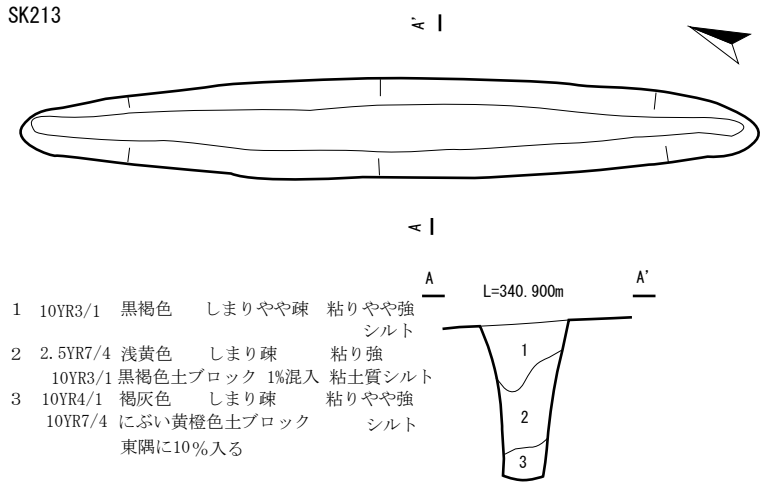


1　10YR3/2　黒褐色　　シルト
しまり疎　　粘りやや強
2　10YR6/4　にぶい黄褐色　粘土質シルト
～2.5YR7/4浅黄色　しまり疎　　粘り強
3　10YR4/2　灰黄褐色　シルト
しまりやや疎　粘りやや強
4　2.5Y7/8　　明黄褐色 地山ブロック
粘土質シルト

0　1:40　1m

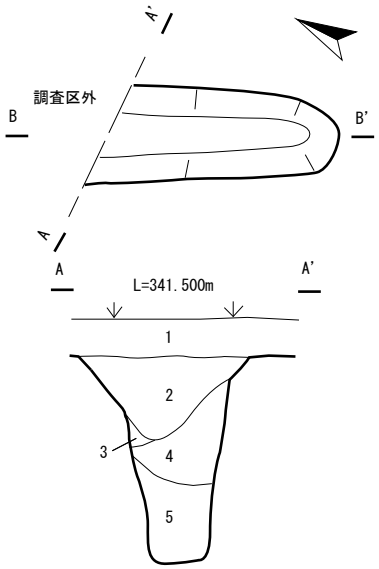
第28図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（12）

SK213



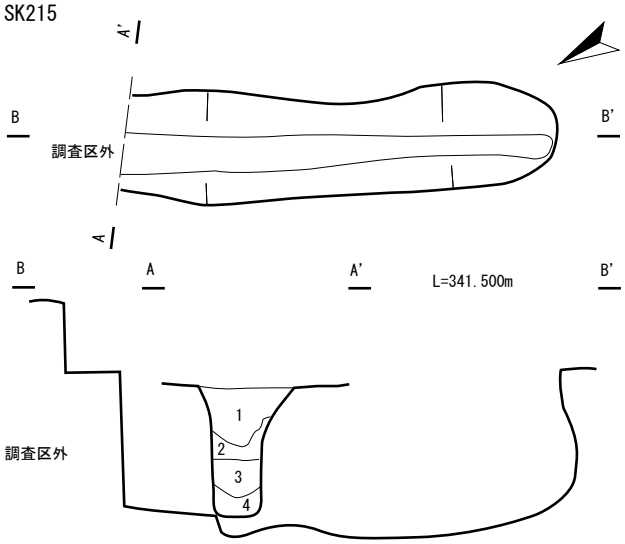
1　10YR3/1　黒褐色　しまりやや疎　粘りやや強　シルト
2　2.5YR7/4　浅黄色　しまり疎　粘り強
　10YR3/1 黒褐色土ブロック 1%混入　粘土質シルト
3　10YR4/1　褐灰色　しまり疎　粘りやや強
　10YR7/4　にぶい黄橙色土ブロック　シルト
　東隅に10%入る

SK214

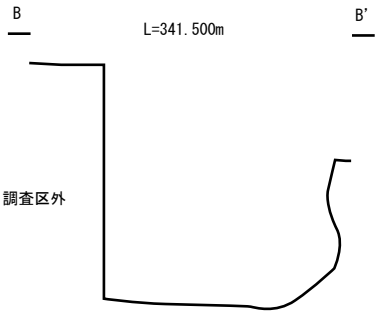


1　10YR3/4　暗褐色　しまり密　粘り弱　耕作土　シルト
2　10YR3/2　黒褐色　しまりやや密　粘りやや弱　シルト
　微細パミス全体に1%含む
3　2.5YR7/6　明黄褐色　しまり疎　粘り強（地山崩れ）粘土
4　2.5Y7/8　明黄褐色　地山ブロック粘土質シルト
5　2.5YR7/6　明黄褐色　しまり疎　粘り強（地山崩れ）粘土

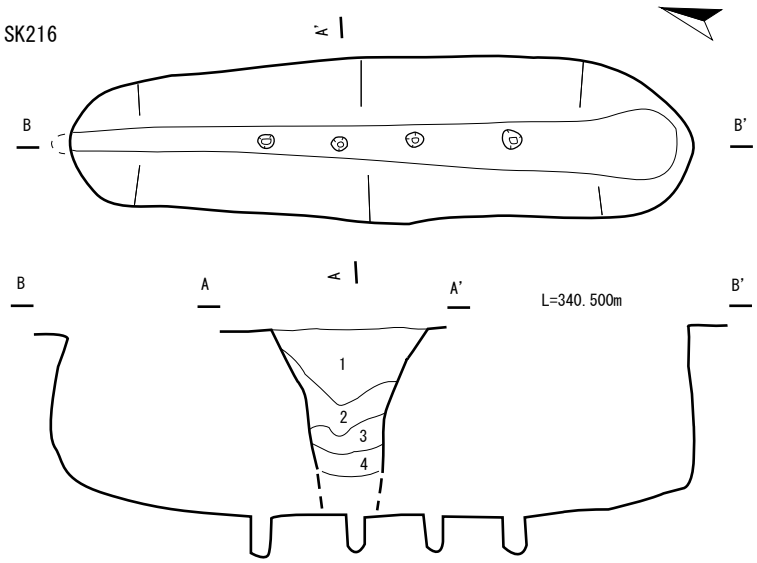
SK215



1　10YR3/3　暗褐色　しまりやや疎　粘りやや弱　シルト
2　2.5YR7/6　明黄褐色　しまり疎　粘り強（地山崩れ）粘土
3　10YR2/3　黒褐色　しまりやや疎　粘りやや弱　シルト
4　2.5YR7/4　浅黄褐色　しまり疎　粘り強（地山崩れ）粘土



SK216

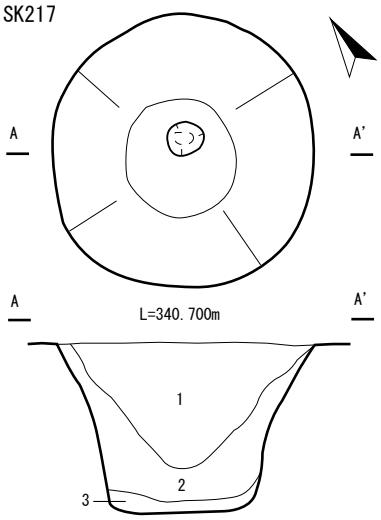


1　10YR3/1　黒褐色　しまりやや疎　粘りやや弱　シルト
2　2.5YR6/6　明黄褐色　しまりやや密　粘りやや強　粘土質シルト
3　2.5YR7/6　明黄褐色　しまり疎　粘り弱　粘土
4　10YR2/1　黒色　しまりやや密　粘りやや弱　シルト

0　1:40　1m

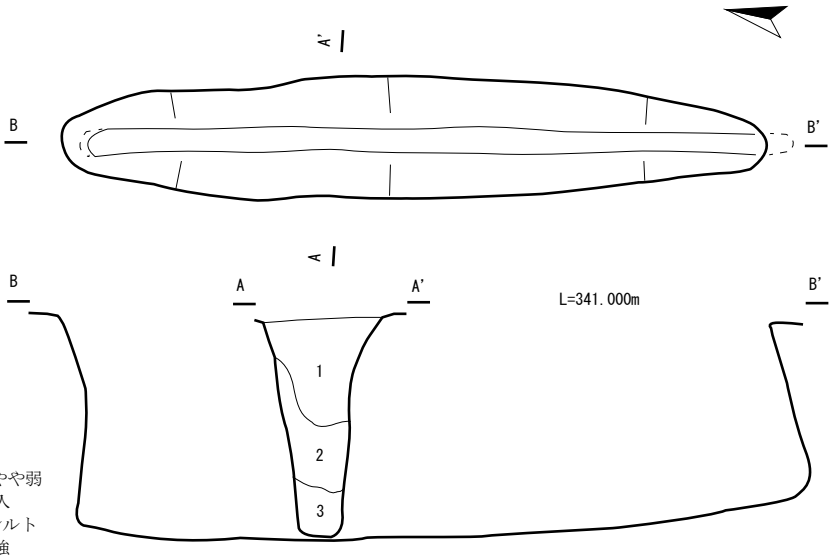
第29図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（13）

SK217



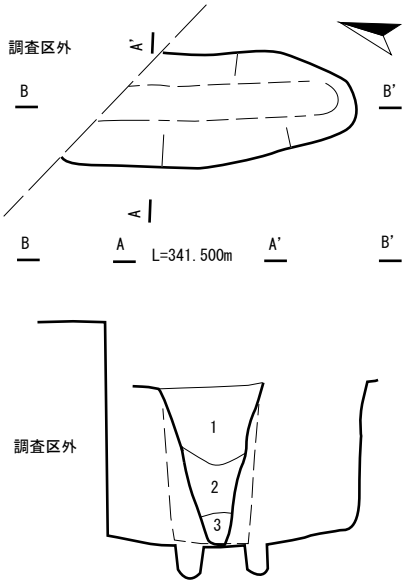
1　10YR3/2　黒褐色　　しまりやや疎　粘りやや弱
　10YR6/4　にぶい黄橙色土が中位に5%混入
　　シルト
2　2.5YR7/4　浅黄色　　しまりやや疎　粘り強
　～ 2.5YR7/6　明黄褐色
　　（地山崩れ）粘土
3　10YR5/4　にぶい黄褐色　しまり密　粘り強
　　シルト

SK218



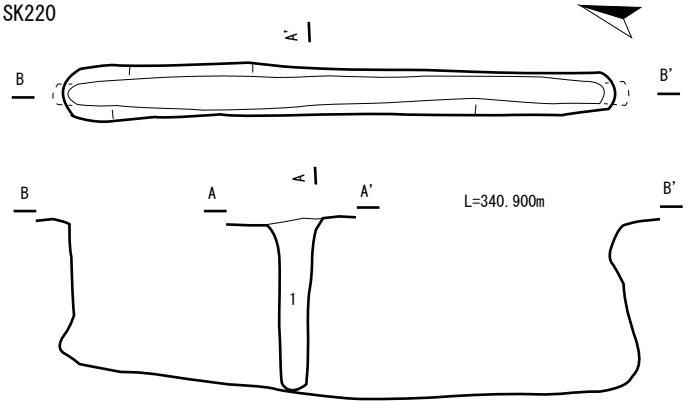
1　10YR2/2　黒褐色　しまり疎　　粘り弱　　シルト
2　10YR4/6　褐　色　しまり密　　粘り強　　粘土
　黄褐色パミス粒を僅かに含む
3　10YR4/4　褐　色　しまりやや密　粘り強　　粘土

SK219



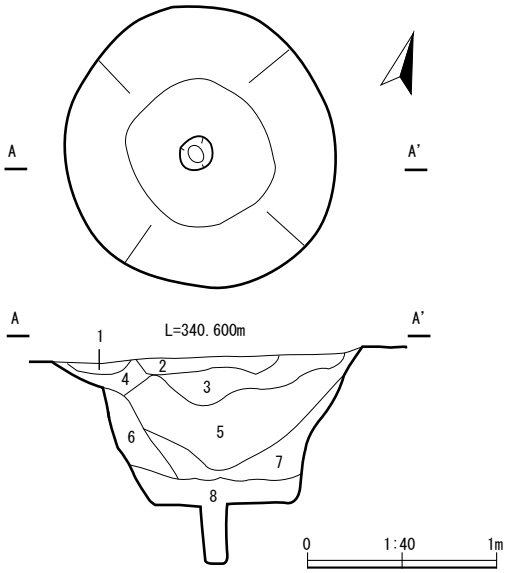
1　10YR3/2　黒褐色　しまり疎　　粘り弱　　シルト
　下位に褐色土粒を多く含む
2　10YR4/6　褐　色　しまり密　　粘り強　　粘土
　粘土ブロックを密（霜降り状）に含む
3　10YR2/3　黒褐色　しまり疎　　粘り弱　　シルト

SK220



1　10YR2/2　黒褐色　しまり疎　　粘り弱　　シルト
　褐色土粒を僅かに含む

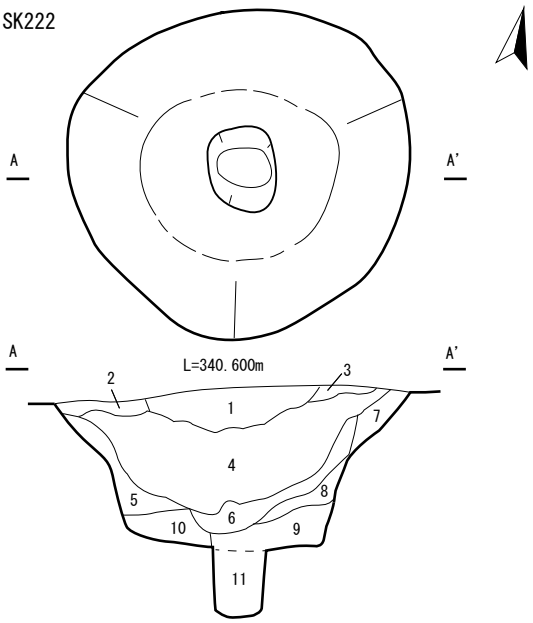
SK221



1　10YR2/3　黒褐色　しまり疎　　粘り弱　　シルト
　10YR6/3 にぶい黄橙色の火山灰ブロック（10～20㎝）を多量に含む
2　10YR2/3　黒褐色　しまり疎　　粘り弱　　シルト
3　10YR2/2　黒褐色　しまりやや疎　粘りやや弱　　シルト
4　10YR2/3　黒褐色　しまり疎　　粘り弱　　シルト
5　10YR2/3　黒褐色　しまり疎　　粘り弱　　シルト
　褐色土粒（2～5㎜）をかすかに含む
6　10YR4/6　褐　色　しまりやや密　粘り強　　粘土
　黒褐色土ブロックを少量含む
7　10YR3/3　暗褐色　しまりやや疎　粘りやや弱　粘土質シルト
　黒褐色土ブロックを斑に含む
8　10YR2/3　黒褐色　しまりやや疎　粘りやや弱　　シルト

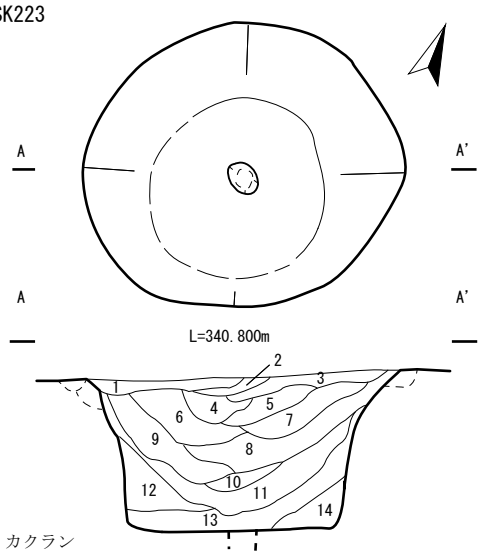
第30図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（14）

SK222



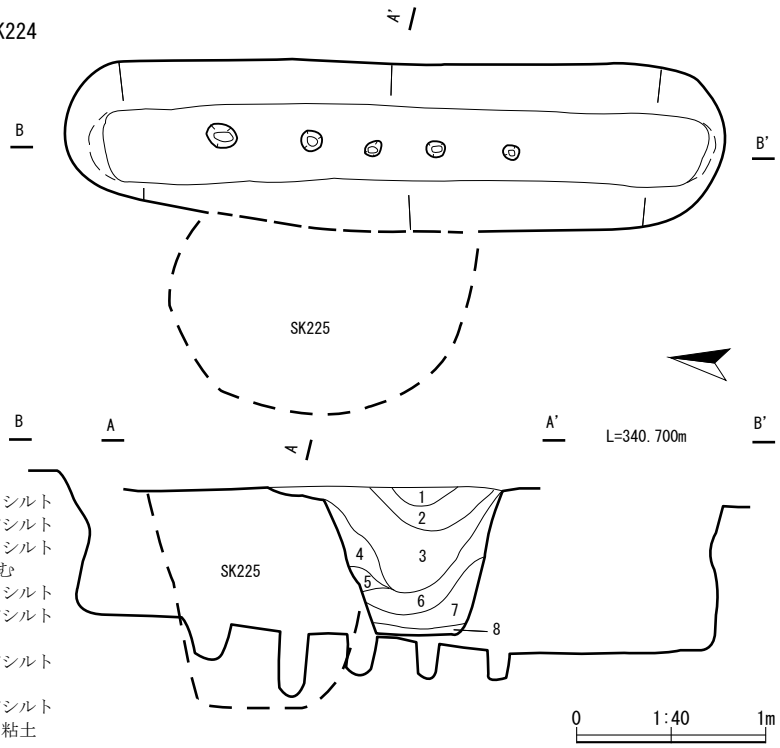
1　10YR7/6　明黄褐色 しまり密　粘り弱　　シルト
2　10YR2/3　黒褐色　しまり疎　粘り弱　　シルト
3　10YR2/3　黒褐色　しまり疎　粘り弱　　シルト
4　10YR2/2　黒褐色　しまり中　粘りやや弱　シルト
　褐色パミス粒を僅かに含む
5　10YR4/6　褐　色　しまりやや密　　粘土質シルト
　暗褐色土を斑に含む　粘り強
6　10YR2/2　黒褐色　しまり中　粘りやや弱　シルト
　褐色パミスのブロック（1～2㎝）をわずかに含む
7　10YR4/6　褐　色　しまり密　　粘り強　　粘土
8　10YR4/6　褐　色　しまりやや密 粘りやや強　粘土
　暗褐色土粒を僅かに含む
9　10YR3/4　暗褐色　しまりやや密 粘りやや強　粘土質シルト
　褐色粘土ブロックを含む
10　10YR3/3　暗褐色　しまり密　粘り強　　粘土
　褐色パミス粒を僅かに含む
11　10YR3/3　暗褐色　しまり疎　粘りやや強　粘土質シルト

SK223



1　カクラン
2　10YR2/1　黒　色　　しまり密　　粘り弱　　シルト
3　10YR2/2　黒褐色　　しまり密　　粘り弱　　砂質シルト
　パミスを少量含む
4　10YR2/2　黒褐色　　しまり密　　粘りやや強 砂質シルト
　炭化物ブロック、パミスを少量含む
5　10YR3/3　暗褐色　　しまり密　　粘り強　　粘土質シルト
　中掫火山灰起源の層？
6　10YR2/3　黒褐色　　しまり密　　粘りやや強 砂質シルト
　パミスを中量含む
7　10YR2/3　黒褐色　　しまりやや密 粘りやや強 砂質シルト
　炭化物、パミスを少量含む
8　10YR2/1　黒　色　　しまり密　　粘り強　　シルト
　炭化物ブロック（3㎜φ）を少量、パミスを微量含む
9　10YR3/1　褐　色　　しまり密　　粘り強　　粘土質シルト
10　10YR4/3　にぶい黄褐色 しまり疎　粘り強　　粘土質シルト
11　10YR2/3　黒褐色　　しまり疎　　粘りやや強　　シルト
　パミス、微量含む
12　10YR5/6　黄褐色　　しまり疎　粘りやや強 粘土質シルト
　黒褐色土混入、崩落土
13　10YR3/4　暗褐色　　しまり密　　粘り強　　粘土
14　10YR5/8　黄褐色　　しまりやや密 粘り強　　粘土

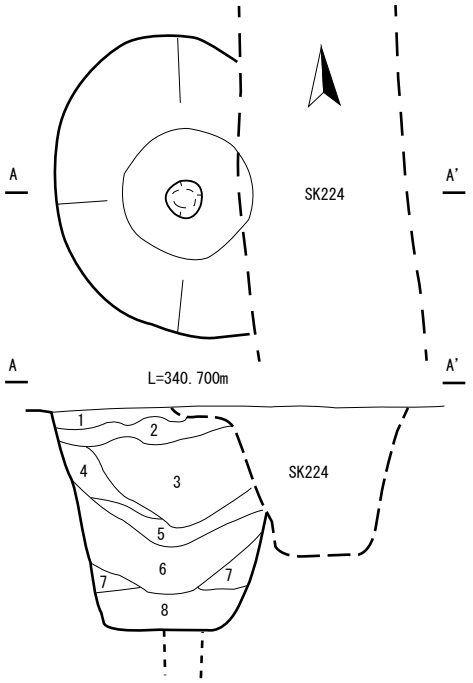
SK224



1　10YR2/1　黒　色　　しまり疎　粘り弱　　シルト
2　10YR3/3　暗褐色　　しまり密　粘り弱　　砂質シルト
3　10YR2/1　黒　色　　しまり密　粘り強　　シルト
　～ 10YR3/4 暗褐色　中掫火山灰ブロックを含む
4　10YR2/2　黒褐色　　しまり疎　粘りやや強　　シルト
5　10YR4/3 にぶい黄褐色 しまり疎　粘り強　粘土質シルト
　10YR6/8 黄褐色シルトが混入する
6　10YR6/8　黄褐色　　しまり疎　粘り強　粘土質シルト
　４層が混入
7　10YR6/8　黄褐色　　しまり密　粘り強　粘土質シルト
8　10YR3/3　暗褐色　　しまり密　粘り強　　粘土

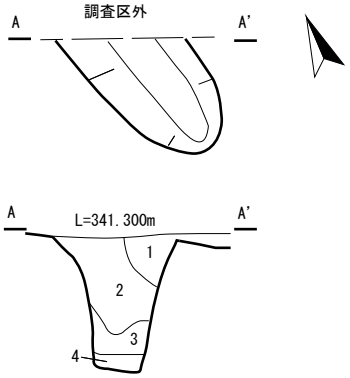
第31図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（15）

SK225



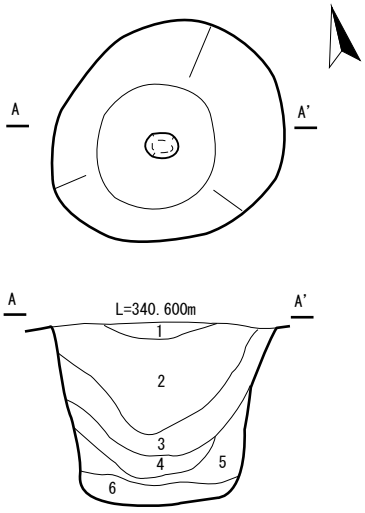
1　10YR2/2　黒褐色　しまり密　粘り弱　砂質シルト
2　10YR2/1　黒褐色　しまり密　粘り弱　砂質シルト
3　10YR2/1　黒褐色　しまり密　粘り強　シルト
　パミス少量、炭化物微量含む
4　10YR4/6　褐　色　しまり密　粘り強　粘土
5　10YR2/3　黒褐色　しまり密　粘り強　シルト
　10YR4/6 褐色粘土まばらに含む
6　10YR4/6　褐　色　しまり密　粘り強　粘土質シルト
　～10YR2/3　黒褐色
7　10YR4/6　褐　色　しまり疎　粘り強　粘土
8　10YR3/3　暗褐色　しまり密　粘り強　粘土
　～10YR5/8　黄褐色　下位に暗褐色粘土が点在する

SK227



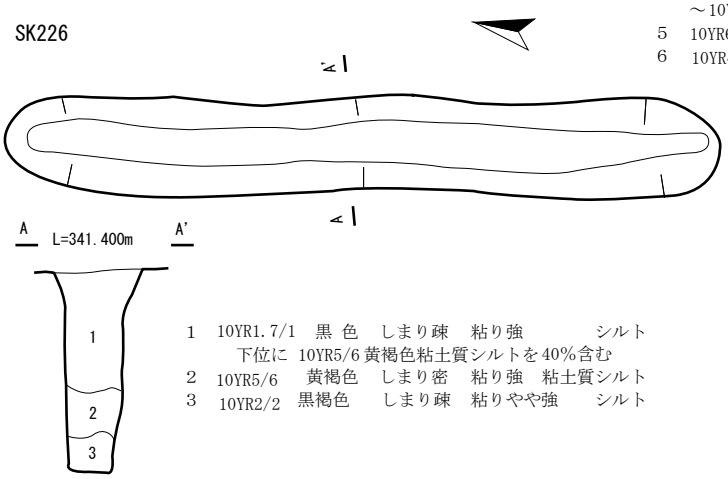
1　10YR3/4　暗褐色　しまり疎　粘り弱　シルト
　褐色粘土ブロック（10～20㎝）を多量に含む
2　10YR2/3　黒褐色　しまりやや密　粘り弱　シルト
3　10YR4/6　褐　色　しまりやや密　粘り強　粘土
4　10YR2/2　黒褐色　しまりやや疎　粘り弱　シルト

SK228



1　10YR5/6　黄褐色　しまり密　粘り強　粘土
2　10YR2/1　黒　色　しまり密　粘り強　砂質シルト
　炭化物ブロック（5㎜）、10YR3/4 暗褐色土、パミスを少量含む
3　10YR3/4 暗褐色　しまりやや密　粘りやや強 粘土質シルト
　10YR4/6　褐色砂質シルト混入
4　10YR2/1　黒　色　しまり疎　粘り強　シルト
　～10YR5/6　黄褐色　炭化物を微量に含む
5　10YR6/8　黄褐色　しまり密　粘り強　粘土
6　10YR4/3　にぶい黄褐色 しまりやや密　粘り強　粘土

SK226

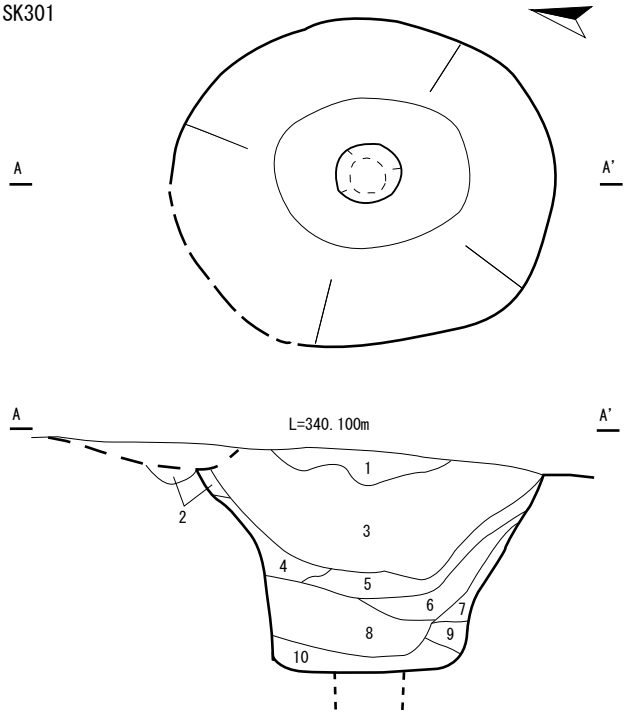


1　10YR1.7/1　黒 色　しまり疎　粘り強　シルト
　下位に 10YR5/6 黄褐色粘土質シルトを40%含む
2　10YR5/6　黄褐色　しまり密　粘り強　粘土質シルト
3　10YR2/2　黒褐色　しまり疎　粘りやや強　シルト

0　1:40　1m

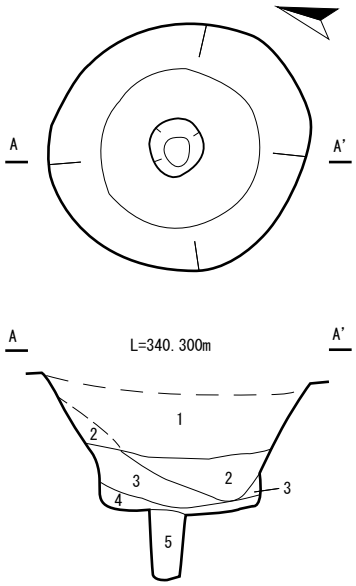
第32図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（16）

SK301



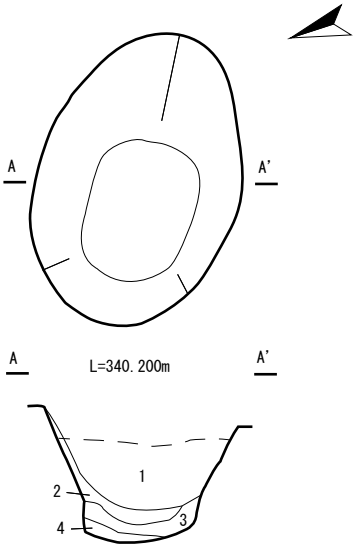
1　10YR8/8　黄橙色　しまりやや密　粘り弱　砂質シルト
～10YR4/2　灰黄褐色（グライ化）中撥火山灰
2　10YR3/3　暗褐色　しまり疎　粘りやや強　シルト
3　10YR2/1　黒　色　しまり密　粘り強　シルト
下位で 10YR5/6 黄褐色土の混入あり
4　10YR4/6　褐　色　しまり疎　粘り強　シルト
～10YR5/8　黄褐色
5　10YR2/1　黒　色　しまり疎　粘り強　シルト
～10YR5/8　黄褐色
6　10YR5/8　黄褐色　しまり疎　粘り強　シルト
～10YR4/6　褐色
7　10YR5/8　黄褐色　しまり疎　粘り強　粘土質シルト
8　10YR6/8　黄褐色　しまり密　粘り強　粘土質シルト
10YR3/3　暗褐色粘土を含む
9　10YR2/1　黒　色　しまりやや密　粘り強　粘土質シルト
10YR4/6　褐色粘土質シルトを含む
10　10YR3/3　暗褐色　しまり密　粘り強　粘土質シルト

SK302



1　黒褐色シルト（カクラン）
2　10YR2/1　黒　色　しまり密　粘り強　シルト
炭化物を少量、パミスを微量含む
3　10YR3/4　暗褐色　しまり密　粘り強　粘土質シルト
10YR4/6 褐色粘土質シルトが混入
4　10YR2/3　黒褐色　しまり密　粘り強　粘土質シルト
～ 10YR5/8　黄褐色
5　10YR3/3　暗褐色　しまり密　粘り強　粘土質シルト
丸礫（径３cm）を含む

SK303



1　10YR2/1　黒　色　しまり極密　粘り強　シルト
混合物多い　カクラン（近現代）
2　10YR2/3　黒褐色　しまり密　粘りやや強　粘土質シルト
パミス、黄褐色粘土が混合する
3　10YR5/8　黄褐色　しまり密　粘り強　粘土質シルト
～10YR4/4　褐色
4　10YR3/3　暗褐色　しまり密　粘り強　粘土質シルト

0　1:40　1m

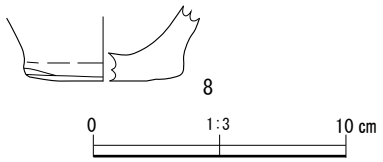
第33図　赤川Ⅱ遺跡検出遺構（17）

第２表　赤川Ⅱ遺跡遺構計測表（１）

遺構名	平面形状	長さ(cm)	幅(cm)	深さ(cm)	重複関係・埋土・その他
SK01	②楕円形	230	100	100	石皿片出土。
SK02	①溝形	320	50	100	重複するSK29より新しい。埋土の大部分が黒褐色ブロック混じり黄褐色土。底にわずかに黒褐色土層。
SK03	①溝形	330	55	100	長軸方向壁面は外傾。
SK04	①溝形	235	55	90	重複するSK30より新しい。
SK05	円形	170	160	30	底面形状は円形で、壁面は内傾する。（フラスコ形？）
SK06	①溝形	220	50	95	長軸方向壁面は内傾する。
SK07	②楕円形	290	100	90	埋土は、黒・黄褐・黒褐の三層。（溝形の基本パターン）
SK08	③円形	190	160	90	埋土の最上位に中振火山灰塊あり。底面中央に逆茂木痕。
SK09	③円形	150	130	70	底面中央に逆茂木痕。壁面やや外傾する。
SK10	①溝形	－	70	110	東側、調査区外に延びる。長軸方向壁面は内傾する。
SK11	②楕円形	350	110	90	長形・黒褐色埋土が底面までつながる。
SK12	②楕円形	－	90	110	長形・黒褐色埋土が底面まで広がる。
SK13	①溝形	280	50	70	重複するSK31・SK32より新しい。
SK14	③円形	110	105	70	底面に小穴。
SK15	②楕円形	180	70	60	長形・埋土は溝形に特徴的な基本の三層。
SK16	②楕円形	180	110	80	短形。
SK17	②楕円形	－	－	70	調査区の南西境界にあり、全体は不明。
SK18	③円形	185	－	90	埋土最上位に中振火山灰塊あり。底面に小穴。調査区の国道側境界にかかる。
SK19	②楕円形	225	80	90	埋土のほとんどが黒褐色土の陥し穴。
SK20	③円形	130	110	65	底面が平底で、壁面やや外傾・外湾する。
SK21	③円形	170	130	75	底面に小穴あり。
SK22	①溝形	340	50	65	壁面ほぼ垂直に立ち上がる。
SK23	②楕円形	160	80	70	短形・埋土のほとんどが黒褐色土。
SK24	①溝形	－	50	40	地山面より下げて検出。調査区国道側の西境界にある。
SK25	①溝形	240	50	60	壁面やや外傾する。埋土は基本的に三層だが、黒褐色土が底面までつながっている。
SK26	①溝形	－	40	60	調査区の東境界に位置し、長さは不明。埋土は褐色粘土ブロックを含む黒褐色土。
SK27	①溝形	200	50	90	壁面上位、やや外傾し、開口している。
SK28	②楕円形	230	70	90	長形・埋土は溝形に特徴的な三層。地山検出面に礫が散在する。
SK29	②楕円形	170	－	80	短形・重複するSK01とSK02より古い。壁面わずかに内湾する。
SK30	③円形	130	－	65	重複するSK04より古い。底面に小穴あり。
SK31	③円形	220?	160?	90	重複するSK34より新しい。埋土最上位に中振火山灰塊あり。底面に小穴あり。
SK32	②楕円形	240	90	90	重複するSK13より古い。断面より、褐色粘土層の壁面が確認できる。
SK33	①溝形	－	70	100	重複するSK35・SK36より新しい。調査区外、北東に延びる。
SK34	③円形	180	150	90	重複するSK31より古い。底面に小穴あり。
SK35	②楕円形	－	100	110	SK33と重複する。調査区境の断面より推測。
SK201	③円形	150	140	50	東端、平底、壁面外傾、小穴あり。
SK202	①溝形	370	55	70	東側、壁面ほぼ垂直（上部やや外傾）。
SK203	①溝形	330	40	90	東側、壁面ほぼ垂直、埋土下位まで黒色土。
SK204	①溝形	330	45	90	東側、壁面ほぼ垂直（上部やや外傾）長軸方向壁面は内傾。
SK205	①溝形	－	35	80	東側、北調査区境、壁面ほぼ垂直、埋土水平層状に堆積。
SK206	②楕円形	340	80	80	SK207・SK212と長軸の端で重複。床面高低さ有り。新旧関係有り。
SK207	①溝形	310	60	85	重複する SK206より新しく深い。埋土下半分は褐色土。
SK208	①溝形	330	60	100	壁面やや外傾。溝幅に差あり。
SK209	②楕円形	180	120	100	壁面やや外傾。底面２ヵ所に小穴あり。
SK210	①溝形	390	60	80	南側、河川付近。埋土ブロック状に黒色土と褐色土入る。
SK211	③円形	150	145	70	埋土最上位に中振火山灰塊あり。底面に小穴あり。
SK212	①溝形	360?	60	95	SK206・SK213と長軸の端で重複。床面高低差有り。新旧関係有り。SK206より新しい。
SK213	①溝形	385	50	80	重複する SK212より新しく深い。
SK214	①溝形	－	50	105	調査区境、北側に延びる。
SK215	①溝形	－	55	70	調査区境、北側に延びる。
SK216	②楕円形	325	85	90	比較的幅広の溝形で、底面に細い小穴が４つ並ぶ。
SK217	③円形	135	135	90	埋土上位に黒色土が堆積。底面に小穴。
SK218	①溝形	360	65	110	壁面ほぼ垂直（上部やや外傾）長軸方向壁面は内傾に近い。
SK219	①溝形	－	60	85	調査区境、北側に延びる。壁面はやや外傾）長軸方向壁面は内傾に近い。底面狭い。

第３表　赤川Ⅱ遺跡遺構計測表（２）

遺構名	平面形状	長さ(cm)	幅(cm)	深さ(cm)	重複関係・埋土・その他
SK220	①溝形	280	30	90	細く、直線的な平面で、垂直に掘り込まれ、埋土のほとんどが黒褐色土に覆われている。
SK221	③円形	145	140	75	埋土上位（検出面）西側で灰褐色の土（火山灰）がみられ、平底中央に小穴あり。
SK222	③円形	175	170	85	埋土上位（検出面）中央に中掫火山灰がみられ、楕円の平底中央には中穴あり。
SK223	③円形	165	150	80	埋土上位から底付近まで黒褐色土がみられ、楕円の平底中央には小穴あり。
SK224	②楕円形	340	90	80	長い楕円形陥し穴。壁面やや外傾し、底面には細い小穴が５つ並ぶ。重複するSK225より新しい。
SK225	③円形	155	－	115	SK224と重複する。壁面やや外傾し、平底中央に小穴がみられる。
SK226	①溝形	365	50	105	東側、壁面ほぼ垂直（上部やや外傾）長軸方向壁面は内傾。
SK227	①溝形	－	50	70	東側、調査区境、北側に延びる。壁面やや外傾し、長軸方向壁面は内傾。
SK228	③円形	120	110	95	埋土上位（検出面）中央に褐色地山ブロックがみられ、平底中央には逆茂木痕あり。
SK301	③円形	200	170	115	調査区西側、埋土上位（検出面）中央に中掫火山灰がみられ、楕円の平底中央には中穴あり。
SK302	③円形	130	125	70?	埋土上位（検出面）カクランがみられ、平底中央には中穴あり。
SK303	円形	150	105	50	やや楕円形の丸底、壁面内湾する丸型の土坑。



第34図　赤川Ⅱ遺跡遺構出土遺物

第４表　赤川Ⅱ遺跡出土遺物観察表

遺跡名	掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm)				特徴
							口径	器高	底部径	重量	
							縦	横	厚さ		
赤川Ⅱ	8	発掘区		土器	深鉢	底部	—		(6.4)	—	内外面ナデ、縄文土器か。

一次調査前の状況　（南東から）

調査後の状況　（南東から）

調査後の状況　中央（南から）

調査後の状況　北端部（北西から）

１号陥し穴状遺構　断面（南から）

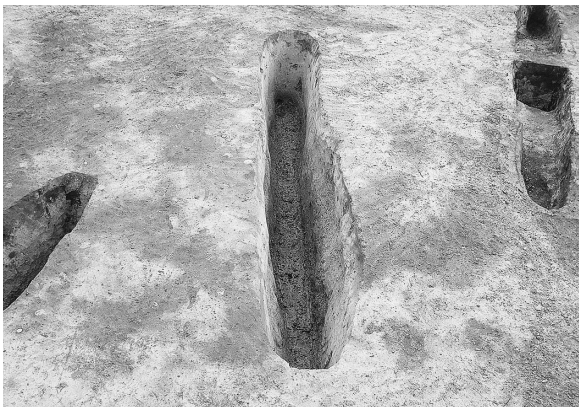
１号陥し穴状遺構　完掘（南から）

２号陥し穴状遺構　断面（南から）

２号陥し穴状遺構　完掘（南から）

写真図版５　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（１）

３号陥し穴状遺構　断面（南から）

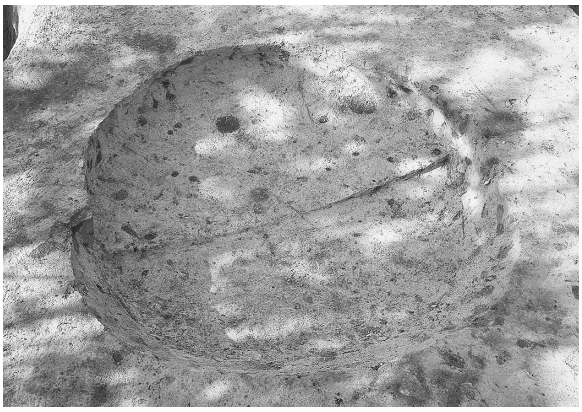


３号陥し穴状遺構　完掘（南から）

４号陥し穴状遺構　断面（南から）

４号陥し穴状遺構　完掘（南から）

５号土坑　断面（南から）



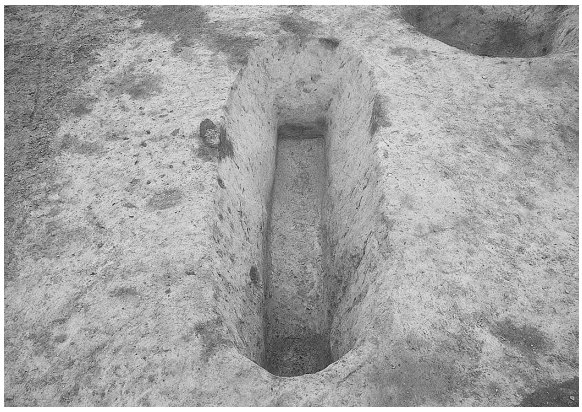
５号土坑　完掘（南から）

６号陥し穴状遺構　断面（南から）

６号陥し穴状遺構　完掘（南から）

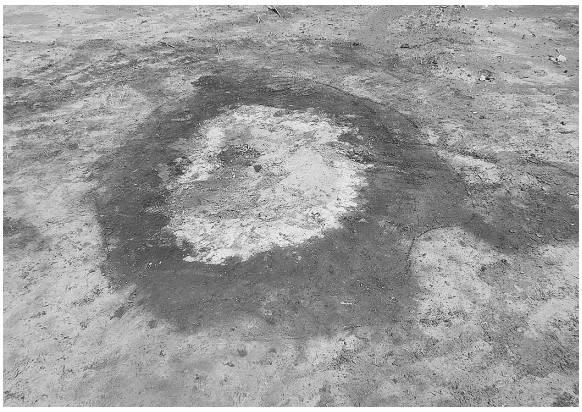
写真図版６　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（２）

７号陥し穴状遺構　断面（南から）

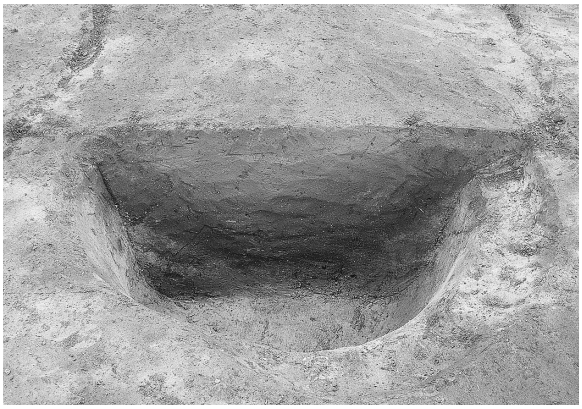

７号陥し穴状遺構　完掘（南から）

８号陥し穴状遺構　断面（南から）

８号陥し穴状遺構　完掘（南から）


８号陥し穴状遺構　検出状況（南から）

９号陥し穴状遺構　完掘（南から）


９号陥し穴状遺構　断面（南から）

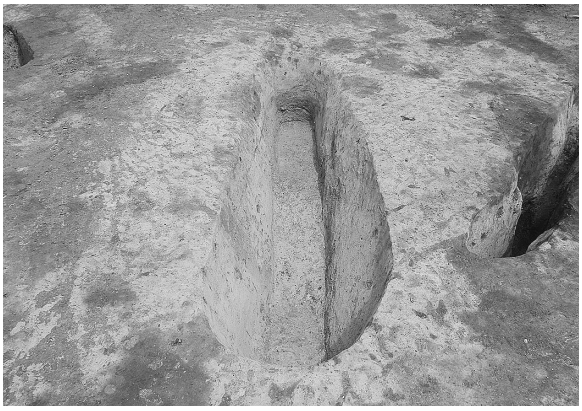
９号陥し穴状遺構　逆茂木痕検出（南から）

写真図版７　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（３）

10号陥し穴状遺構　断面（南から）

10号陥し穴状遺構　完掘（南から）

11号陥し穴状遺構　断面（南から）



11号陥し穴状遺構　完掘（南から）

12号陥し穴状遺構　断面（南から）

12号陥し穴状遺構　完掘（南から）

13号陥し穴状遺構　断面（南西から）

13号陥し穴状遺構　完掘（南西から）

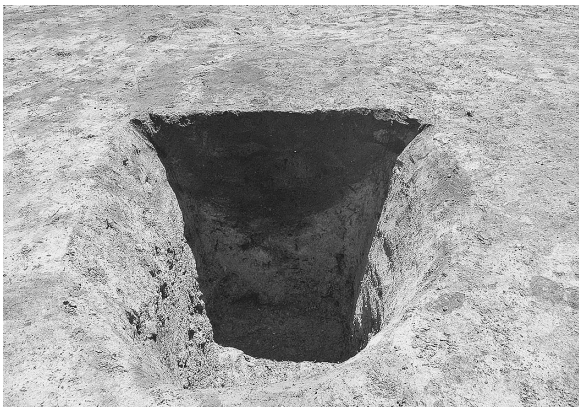
写真図版８　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（４）

14号陥し穴状遺構　断面（南から）

14号陥し穴状遺構　完掘（南から）

15号陥し穴状遺構　断面（南から）

15号陥し穴状遺構　完掘（南から）



16号陥し穴状遺構　断面（南から）

16号陥し穴状遺構　完掘（南から）

17号陥し穴状遺構　断面（南東から）

17号陥し穴状遺構　完掘（北西から）

写真図版９　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（５）

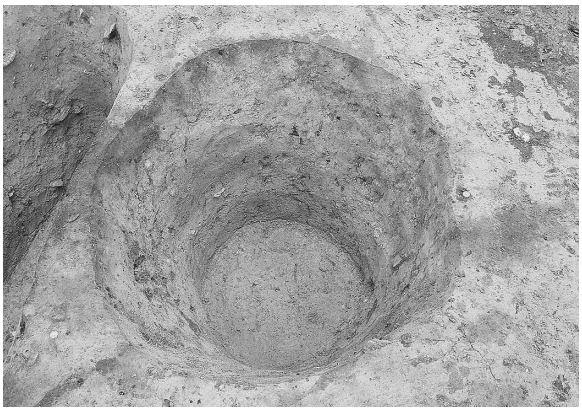
18号陥し穴状遺構　断面（北東から）

18号陥し穴状遺構　完掘（南西から）

19号陥し穴状遺構　断面（南から）

19号陥し穴状遺構　完掘（南から）

20号陥し穴状遺構　断面（南から）

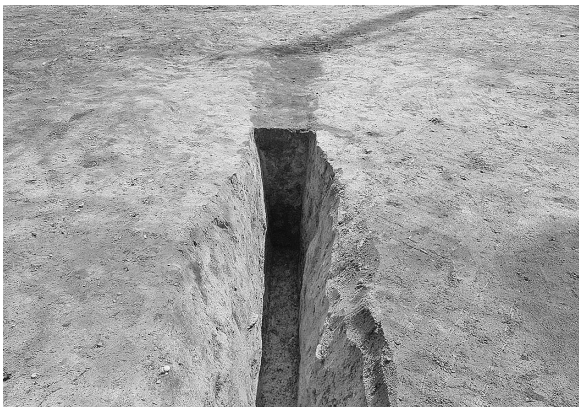


20号陥し穴状遺構　完掘（南から）

21号陥し穴状遺構　断面（南から）

21号陥し穴状遺構　完掘（南から）

写真図版10　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（6）


22号陥し穴状遺構　断面（南西から）

22号陥し穴状遺構　完掘（北から）

23号陥し穴状遺構　断面（南から）

23号陥し穴状遺構　完掘（南から）

24号陥し穴状遺構　断面（北から）

24号陥し穴状遺構　完掘（南から）

25号陥し穴状遺構　断面（南から）

25号陥し穴状遺構　完掘（南から）

写真図版11　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（７）

26号陥し穴状遺構　断面（南から）

26号陥し穴状遺構　完掘（南から）

27号陥し穴状遺構　断面（北から）

27号陥し穴状遺構　完掘（北から）

28号陥し穴状遺構　断面（南から）

28号陥し穴状遺構　完掘（北から）

29号陥し穴状遺構　断面（南西から）

29号陥し穴状遺構　完掘（南から）

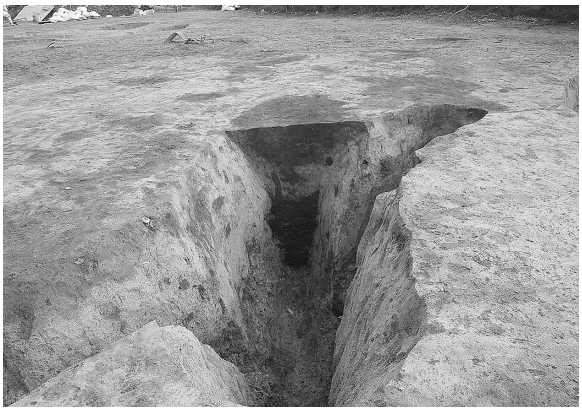
写真図版12　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（8）

30号陥し穴状遺構　断面（南から）

30号陥し穴状遺構　完掘（南東から）

31・34号陥し穴状遺構　断面（南東から）

31・34号陥し穴状遺構　完掘（南から）



32号陥し穴状遺構　断面（北から）

32号陥し穴状遺構　完掘（北から）

33・35号陥し穴状遺構　断面（北西から）

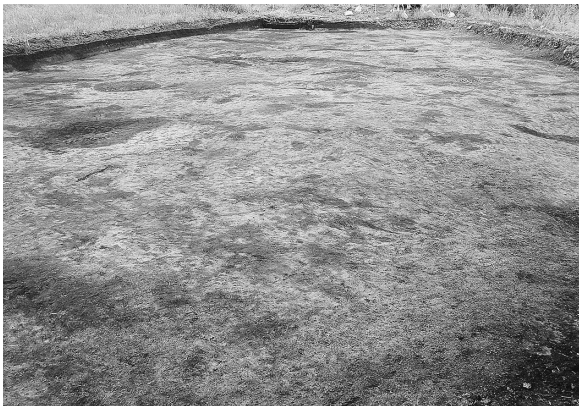
33・35号陥し穴状遺構　完掘（北から）

写真図版13　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（９）

二次調査区　遠景　（北から）

作業風景　（東から）

遺構検出状況（東から）

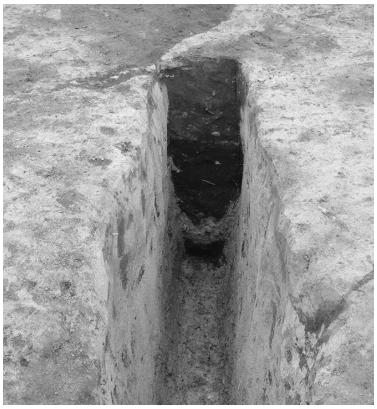


遺構検出状況（西から）

201号陥し穴状遺構　断面（南から）

201号陥し穴状遺構　完掘（東から）

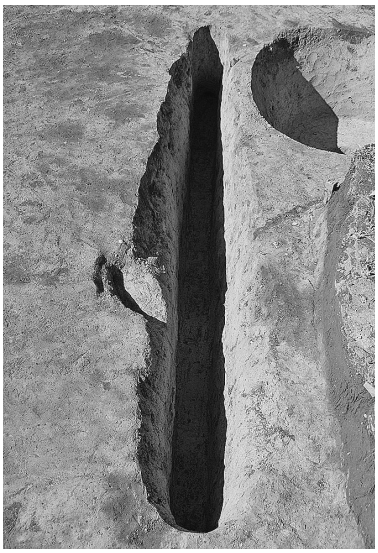
202号陥し穴状遺構　断面（南から）

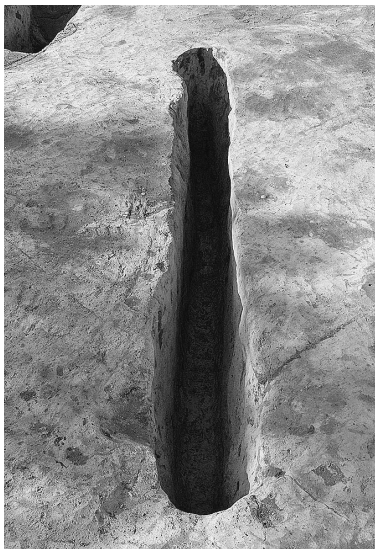


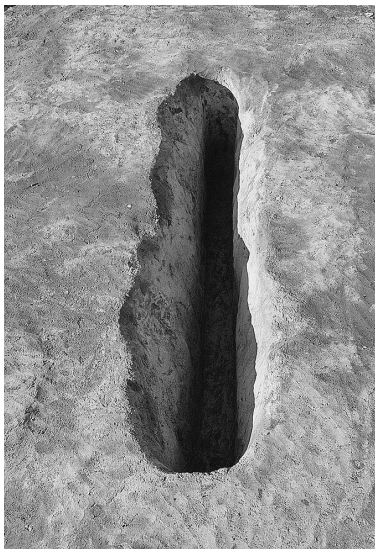
203号陥し穴状遺構　断面（南から）

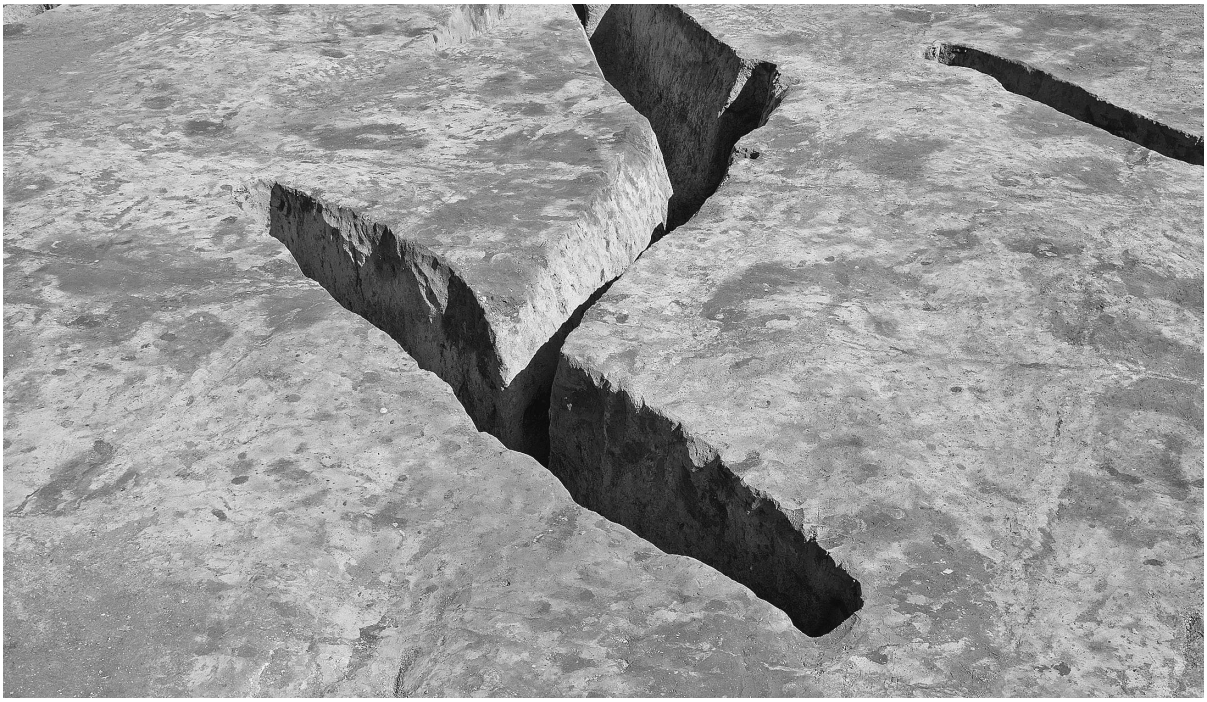
204号陥し穴状遺構　断面（南から）

写真図版14　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（10）


202号陥し穴状遺構　完掘（南から）


203号陥し穴状遺構　完掘（南から）


204号陥し穴状遺構　完掘（南から）


206・207号陥し穴状遺構　完掘（南から）

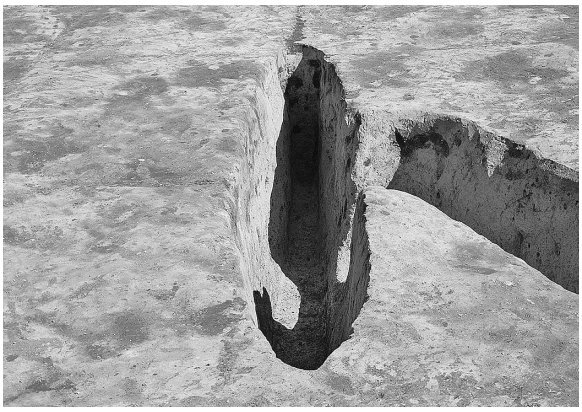
205号陥し穴状遺構　断面（南から）

206号陥し穴状遺構　断面（南から）

207号陥し穴状遺構　断面（南から）

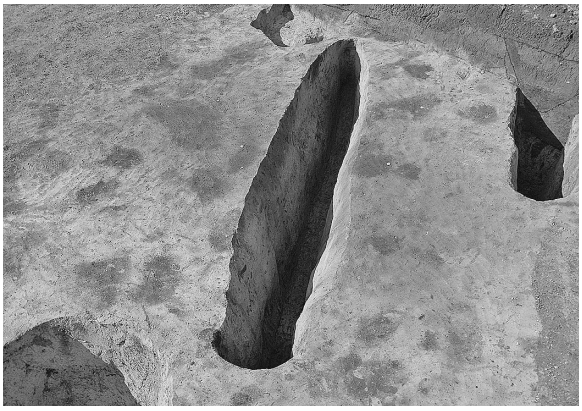
写真図版15　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（11）

206号陥し穴状遺構　完掘（南から）



207号陥し穴状遺構　完掘（南西から）

208号陥し穴状遺構　断面（南から）



208号陥し穴状遺構　完掘（南から）

209号陥し穴状遺構　断面（南から）

209号陥し穴状遺構　完掘（南から）

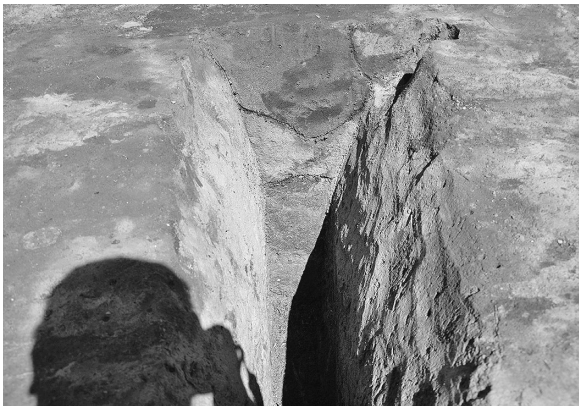
210号陥し穴状遺構　断面（南から）

210号陥し穴状遺構　完掘（南から）

写真図版16　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（12）

211号陥し穴状遺構　断面（南から）

211号陥し穴状遺構　完掘（南から）



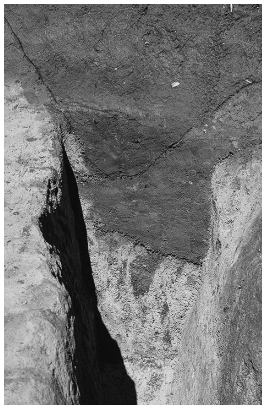
212号陥し穴状遺構　断面（南から）

213号陥し穴状遺構　断面（南から）

212・213号陥し穴状遺構　完掘（南から）

214号陥し穴状遺構　完掘（南から）

215号陥し穴状遺構　完掘（南から）



214号陥し穴状遺構断面（南から）

215号陥し穴状遺構断面（南から）

写真図版17　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（13）

216号陥し穴状遺構　断面（東から）

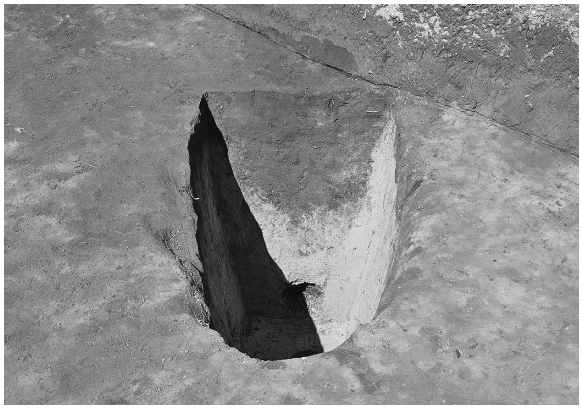
216号陥し穴状遺構　完掘（南から）

217号陥し穴状遺構　断面（南から）

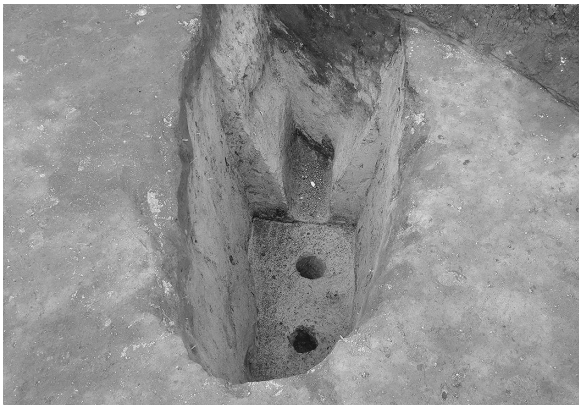
217号陥し穴状遺構　完掘（南から）

218号陥し穴状遺構　断面（南から）

218号陥し穴状遺構　完掘（南から）

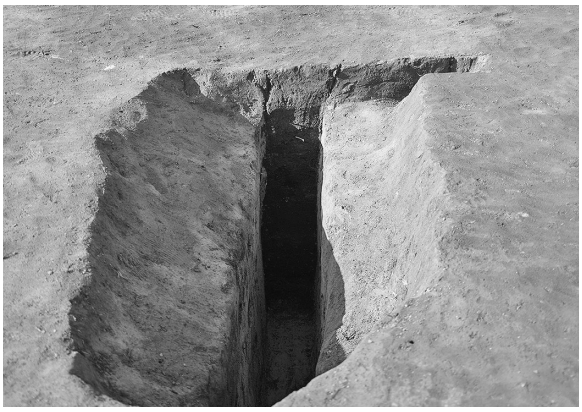


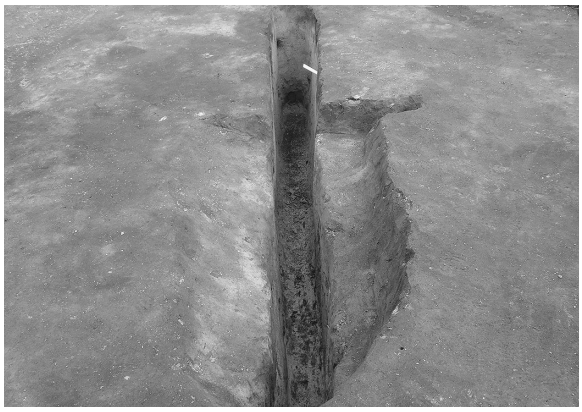
219号陥し穴状遺構　断面（東から）



219号陥し穴状遺構　完掘（東から）

写真図版18　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（14）

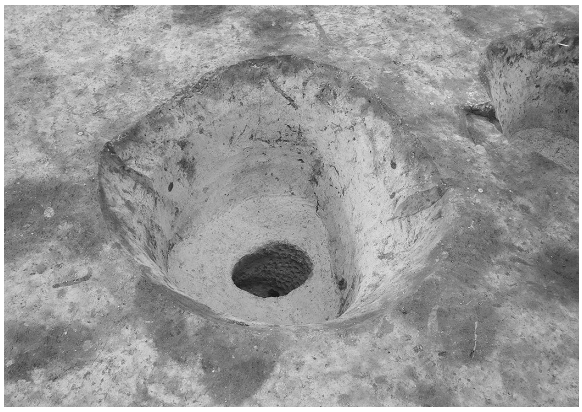

220号陥し穴状遺構　断面（南から）


220号陥し穴状遺構　完掘（南から）

221号陥し穴状遺構　断面（南から）

221号陥し穴状遺構　完掘（南から）

222号陥し穴状遺構　断面（南から）


222号陥し穴状遺構　完掘（南から）

223号陥し穴状遺構　断面（南から）

223号陥し穴状遺構　完掘（南から）

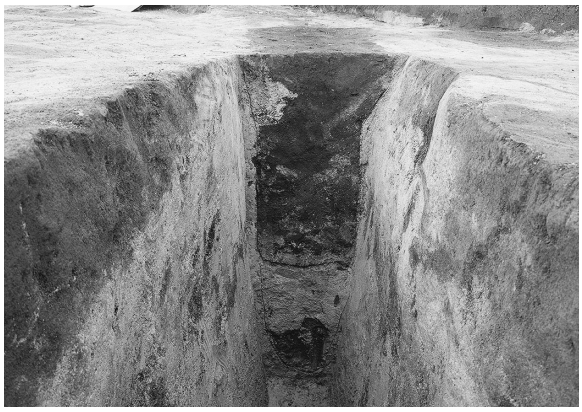
写真図版19　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（15）

224号陥し穴状遺構　断面（南から）

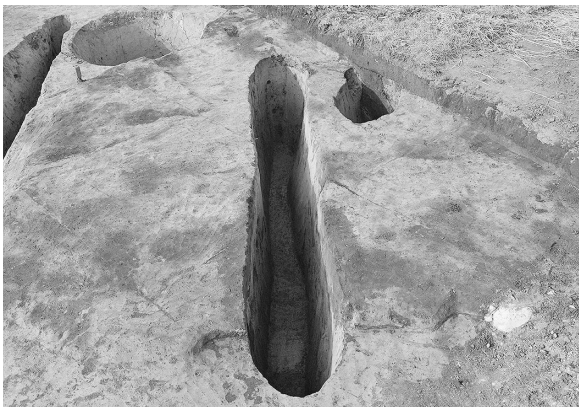
224号陥し穴状遺構　完掘（南から）

225号陥し穴状遺構　断面（南から）

225号陥し穴状遺構　完掘（南から）



226号陥し穴状遺構　断面（南から）



226号陥し穴状遺構　完掘（南から）

227号陥し穴状遺構　断面（南から）

227号陥し穴状遺構　完掘（南から）

写真図版20　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（16）

228号陥し穴状遺構　断面（南から）

228号陥し穴状遺構　完掘（北から）

301号陥し穴状遺構　断面（西から）

301号陥し穴状遺構　完掘（北から）

302号陥し穴状遺構　断面（西から）

302号陥し穴状遺構　完掘（北から）

303号陥し穴状遺構　断面（西から）

303号陥し穴状遺構　完掘（北から）

写真図版21　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（17）

調査区南端遺構検出状況（南から）

調査状況（南から）

調査状況（南西から）

調査後の状況（道路西側）

写真図版22　赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（18）

8

写真図版23　赤川Ⅱ遺跡出土遺物

５　経営体育成基盤整備事業六原地区

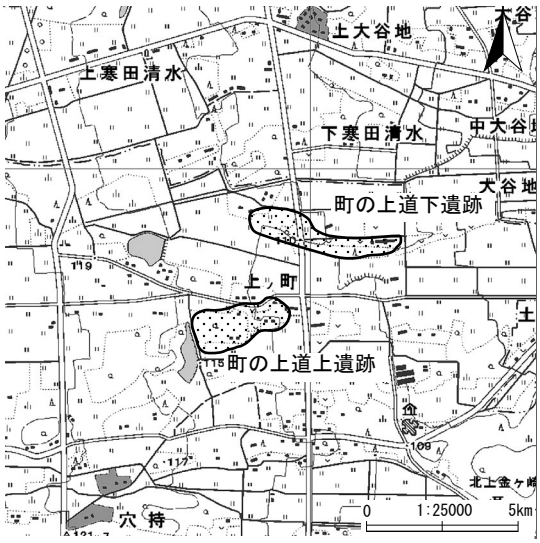
町の内道下遺跡（ME75－2064）

町の内道上遺跡（ME85－0011）（本文のみ掲載）

所 在 地：金ケ崎町六原町の内道の下

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成25年10月21日(月)～10月23日(水)



第35図　町の道下・上遺跡位置

町の内道下遺跡は金ケ崎町役場の北西約7.1㎞、県道288号（北上水沢線）西側の住宅地に隣接する水田面に立地している。付近は北上市との行政界に程近く、東へと徐々に標高を下げた水田が連なる田園地帯であるが、遺跡付近は微高地状の宅地とその周辺の標高高い水田・畑地である。昨年度実施した六原地区ほ場整備事業に係る試掘調査において、工事予定地内で柱穴・土坑等の遺構が検出され、土師器が出土したため、今回の発掘調査を実施したものである。調査は工事により掘削される、田区352北・西辺、田区353北西辺に沿う水路工事予定地を対象とした。

基本層序は次のとおりである。Ⅰａ層：暗褐色土（層厚15～20㎝。水田耕作土)。Ⅰｂ層：暗褐色土と黄褐色土の混土(層厚10㎝。水田床土)。Ⅰｃ層：砕石・盛土(層厚10㎝。現道部分(試掘Ｔ１)。Ⅱ層：黒褐色(層厚30～40㎝。現道部分(試掘Ｔ１))。Ⅲ層：褐色土(層厚10～20㎝。地山)。Ⅳ層：黄褐色粘質土（層厚不明。地山)。

掘削の結果、田区352の西側隣接部分で柱穴約70個、土坑５基、溝跡２条を検出した。柱穴は径30～50㎝で、開口部の平面形は円形を基調としている。その配列から、掘立柱建物跡１棟が想定された。想定される建物は、梁行３間×桁行６間の身舎に庇が付く南北棟で、東西側には６間の庇が付く。南北側は攪乱もあって明らかではないが、南側２間の庇が付いていると推測される。柱穴の断ち割りを試みたが、前週の降雨の影響で湧水し、底面までの掘削が適わなかったため、柱穴の深さは確認できなかった。柱穴の埋土には土器細片（土師器か）や焼土粒・炭化物が混入している。柱穴付近での出土遺物はなかったが、試掘調査では周辺で土師器片が出土している。当建物は、時期特定が難しいが、古代～中世の四面庇建物と推測される。

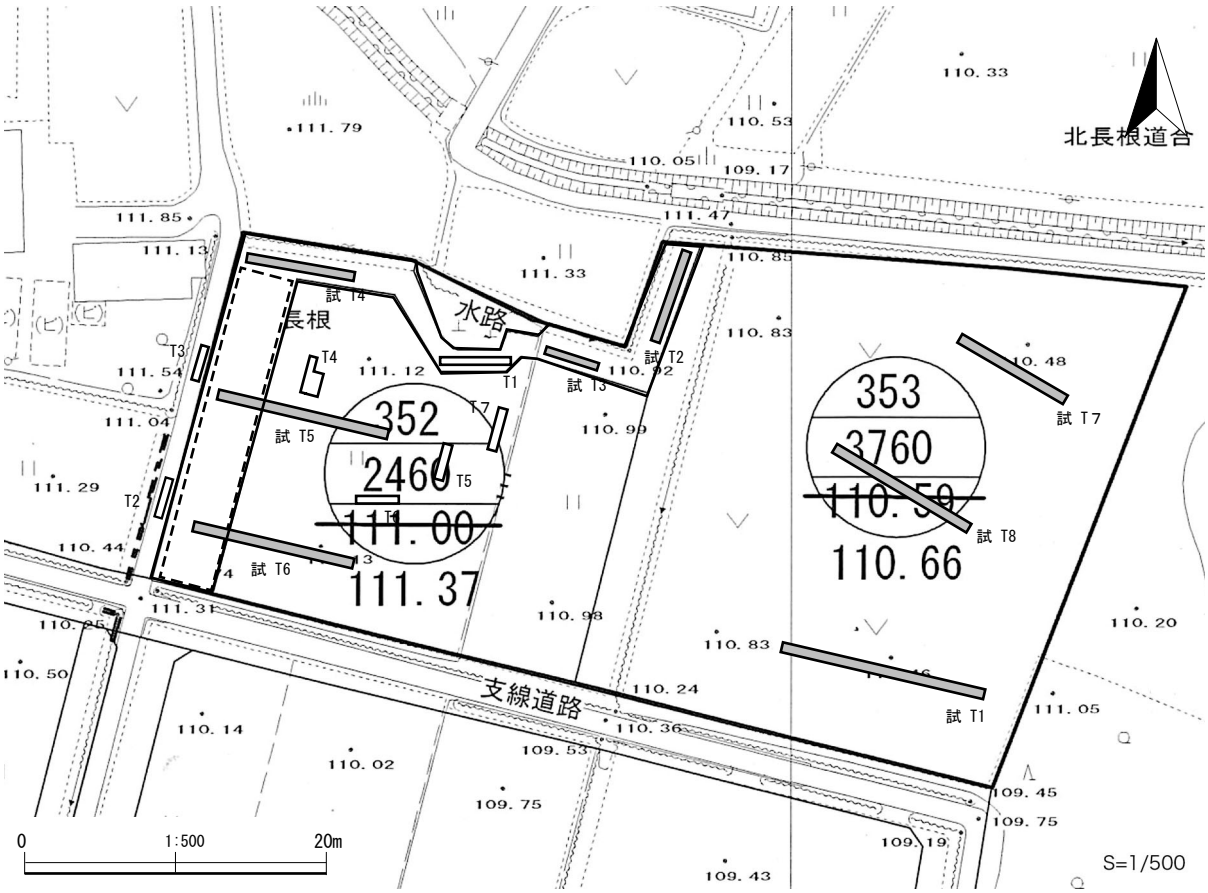
また、北側で検出された溝跡は東西方向に調査区を横断しており、溝以北には遺構が殆どない状況であった。この溝が建物を中心とする領域を区切る区画溝だった可能性がある。溝の伸長方向を確認するため、調査区外の田面に試掘トレンチを設定した結果、溝は直線的に東側へと延びていることが確認された。

昨年の試掘調査では、田区352に設定したＴ５・６では多数の遺構が検出されているが、今回調査の結果、調査区の北側では遺構は全く検出されなかった。上述の溝を境として溝以南に遺構が集中しているものと思われる。当遺跡の所在する金ケ崎町には、11世紀に奥六郡に勢力を誇った安倍氏の拠点「鳥海柵」が置かれており、四面庇建物であればそれに関連する可能性もある。建物はその規模から主要建物ではないと思われるが、調査区外の田面により規模の大きな建物が存在している可能性もあると思われる。以上から、調査区西側については重要遺構の可能性があると判断したため、検出のみに止めて精査を行わず、盛土により保護層を確保し現状保存を行った。

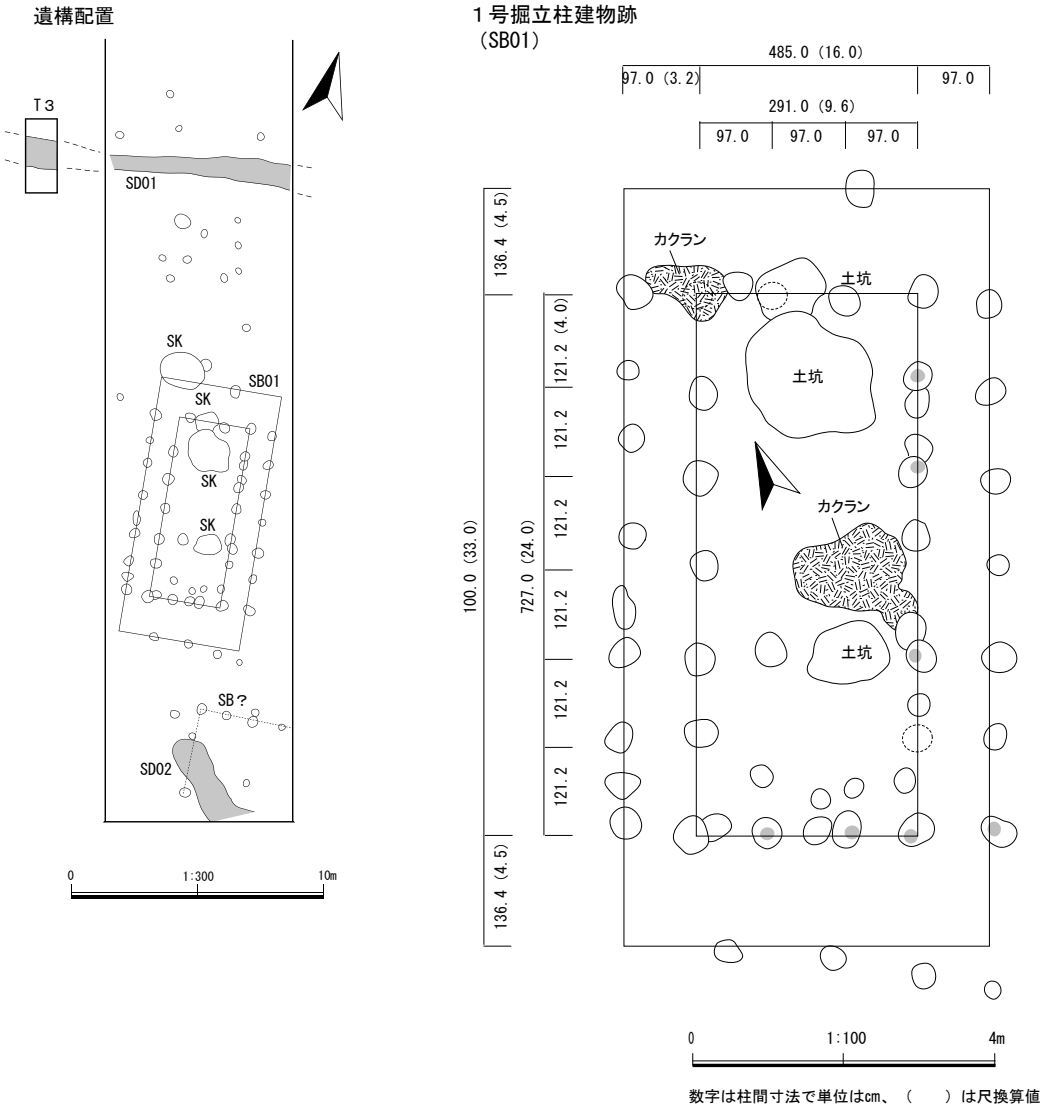
町の内道上遺跡は金ケ崎町役場の北西7.2㎞、検断谷地堤の東側に隣接する田面に立地している。遺跡の南側には堤から流れる用水路が東西に走っており、水路周辺は低湿地状を呈している。

今回の調査は六原地区ほ場整備事業に係るもので、田区289の南を除く３辺に沿う水路・道路工事予定範囲を対象とした。昨年度実施した試掘調査において、田区東側のＴ36で土坑１基（古代か）が検出されているが、試掘Ｔ36部分は今回調査区には含まれていない。

土坑検出箇所の東側に隣接する部分については全面の表土掘削を行ったところ、30㎝程度の表土下で砂礫層が確認され、遺構・遺物ともに検出されなかった。また、調査区の北・西部分については、断続的にトレンチを設定して遺構・遺物の有無を確認したが、全く検出されなかった。以上から、調査区外には遺構が存在しているものの、今回の調査区内には遺構・遺物はないと判断した。



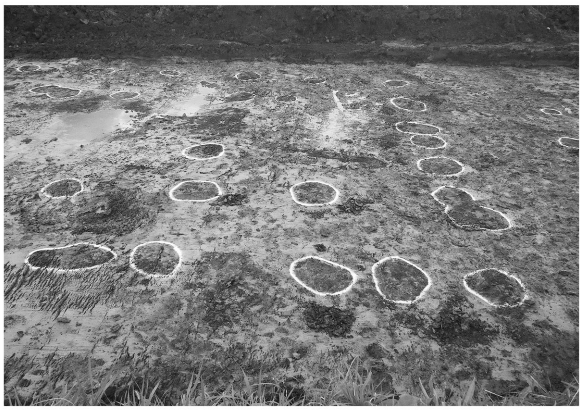
第36図　町の道下遺跡調査位置



第37図　町の道下遺跡遺構配置・検出遺構

１号掘立柱建物跡　検出状況（南西から）

１号掘立柱建物跡　検出状況（北西から）



１号掘立柱建物跡（南側）　検出状況（西から）

２号溝跡　検出状況（南西から）

Ｔ３　溝跡　検出状況（南西から）

試掘Ｔ２　柱穴　検出状況（北東から）

写真図版24　町の道下遺跡検出遺構・調査状況

６　経営体育成基盤整備事業和賀中部第四地区

伍大坂Ⅱ遺跡（ME64－2318）

所 在 地：北上市和賀町岩崎11・12地割

六軒遺跡（ME65－2055）

所 在 地：北上市上鬼柳２・３地割

事 業 者：県南広域振興局農政部北上農村整備センター

調査期日：平成25年11月18日(月)～11月22日(金)

第38図　伍大坂Ⅱ遺跡・六軒遺跡位置

伍大坂Ⅱ遺跡は北上市役所の西約4.7㎞、和賀川の右岸低位段丘面に立地している。遺跡の南側には伍大坂Ⅰ遺跡及び欠ノ下台地遺跡が隣接し、南西側の段丘面には高田坂遺跡・久田Ⅱ遺跡が所在しており、岩崎地区に所在するそれらの遺跡は「岩崎台地遺跡群」と総称されている。今回の調査は和賀中部第四地区のほ場整備事業に係るもので、平成24年度の試掘調査において工事予定地内で「土坑」が検出されたため、当該箇所を対象として実施した緊急発掘調査である。調査箇所は、岩崎台地北東段丘縁を走る農道の南西側路肩部分である。調査箇所は欠ノ下台地遺跡との境界付近に位置し、厳密には調査区南側が欠ノ下台地遺跡分、北側が伍大坂Ⅱ遺跡分となるが、ここでは便宜的に伍大坂Ⅱ遺跡として一括する。なお、調査の都合上、遺構検出は給水管埋設路線より広い幅1.5ｍの範囲で行った。

基本層序は次のとおりである。Ⅰ層：盛土（層厚110～120㎝。砕石、道路盛土）。Ⅱ層：暗褐色土（層厚5～10㎝。漸移層。遺構検出面）。Ⅲ層：黄褐色粘質土（層厚不明）。

遺構精査は、竪穴住居跡は全体、溝跡については工事範囲のみに止めた。調査地が現道であるため、現路面から１～1.2ｍは盛土されており、一部にⅡ層が残るものの全体に旧表土層は失われており、盛土直下がⅢ層という状況であった。それでも周囲の水田面よりも地山面は高くなっており、水田部分はより著しく削平されていると思われる。そういう意味においては、今回調査地は未だ「残りが良い」状態であるといえる。

調査区北側で竪穴住居跡１棟、中央部から南側で溝跡８条が検出された。竪穴住居跡は、南東・北西のそれぞれの壁の立ち上がりを確認したもので、全形は不明である。南西側に試掘調査時のトレンチがⅢ層を掘り込む形で入っており、トレンチにより南壁及び床面の一部が失われている。検出した壁から推定すると一辺3.6ｍの方形を呈すると推測される。壁はⅡ層から掘り込まれており、壁高15～20㎝である。床面はⅢ層に相当し、南側が硬く締まっている。試掘時の「土坑」を再確認したが、住居跡との位置関係から住居に付属するものと解釈した。なお、住居に付随するその他の施設（カマドや柱穴等）は検出されなかった。遺物は土師器小片１点が出土したのみである。時期特定の根拠に乏しいが、その形態から古代の住居跡と推測される。溝跡は調査区全体で８条検出されている。溝の幅・深さにはバラつきがあるものの、１号溝（東－西）を除けば溝の方向はほぼ北東－南西である。遺物は全く出土しなかったため、これらの溝の時期・性格は特定できなかった。

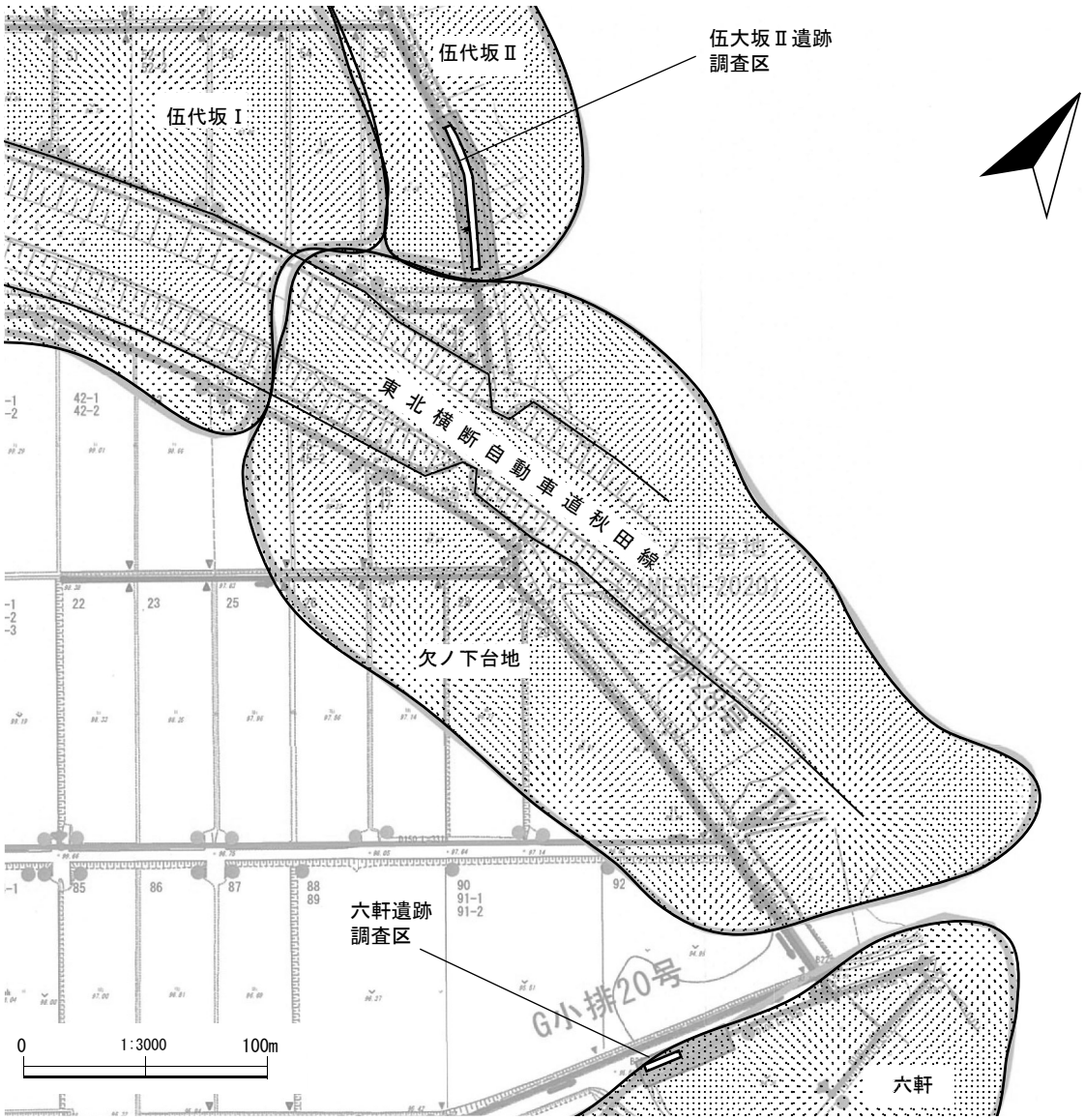
調査の結果、今回調査地は削平されているものの、古代の集落跡の一部であることを確認した。

六軒遺跡は北上市役所の西南西約4.1㎞、和賀川の右岸中位段丘（村崎野段丘）から低位段丘面にかけて立地している。当遺跡はもともと上鬼柳Ⅰ～Ⅳの４遺跡に分かれていたが、それらが統合されて改称したものである。遺跡の東から北西にかけての段丘縁辺部を東北横断自動車道秋田線が横断し

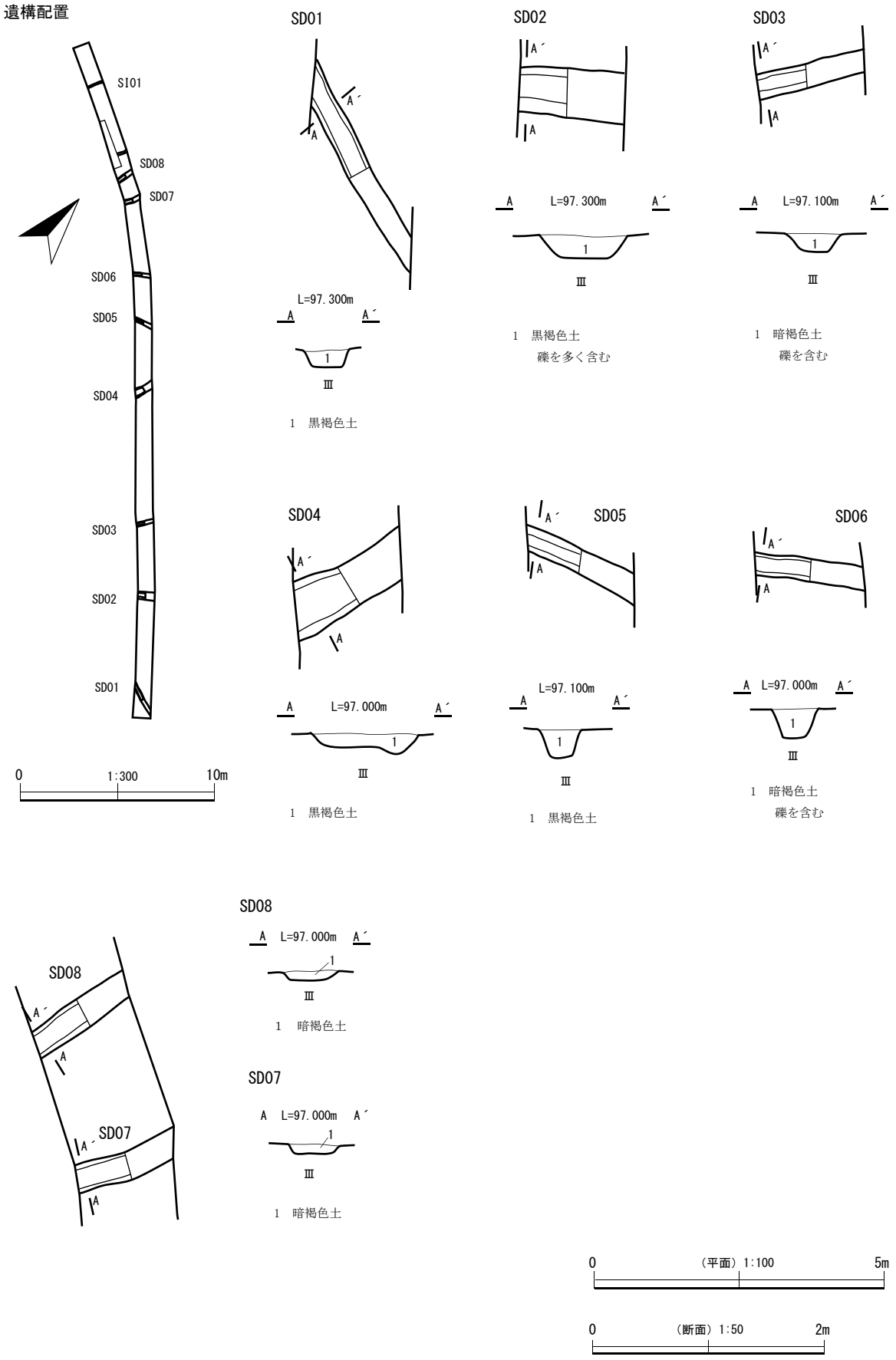
ている。今回の調査は和賀中部第四地区のほ場整備事業に係るもので、平成24年度の試掘調査において工事予定地内で遺構が検出されたため、当該箇所を対象として実施した緊急発掘調査である。調査箇所は北上市清掃事業所入り口付近の市道東脇路肩部分で、遺跡範囲の西側縁辺付近にあたる（調査地点は厳密には登録されている遺跡範囲の隣接地であるが、今回調査結果から遺跡範囲が現道際まで広がるものと考えられる）。東北横断自動車道秋田線の建設に伴って発掘調査が行われた旧・上鬼柳Ⅰ遺跡では、調査の結果、弥生時代の住居跡や遺物が検出されている。今回調査箇所は上鬼柳Ⅰ遺跡の調査地の南西約200mに位置している。

基本層序は次のとおりである。Ⅰａ層：黒褐色土（層厚5～10㎝。表土）。Ⅰｂ層：盛土（層厚45～70㎝。道路盛土。現道側のみ）。Ⅱ層：暗褐色土（層厚10～20㎝）。Ⅲ層：黒褐色土（層厚5～10㎝）。Ⅳ層：暗褐色粘質土（層厚5～15㎝。漸移層。遺構検出面）。Ⅴ層：明黄褐色粘土（層厚不明。地山）。

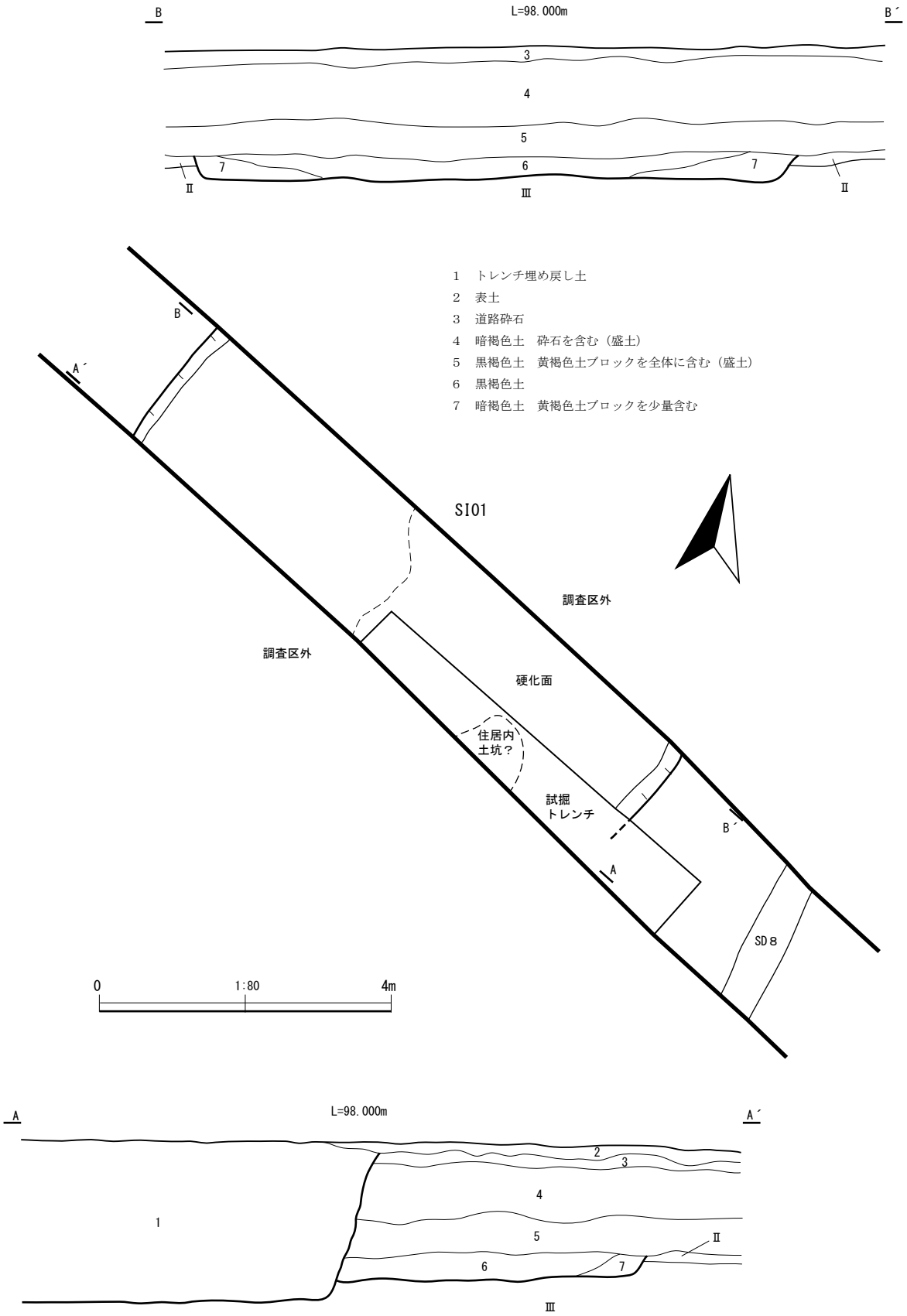
調査の結果、調査区南西側のⅣ層面で土坑１基を検出した。この土坑は南半部分が試掘調査時のトレンチにより消失しており、試掘で検出された「焼土」にあたるものと推測される。壁ははっきりせず、底面から緩く立ち上がる浅皿状となっている。残りが悪く判然としないが、略円形平面を呈する



第39図　伍大坂Ⅱ遺跡・六軒遺跡調査位置



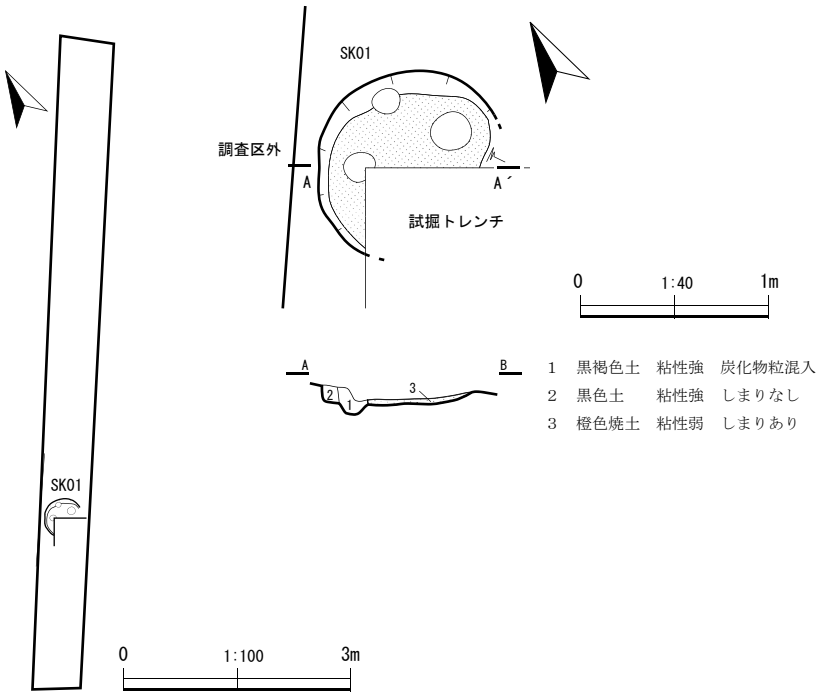
第40図　伍大坂Ⅱ遺跡遺構配置・検出遺構（1）



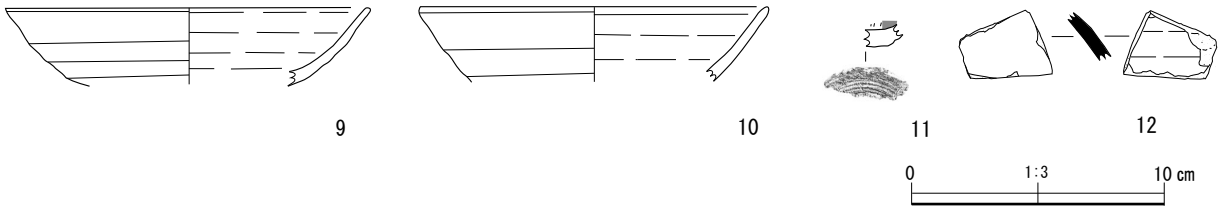
第41図　伍大坂Ⅱ遺跡遺構配置・検出遺構（2）

と思われる。底面は被熱して焼土化している（厚さ約２～３㎝）。試掘調査の影響で埋土は僅かしか残っていないが、確認した埋土は固結した焼土塊及び土師器小破片を含んだ黒褐色土である。焼土塊は上から崩落したものと思われ、土坑の上部が土で覆われていた可能性がある。この土坑の性格は不明であるが、出土遺物から古代（平安時代）に属すると推測される。

土坑以外の遺構は検出されなかった。また遺物は、土坑埋土から出土したもの以外は、調査区中央付近の水路跡状の凹地から出土した土師器小破片１点のみである。



第42図　六軒遺跡遺構配置・検出遺構



第43図　六軒遺跡出土遺物

第５表　六軒遺跡出土遺物観察表

遺跡名	掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm) 口径 縦	器高 横	底部径 厚さ	重量	特徴
六軒	9	土坑	埋土	土師器	坏	口縁	―	―	―	―	内外面ロクロナデ
六軒	10	土坑	埋土	土師器	坏	口縁	―	―	―	―	内外面ロクロナデ
六軒	11	土坑	埋土	土師器	坏	底部	―	―	―	―	底部回転糸切り、内面黒色処理
六軒	12	発掘区		須恵器	壺？	体部	―	―	―	―	外面ミガキ、内面ナデ

伍大坂Ⅱ遺跡　調査区全景（南東から）

伍大坂Ⅱ遺跡　１号竪穴住居跡　完掘（東から）

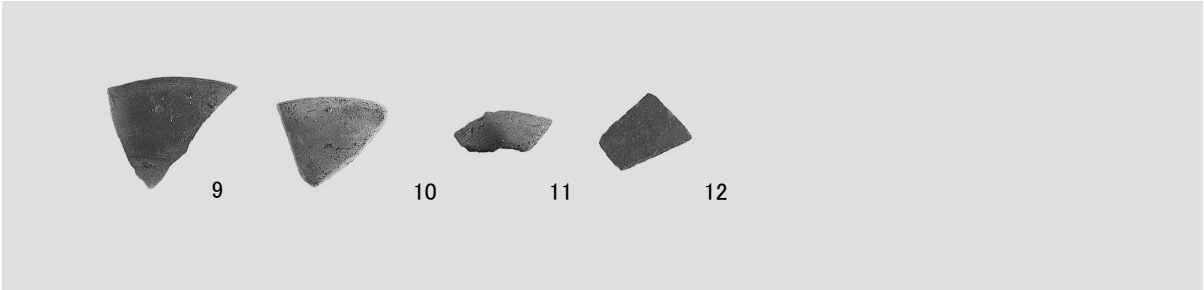
伍大坂Ⅱ遺跡　１号竪穴住居跡内土坑　完掘（北東から）

伍大坂Ⅱ遺跡　１号溝跡　完掘（東から）

六軒遺跡　調査区全景（南西から）

六軒遺跡　１号土坑　完掘（南から）

写真図版25　伍大坂Ⅱ遺跡・六軒遺跡検出遺構・調査状況



写真図版26　六軒遺跡出土遺物

7　経営体育成基盤整備事業和賀中部岩崎地区

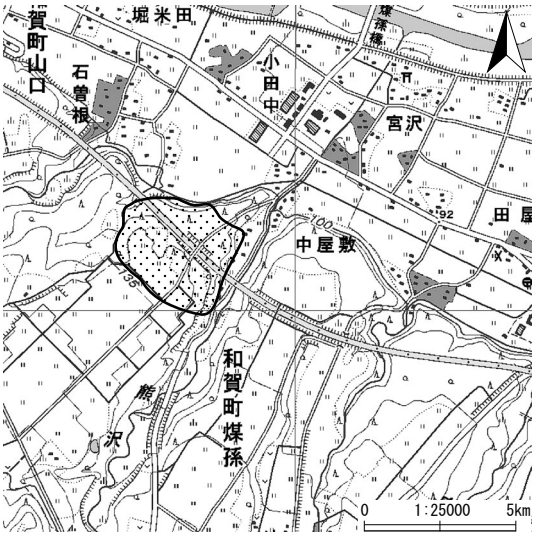
本郷野遺跡（ME63－1252）

所 在 地：北上市煤孫２地割地内

事 業 者：県南広域振興局農政部北上農村整備センター

調査期日：平成25年11月 7日（木）～11月8日（金）

本郷野遺跡は、北上市役所から西へ10.2㎞、北上市煤孫２地割地内に位置する。今回の調査は和賀中部岩崎地区の圃場整備に伴う計画排水路の工事に係るものである。調査に先立つ試掘調査で、遺跡の範囲内、調査区範囲より半円形の土坑が検出されたため、調査を行った。周辺の地形は岩崎台地の砂礫段丘に区分されている。(『土地分類基本調査　北上』岩手県1975)

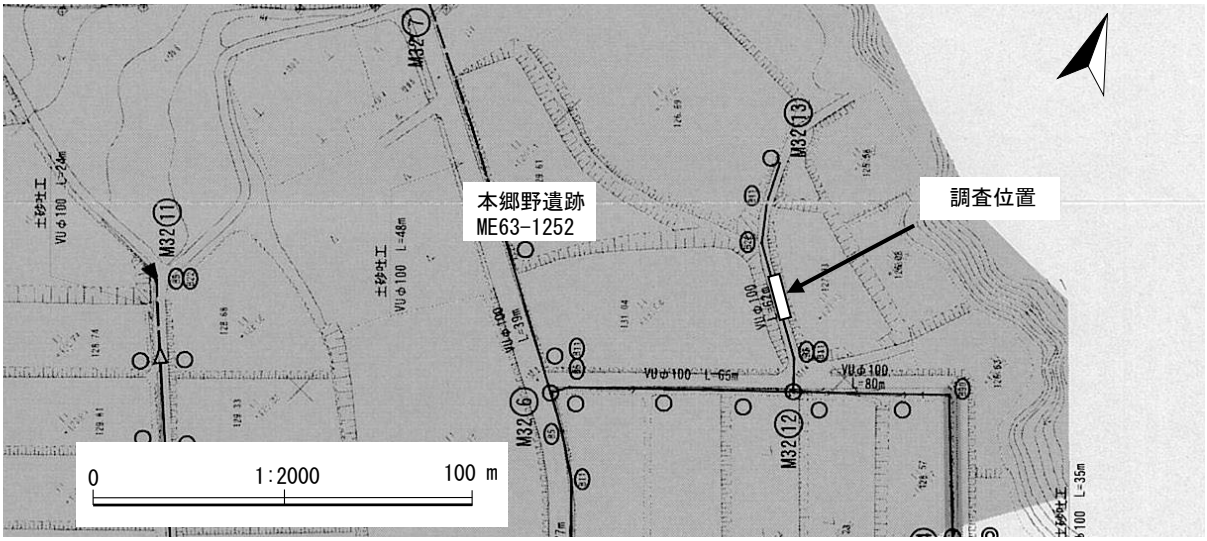


第44図　本郷野遺跡位置

調査地は、和賀川の右岸、秋田自動車道が遺跡内を横断する（岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第164集）南側に位置する。現況は、水田造成により改変されているが、調査区周辺は、現地形面が残る北東向き緩斜面となっている。調査地の基本層序は、Ⅰ層：表土・耕作土（層厚5 ～ 10㎝）、Ⅱ層：盛土・農道基盤層ほか（層厚0～100㎝）、Ⅲ層：黒色土（層厚0～50㎝・黒ボク土）、Ⅳ層：暗褐色土（0～5㎝・遺物包含層）、Ⅴ層：褐色土（30㎝～・地山・一部礫混じり層）である。

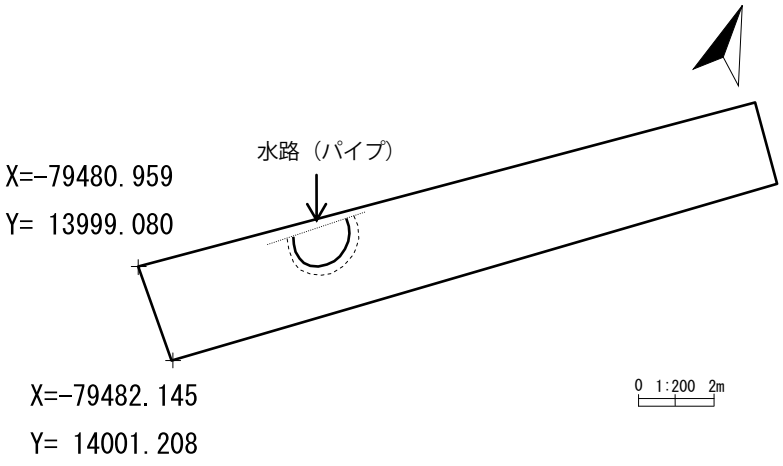
検出された遺構は土坑１基である。平面形は隅丸の方形状で、断面形は開口部から内傾するフラスコ状である。現存する計測値は、開口部径が長軸150㎝で、深さは最大で80㎝程である。底面形は楕円形で、最大径で200㎝を測る。平面形や断面形は、遺構上位が削平を受けていることを考慮に入れる必要があり、本来であれば、開口部は底部形と同様で円形と想定でき、遺構はフラスコ土坑であった可能性が高い。埋土は人為的堆積の暗褐色シルトと黄褐色粘土を主体とした混合土で、上位は炭化物や土器片が多く混入し、中位から一括土器が３個体出土した。下位は、硬く締まる混合土で土器の出土はない。最下層には粘りのある黒色シルトが帯状に堆積している。出土土器３個体は、つぶれた形で出土しており意図的に置かれた（埋設されていた）可能性もある。遺構の時期は、出土土器から縄文時代中期前葉（大木７b ～８a 式併行か）と考えられる。

平成１～２年に発掘調査された区域から南に離れた地点で、貯蔵穴であろうフラスコ土坑が検出さ

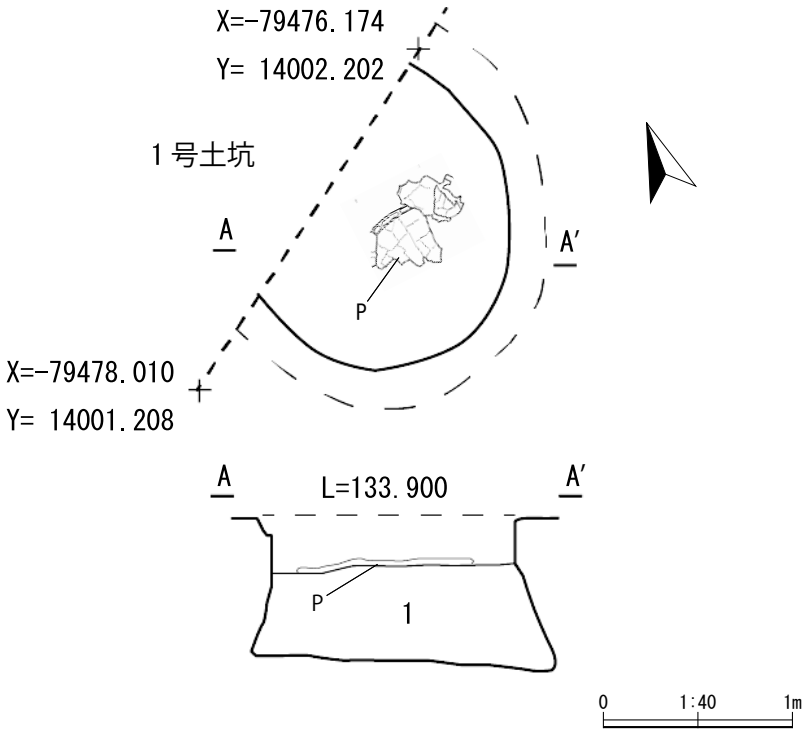


第45図　本郷野遺跡調査位置

れたことは、遺跡の性格を知る上で大きな意義がある。調査区の西側は現地形面が残存していると考えられ、集落の存在が想定される。

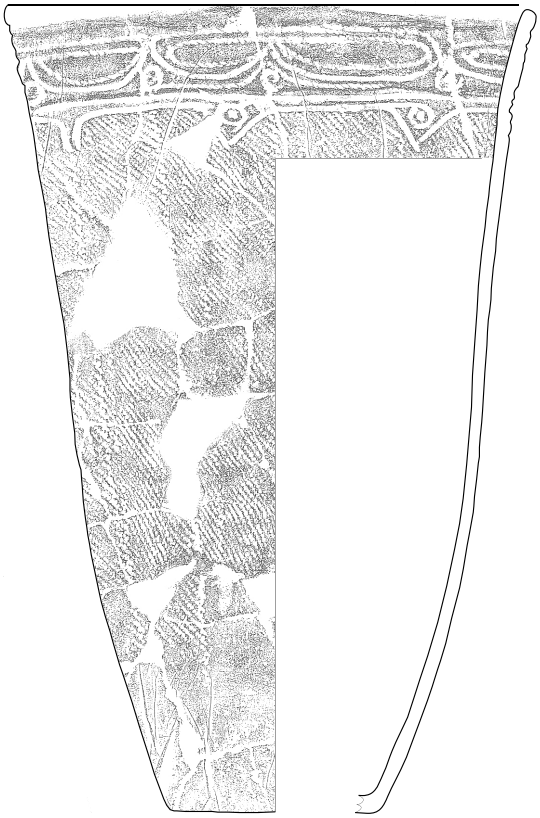


第46図　本郷野遺跡遺構配置

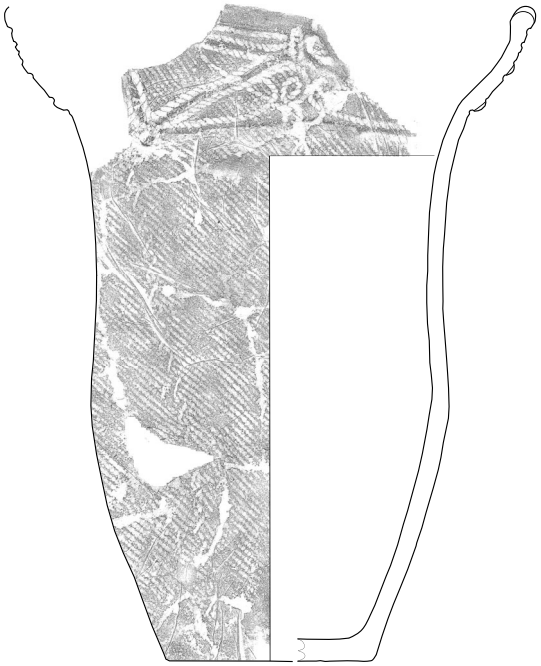


1　10YR 3/4 暗褐色　粘りあり　しまりあり　シルト
上位に 炭化粒・中位～下位に黄褐色粘土ブロック
最下位（底）に黒色土を含む

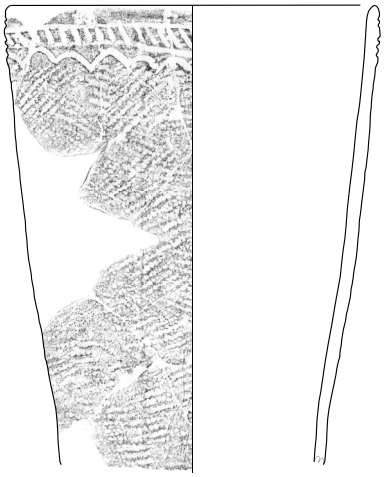
第47図　本郷野遺跡検出遺構



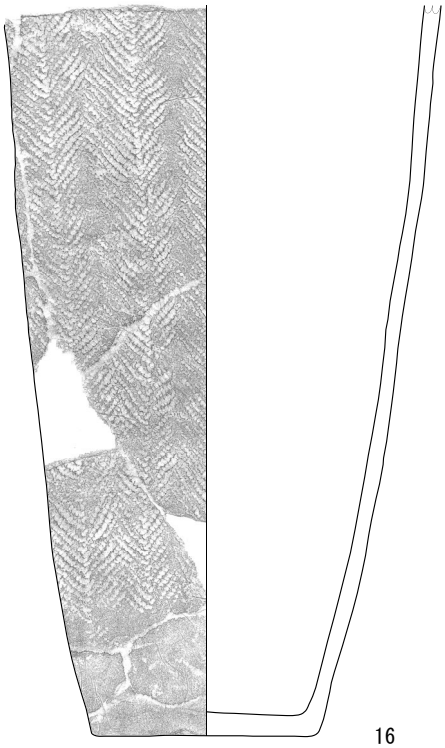
13



14



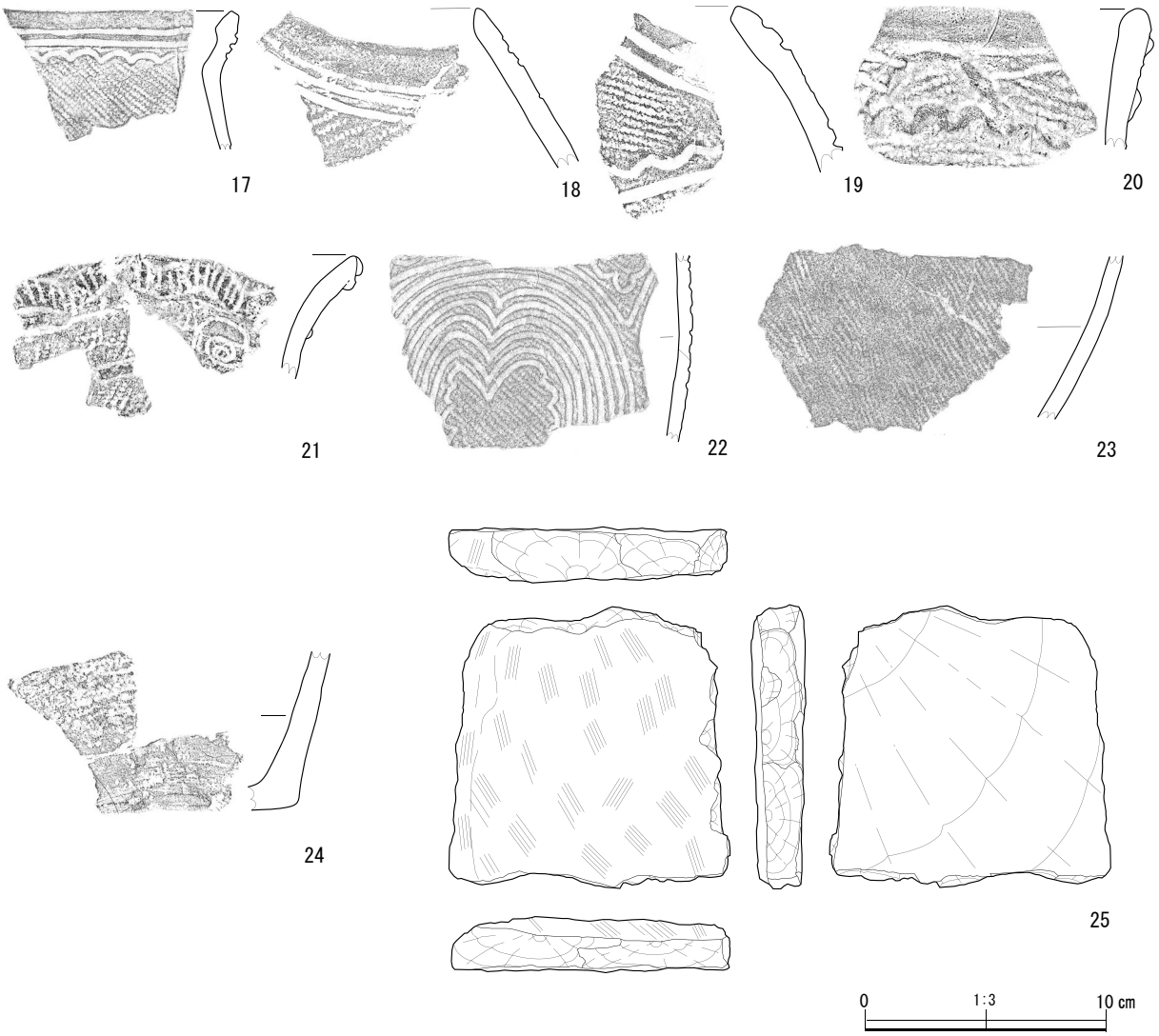
15



16

0　1:4　20 cm

第48図　本郷野遺跡出土遺物（1）



第49図　本郷野遺跡出土遺物（２）

第６表　本郷野遺跡出土遺物観察表

遺跡名	掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm) 口径 縦	器高 横	底部径 厚さ	重量	特徴
本郷野	13	SK01	埋土中位	土器	深鉢	口縁部～底部	28.3	43.2	9.2	—	沈線、側面圧痕文、LR 縦（結節縄文）、内面ミガキ
本郷野	14	SK01	埋土中～上位	土器	深鉢	口縁部～底部	(28.2)	35.0	(10.8)	—	貼付文、側面圧痕文、LR 縦（結節第２種）、内面ミガキ
本郷野	15	SK01	埋土中～上位	土器	深鉢	口縁部～胴部	(20.0)	(24.5)	—	—	沈線（横走、鋸歯状、短刻）、LR 横、内面ミガキ
本郷野	16	SK01	埋土中位	土器	深鉢	胴部～底部	—	(39.0)	12.0	—	LR・RL 縦（結節第１種羽状縄文）、内面ミガキ
本郷野	17	SK01	埋土	土器	壺	口縁部	—	—	—	—	沈線（横走、鋸歯状）、LR 縦、内面ミガキ
本郷野	18	SK01	埋土	土器	鉢？	口縁部	—	—	—	—	沈線、LR 横、内面ミガキ
本郷野	19	SK01	埋土上位	土器	鉢？	口縁部	—	—	—	—	沈線（横走、鋸歯状）、LR 横、内面ミガキ
本郷野	20	SK01	埋土中位	土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	蛇行貼付文、側面圧痕文、LR 斜、内面ミガキ
本郷野	21	SK01	埋土中～上位	土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	蛇行貼付文、側面圧痕文、RL 縦、内面ミガキ
本郷野	22	SK01	埋土	土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	弧状沈線、LR 縦、内面ミガキ
本郷野	23	SK01	埋土中～上位	土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	LR 縦、内面ナデ
本郷野	24	SK01	埋土中～上位	土器	深鉢	底部	—	—	—	—	RL 斜、底面ミガキ、内面ナデ
本郷野	25	SK01	埋土中位	石器	石皿？		10.0	4.9	2.5	93.8	全面磨り

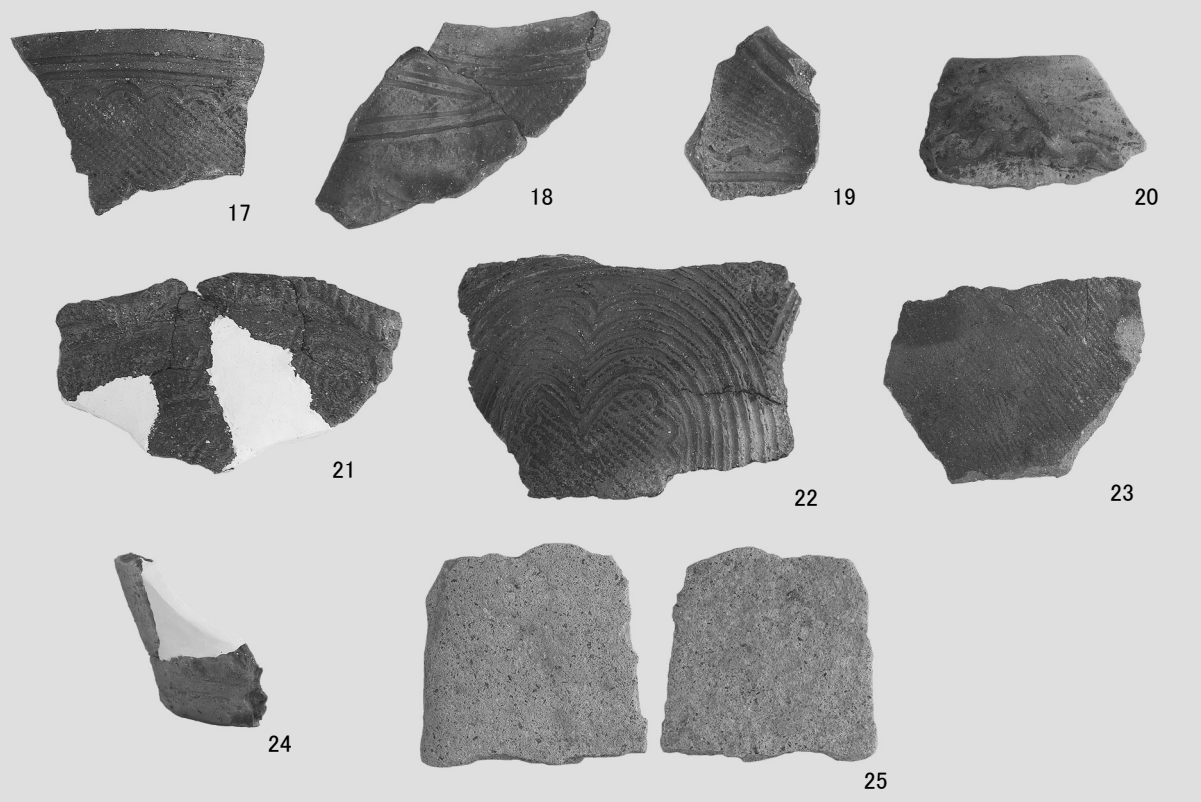
調査状況（西から）

１号土坑　断面（南から）

１号土坑　出土状況（南から）

１号土坑　完掘（南から）

写真図版27　本郷野遺跡検出遺構・調査状況



写真図版28　本郷野遺跡出土遺物（１）

13

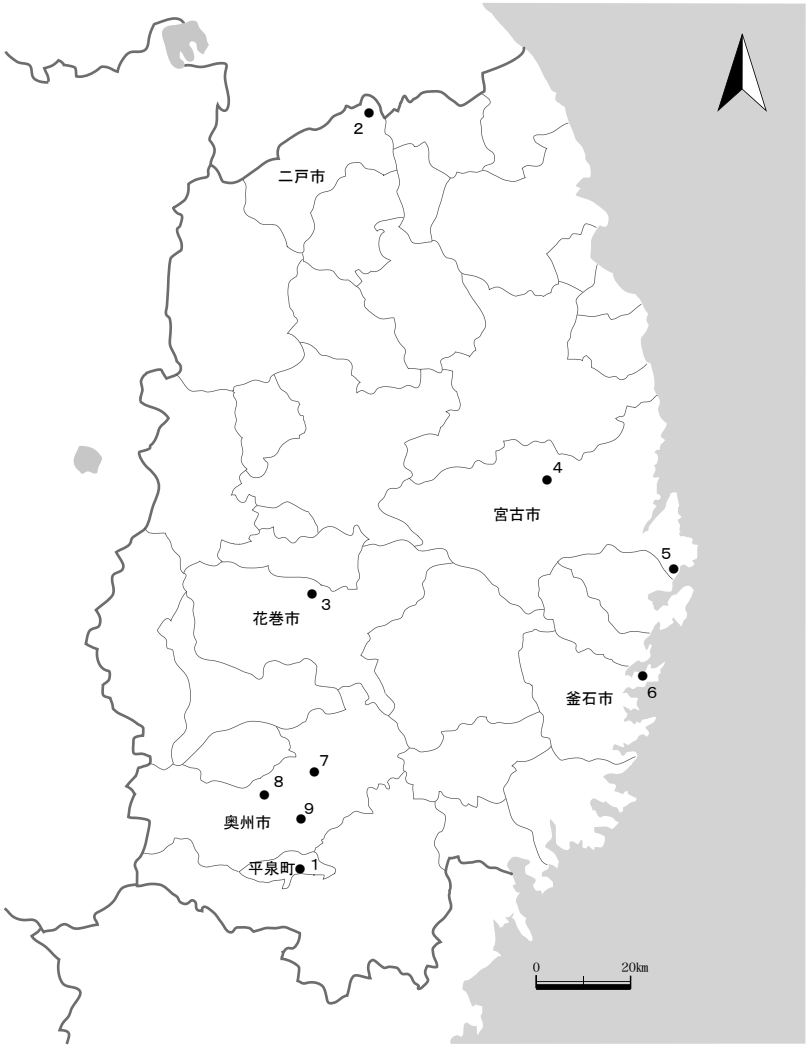
14

15

16

写真図版29　本郷野遺跡出土遺物（２）

Ⅱ　試掘調査



試掘調査
1　館岡Ⅱ遺跡・小島館遺跡（平泉町）
2　段ノ越遺跡（二戸市）
3　上野々遺跡（花巻市）
4　和井内西遺跡（宮古市）
5　千鶏Ⅳ遺跡（宮古市）
6　向山遺跡（釜石市）
7　大日前遺跡（奥州市）
8　小十文字遺跡・石行遺跡（奥州市）
9　中畑城遺跡（奥州市）

第50図　試掘調査位置

1　一関遊水地事業（第２管理用通路）

館岡Ⅱ遺跡（NE76－1279）

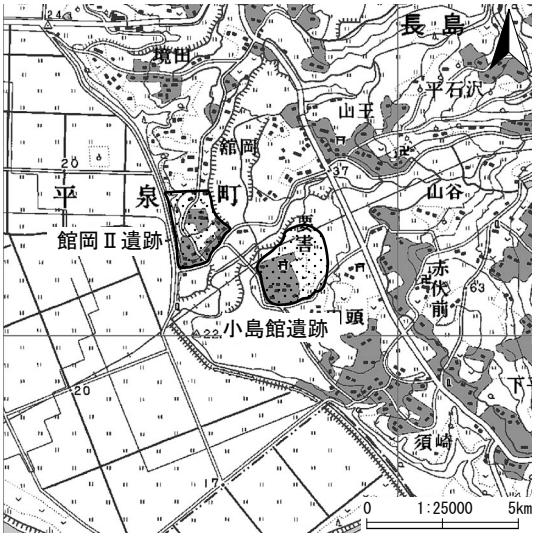
小島館（古館）遺跡（NE76－1383）

所 在 地：西磐井郡平泉町長島字館岡・古館

事 業 者：国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所

調査期日：平成25年７月８日（月）

館岡Ⅱ遺跡は平泉町役場の東約2.4㎞、北上川左岸の中位段丘面に立地している。遺跡の載る段丘は、東側の山稜から北上川へと流れる小河川によって開析されて南北に細長く張り出す丘陵状になっている。この張り出し部分の南側が当遺跡の範囲であり、館主不明の中世城館跡とされている。なお段丘の北側は館岡Ⅰ遺跡（縄文時代晩期の遺物散布地）とされている。



第51図　館岡Ⅱ遺跡・小島館遺跡位置

今回の調査は遊水地の管理用通路工事に係るもので、遺跡の南西端に位置する平場部分について実施した。推測される館の縄張りから見れば、遺跡中央付近の小高い宅地が館中心部分の平場（主曲輪）にあたり、今回調査地は縁辺の平場であると解される。調査地は現況で３段の平場からなり、北側に狭い平場２段（便宜的に「上段」「中段」とする）、南側に低い平場（同じく「下段」）が見られる。上・中段は畑地、下段は宅地跡である。

調査地にトレンチ４箇所を設定した（Ｔ１～４）。上段のＴ１及び中段のＴ２では、表土下に礫交じりの暗褐色土（Ⅱ層）が見られた。このⅡ層を除去すると地山の黄褐色粘質土層（Ⅲ層）となる。Ⅲ層は南へと緩く傾斜しており、自然地形は緩斜面であったと推測される。地山の上に載るⅡ層については人為的な盛土と解されるが、遺物を一切含まないため時期を特定できなかったが、城館の平場普請のための整地層である可能性がある。一方、中段から下段の間の法面裾にＴ３、下段の平場にＴ４を設定した。いずれも表土は10～20㎝と薄い。Ｔ３では遺構・遺物は確認されなかったが、Ｔ４において柱穴６個が検出された。柱穴は円形ないしは楕円形のもので、規模から２種に分かれる。径60～70㎝の大径のもの、径30㎝の小径もの、それぞれ３個である。柱穴に伴う遺物は出土せず、これら柱穴の時期は特定できなかったが、ごく新しいものとは思われず、城館に伴うものである可能性が高いと推測される。

今回試掘では、Ｔ１～３では遺構・遺物なし、Ｔ４で柱穴６個・遺物なし、という結果であった。しかし、整地層（Ⅱ層）の存在から考えれば現況地形の平場そのものが遺構である可能性が高いと推測される。したがって、工事範囲内の平場全体について発掘調査が必要と判断される。

小島館遺跡は平泉町役場の東約2.7㎞、北上川左岸の中位～低位段丘面に立地している。遺跡の載る段丘は、北上川沿いの氾濫低地へと舌状に張り出している。当館跡は中世末期、城主は「小島三右衛門」と伝えられ、『岩手県中世城館跡分布調査報告書』（岩手県教委1986）では、城館の主郭は現在八幡宮が鎮座する箇所で、東に堀があると記載されている。

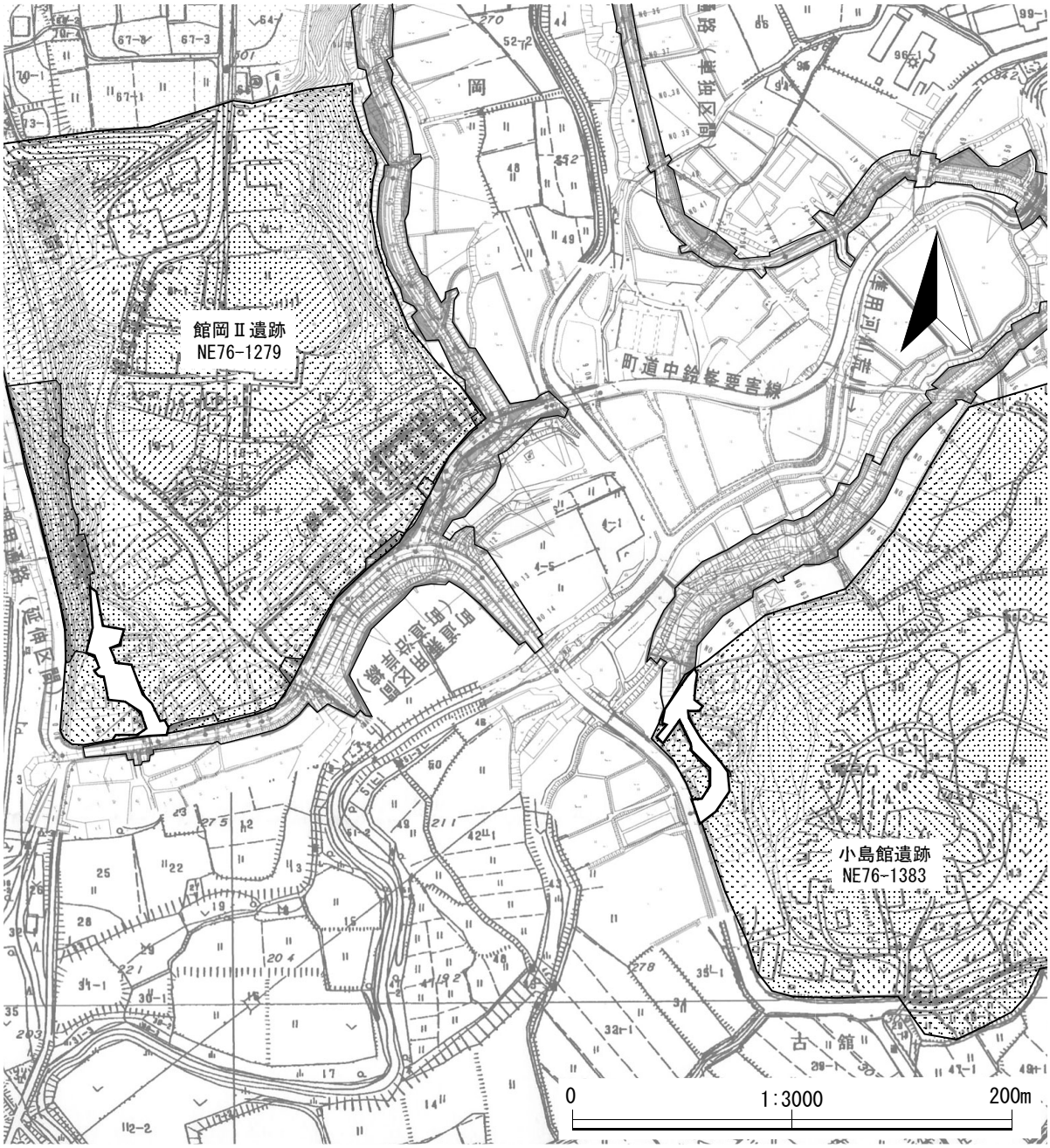
今回の調査は遊水地の管理用通路工事に係るもので、遺跡の西側縁辺、町道に隣接する宅地跡・畑地について実施した。南側の畑地にＴ６・７、北側の宅地にＴ８・９、合わせて４箇所のトレンチを設定した。

現道に近いＴ６で土坑１基と溝跡１条を検出した。土坑と溝は重複しており、溝跡が新しいもので

ある。土坑は溝により東側の一部を破壊されているが、径１m程度の略円形を呈している。溝跡は埋土に礫を含んだ幅90㎝のもので、ほぼ南北方向に延びている。ともに地山であるⅣ層上面で検出した。遺構に伴う遺物は出土せず、時期は明らかではない。Ｔ７では遺構・遺物ともに確認されなかった。宅地跡のＴ８・９では盛土が厚い状況であった。現況では一段高く平坦な宅地であるが、地形改変によるものであった。この地形改変そのものは城館の普請によるものではなく、宅地造成時のものと推測される。両トレンチともに遺構・遺物は検出されなかった。

以上のとおり、今回調査では南側の畑地で遺構（時期不明）が検出された。Ｔ６周辺について発掘調査が必要になると判断される。

（平成25年度、当課が発掘調査実施済み）



第52図　館岡Ⅱ遺跡・小島館遺跡調査地点

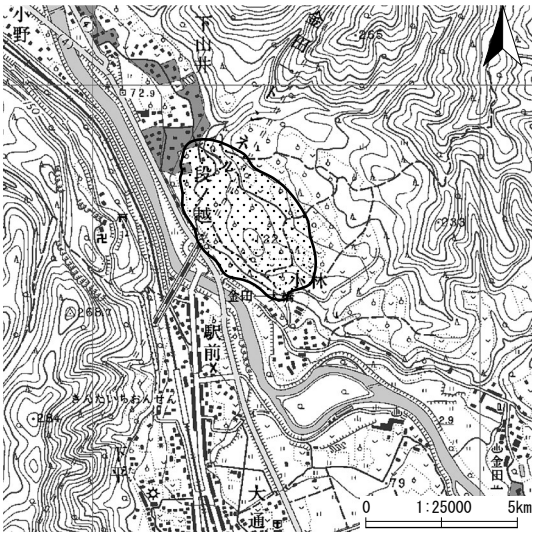
２　畑地帯総合整備事業（担い手育成型）湯田地区

段ノ越遺跡（IF70－2074）

所 在 地：二戸市金田一字段ノ越

事 業 者：県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室

調査期日：平成26年３月13日（木）～３月14日（金）



第53図　段ノ越遺跡位置

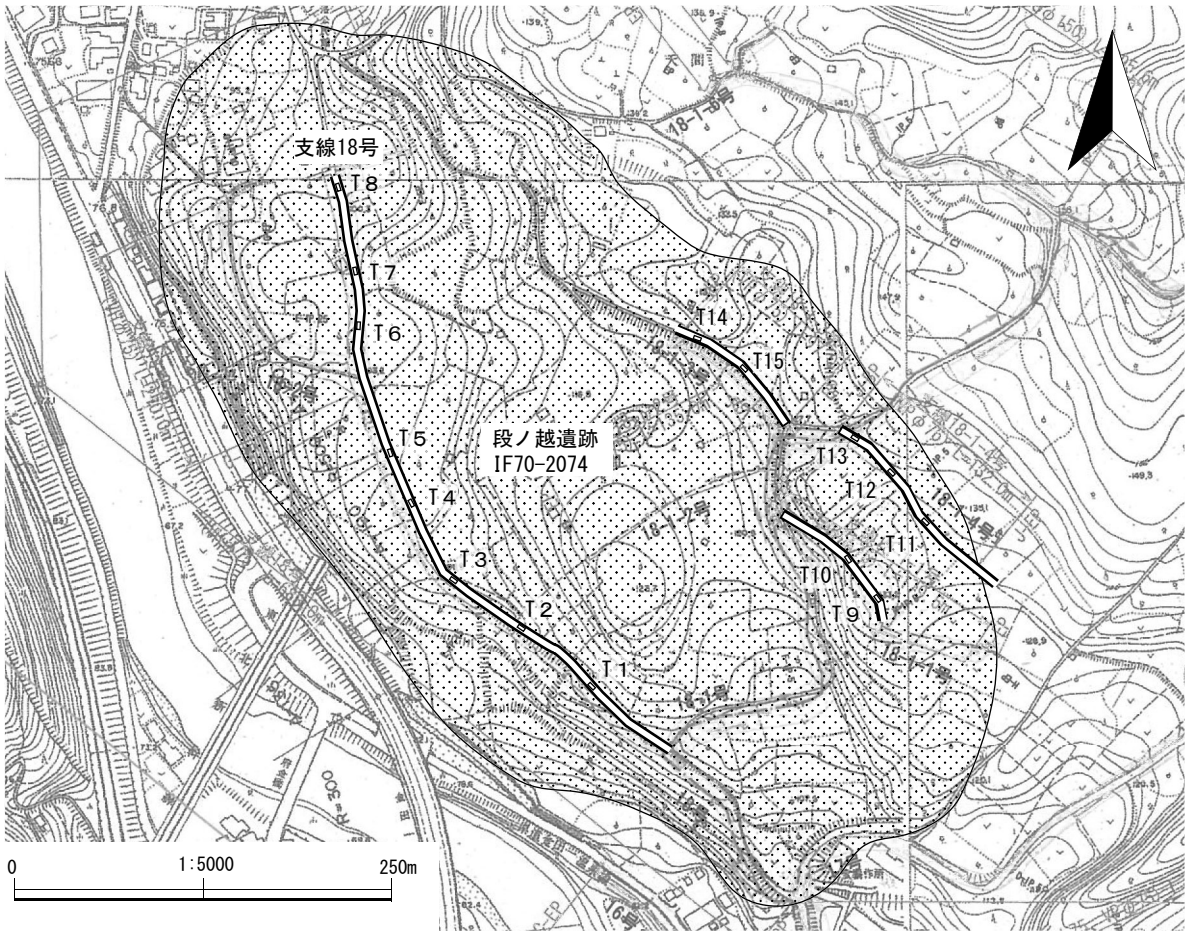
段ノ越遺跡は、二戸市役所の北約6.4㎞に位置し、馬淵川右岸の丘陵面（川との比高10m以上）に立地している。当遺跡の北側には下山井館遺跡(中世・城館)及び下山井遺跡（縄文・散布地）が、馬淵川の対岸には駒焼場遺跡(平安・集落跡：旧・府金橋遺跡を統合)が所在している。今回調査は、湯田地区の農業用給水管埋設及び農道整備工事に係るものである。当事業に係る試掘調査は24年度に一部実施しており、今回は遺跡の南側から西側へと縦断する支線１本（18号)、東側の支線３本（18-1-1・3・4号）を試掘した。

西側の支線18号にトレンチ８箇所を設定したところ、土坑４基を検出した。土坑を検出したのはＴ３・４・５・７である。Ｔ３～５の土坑は、径２m内外の円形基調を呈するもので、検出面はいずれも南部浮石層（Ｖ層）上面である。埋土上位には十和田ａ火山灰（西暦915年頃に降下）と思われるパミスが堆積している。Ｔ３～５設定箇所は北東側から連続する緩やかな丘陵面であり、この地形面に他にも同様な土坑が存在していると推測される。一方、Ｔ７の土坑は径１m程で、火山灰は確認されなかった。検出面は明灰褐色のシラス面（Ⅷ層）である。堆積土層の状況から、上部が削平されていると思われる。Ｔ７の周辺は、Ｔ３～５の丘陵面と小谷を挟んで対向する狭い尾根状となっており、この部分にも他の遺構が存在する可能性は大きいと予想される。いずれのトレンチでも遺物は出土しなかった。検出された土坑は火山灰の存在から平安時代以前のものではあるが、現時点で時期特定はできない。

なお、路線南東のＴ１・２周辺は傾斜面を造成して現道開削していると考えられ、周辺に遺構は無いと思われる。他の３路線については、遺構・遺物ともに検出されなかった。

以上の調査結果から、支線18号のＴ３以北の路線について発掘調査が必要である。

（平成26年度、当課が発掘調査実施済）



第54図　段ノ越跡調査地点

３　一般国道456号関口地区交通安全施設整備事業

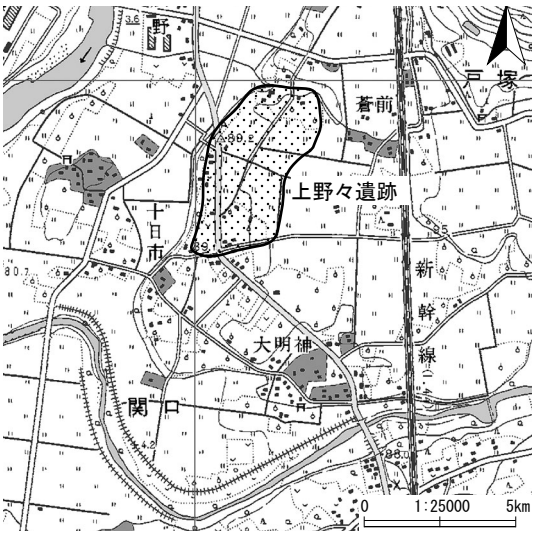
上野々遺跡（LE97－2160）

所 在 地：花巻市石鳥谷町新堀

事 業 者：県南広域振興局土木部花巻土木センター

調査期日：平成25年６月６日（木）、７月１日（月）

上野々遺跡は花巻市役所の北北東約9.5㎞、北上川と稗貫川の合流点付近の低位段丘面に立地している。遺跡は縄文時代と古代の散布地とされており、北上川左岸の氾濫低地に張り出す段丘の北西縁に広がっている。近隣住民によれば、過去にほ場整備が行われており、それに伴う試掘調査において遺構・遺物が検出されているとことである（詳細は未確認）。

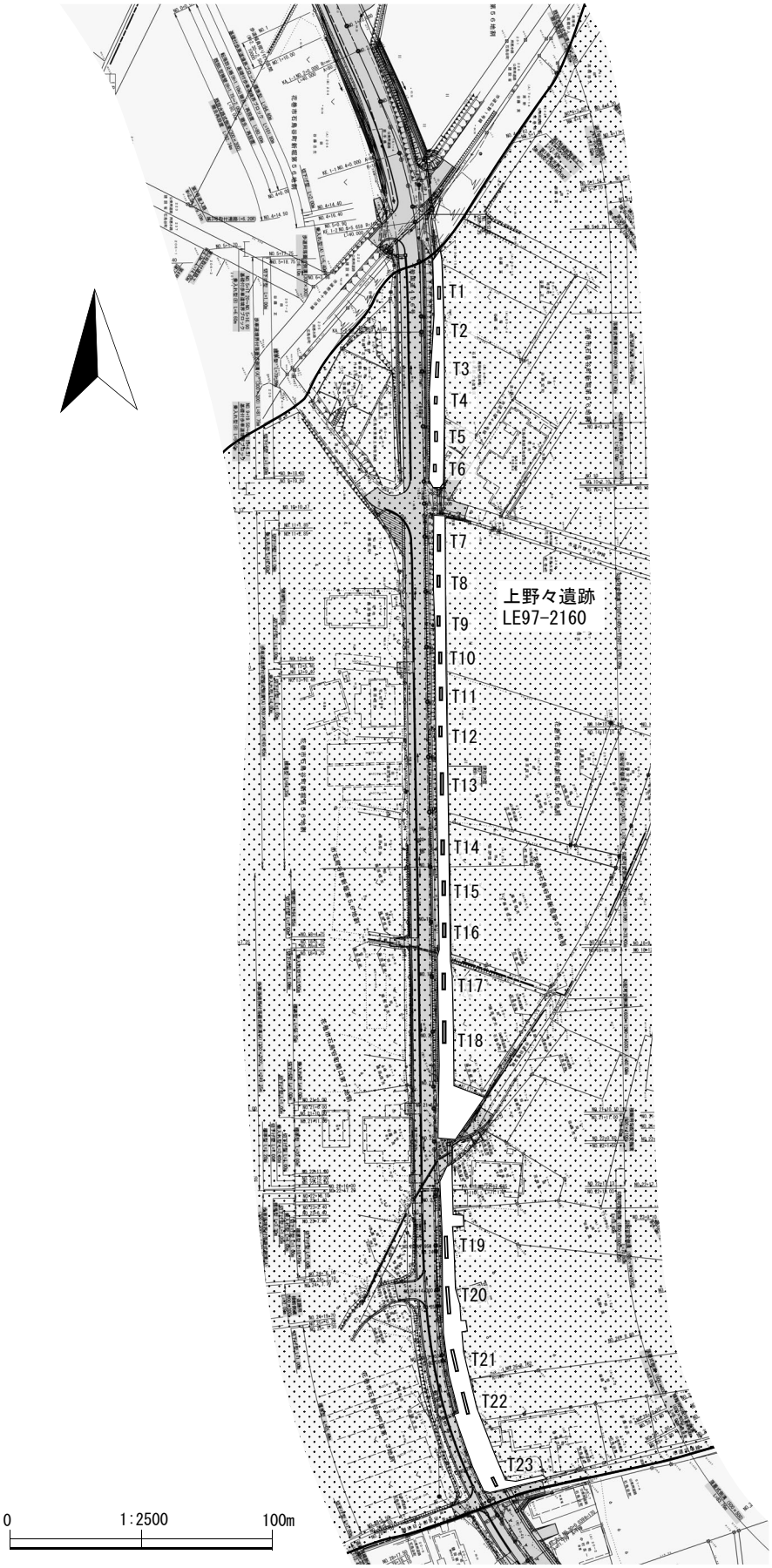


第55図　上野々遺跡位置

今回の調査は国道456号の改良工事に係るもので、調査地は現道東側に隣接する宅地・水田・畑地である。調査地にトレンチ23箇所を設定した。段丘縁にあたる調査区北側の畑地にＴ１～４では、表土層（Ｉａ層）下で礫を多く含んだ黒褐色土層（Ⅱ層）が見られた。この層は人為的なもので整地のための盛土層と推測される。旧表土層は確認されず、盛土直下が黄褐色土層（Ⅳ層；地山）となる。土地改良区事務所用地西側に設定したＴ５・６でも盛土層が50～80㎝と厚かったが、ここでは盛土下に30㎝程の自然堆積の黒色土層（Ⅲ層）が残存していた。Ⅲ層からの出土遺物はなく、Ⅳ層面で遺構確認したが検出されなかった。Ｔ７～18は現道東脇の水田部分に設定した。層序は北側のＴ１～６とほぼ同じであるが、Ⅲ層が厚さ30～60㎝とやや残存状況は良く、Ｔ９・13で遺構が検出された。Ｔ９では、東西方向へと延びる溝跡が検出された。検出面はⅣ層上面である。幅20㎝、深さ10㎝程と小規模で、遺物は出土しなかった。時期は明らかではない。Ｔ13では、焼土粒を含んだ遺構プランをⅣ層面で検出した。トレンチ幅が狭いため規模詳細が不明であるが、トレンチ長軸の南北方向では３ｍ程度、黒褐色土が広がっている。遺構プラン内から縄文土器片が出土しており、該期の竪穴住居跡と推測される。また、Ｔ12・14・18で縄文土器片が出土している。一方、調査区南側の果樹林部分にＴ19～22、宅地部分にＴ23を設定した。宅地はもちろん、果樹林部分も地形改変を被っており、ともに旧表土層は消失していた。Ｔ19～23では遺構・遺物は検出されなかった。

以上のとおり、調査区南北両側は地形改変により遺構・遺物は消失しているが、中央付近の水田部分には遺構・遺物が遺存していると推測される。

（平成26年度、当課が発掘調査実施済）



第56図　上野々遺跡調査地点

４　一般国道340号和井内地区地域連携道路整備事業

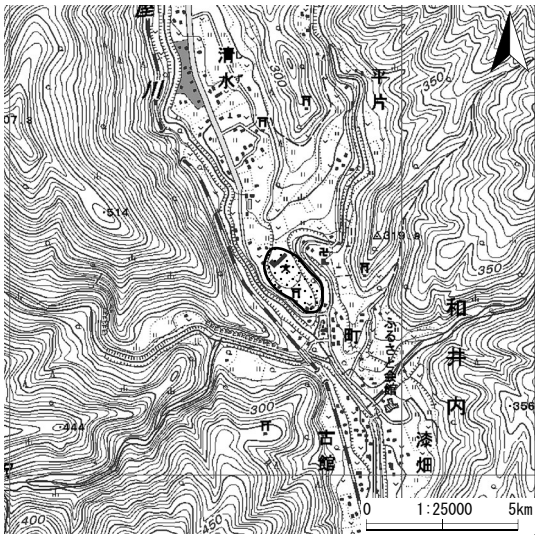
和井内西遺跡（LF18－1335）

所 在 地：宮古市和井内字清水

事 業 者：沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

調査期日：平成26年２月19日（水）

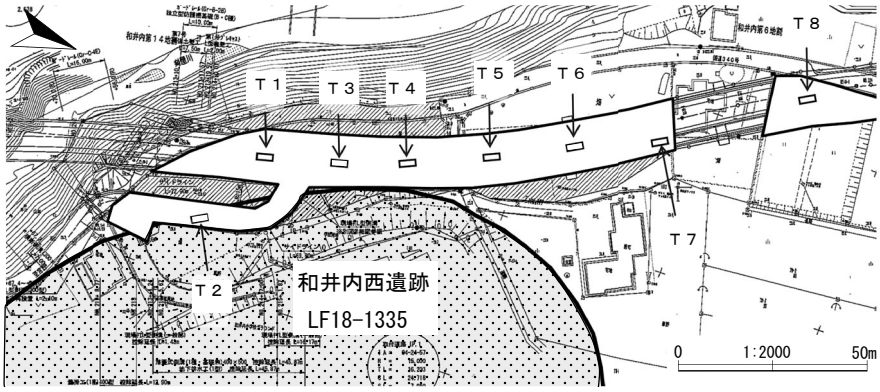
和井内西遺跡は宮古市役所の西北西約22.1 km に位置し、国道340号（茂市 - 岩泉）の東にあたる。刈屋川中流域の左岸にあり、平片沢の合流点に近い場所である。地形は、中起伏山地に囲まれた砂礫段丘で、遺跡範囲の大部分が和井内小学校敷地造成により改変されている。対象地は、和井内小学校が所在する東に一段高い台地面と接し、西は谷底河川と接する狭く平坦な段丘面がみられ、現況は水田や畑地・宅地として使用されている。



第57図　和井内西遺跡位置

今回の試掘調査区は、遺跡に隣接する南北に通る計画道路の本線部分と、遺跡範囲にかかる調査区南東部の取付道路部分である。全体の様相を把握するため、南側から順に８箇所のトレンチを設定した。調査区南端のＴ１では、表土層の下に灰褐色土の砂礫層（Ⅴ層）起源の砂礫層がみられ、遺構・遺物はなかった。遺跡範囲にかかるＴ２では、黒色土（Ⅱ層）の下位で焼土ブロックが多く確認された。何らかの遺構と思われたため、プラン把握のため、暗褐色土（Ⅲ層）～Ⅴ層と順次掘下げたが不明確であった。複数の遺構の重複である可能性も考えられる。包蔵地に近いＴ３からは、Ⅲ層上面より、陥し穴状遺構と思われる長楕円の土坑が確認された。Ｔ4では、Ⅲ層漸移層とⅣ層地山層が逆転している部分がみられた。人為的改変と考えられるが出土遺物はなく、改変の時期やその性格は不明である。Ｔ５では、基本層序の通りの堆積がみられたが、遺構・遺物は確認できなかった。Ｔ６では、Ⅳ層上面より、焼土と礫（炉石の一部？）が確認された。Ｔ７・Ｔ８では遺構・遺物とも確認されず、Ｔ８では、表土直下でⅤ層起源の砂礫層がみられた。調査の結果、遺跡範囲が北西に広がることが確認された。どのトレンチからも遺物は確認されず、遺構の時期を決定づけるものはないが、遺跡台帳の記載より縄文時代と推測される。但し、Ｔ３の土坑や焼土については、その検出状況から、古代以降の可能性も否定できない。

（平成26年度、当課が取付道路部分を発掘調査実施済、平成27年度、本線部分を調査予定）



第58図　和井内西遺跡調査地点

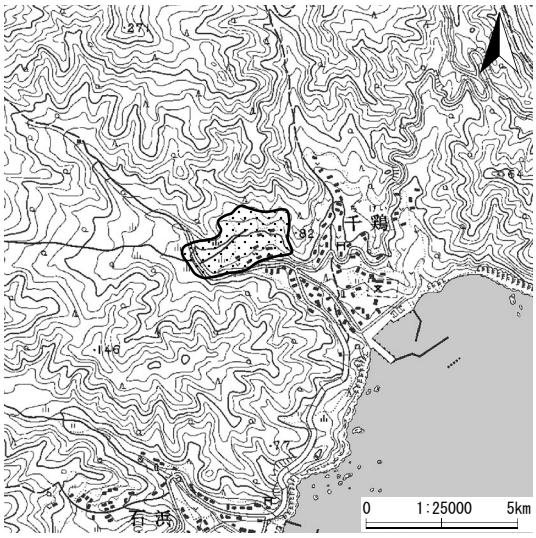
5　主要地方道重茂半島線千鶏地区地域連携道路整備事業

千鶏Ⅳ遺跡（LG75－0248）

所 在 地：宮古市重茂第12地割上野

事 業 者：沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

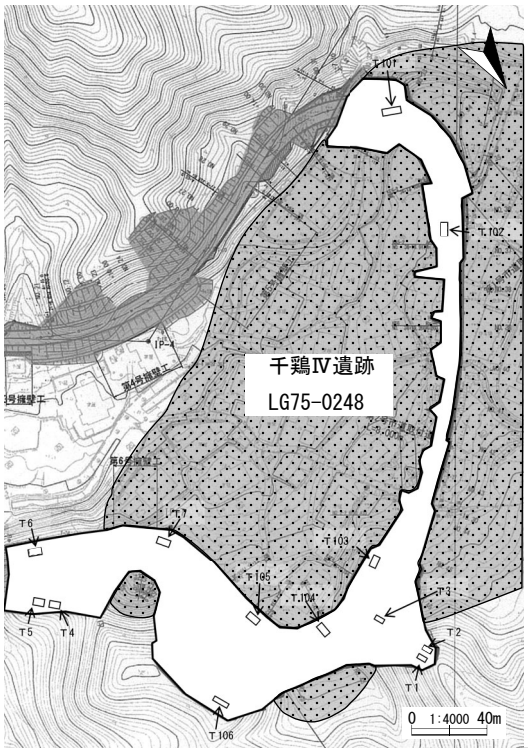
調査期日：平成25年11月25日（月）



第59図　千鶏Ⅳ遺跡位置

千鶏Ⅳ遺跡は、宮古市役所から南南東に13.5㎞離れた、太平洋に突き出た本州最東端の魵ヶ崎の南西にある。太平洋並びに、宮古湾に面する海岸地帯には、山地が海にのぞんで海崖をつくっているが、屈曲に富み無数の入り江をつくっている。現在でもその入り江に多くの集落が点在するが、特に魵ヶ崎北西の重茂地区と南西の千鶏地区に大きな漁村が形成されている。遺跡は半島北部の海岸段丘沿いと重茂地区、千鶏地区に多く、縄文時代前期～晩期にかけての土器を出土させており、千鶏遺跡では、縄文時代前期初頭の竪穴住居跡も確認されている。今回の試掘調査区は、千鶏Ⅳ遺跡の中央部を横断しており、13箇所のトレンチを設定した。Ｔ１・Ｔ２を設定した区域は、南東に張り出した尾根の先端である。やや広い平坦部があり、調査の結果、方形のプランを検出した。遺物は出土していないが、高地性の竪穴住居跡の可能性が考えられ、時期は古代と想定する。Ｔ６は、遺跡の東に隣接する丘陵地の南西緩斜面に設定している。なだらかな斜面に急激に落ち込む部分が見られ、大型の円形のプラン（土坑）が検出された。底面が平坦なことから竪穴住居跡の可能性もある。Ｔ４・５はＴ１・２と同様のやせ尾根に設定した。平坦部は狭小であり、また地山は花崗岩質で脆く、遺物も出土していない。Ｔ３・Ｔ７については遺構・遺物とも検出されていない。Ｔ101では、硬く踏み固められた盛土の下より、半円形で検出された遺構（土坑）を確認した。また、その土坑の埋土より縄文の土器片が出土している。Ｔ102では、トレンチ北東隅より、焼土が確認された。Ｔ103は、山の尾根筋斜面に位置し、Ⅰ～Ⅳ層が少なく遺構は確認されなかった。但し試掘できなかったがＴ103南の、南向き緩斜面については、位置や標高などから包蔵している可能性が高いと思われる。Ｔ104は沢の脇に位置し、湧水が激しく遺構を確認できなかった。Ｔ105・Ｔ106においては、ほぼ基本層序に近い堆積が認められたが、遺構・遺物を確認することはできなかった。調査の結果、縄文時代と古代と考えられる遺構が包蔵されていることが確認された。

（平成26年度、県埋蔵文化財センターが発掘調査実施、平成27年度継続調査予定）



第60図　千鶏Ⅳ遺跡調査地点

６　災害復旧事業白浜（鵜）地区

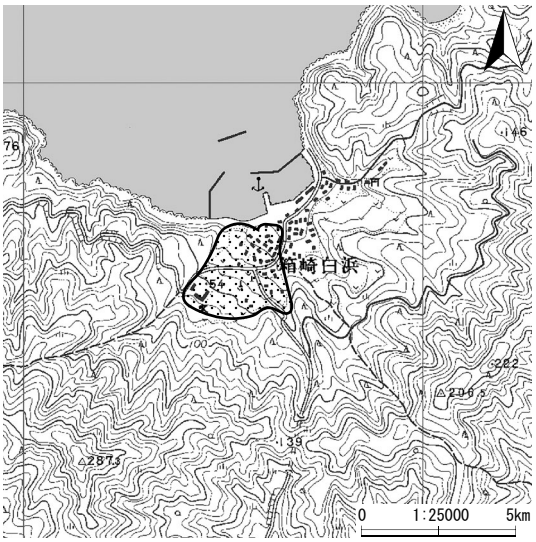
向山遺跡（MG43－2358）

所 在 地：釜石市箱崎町白浜

事 業 者：沿岸広域振興局水産部漁港復旧課

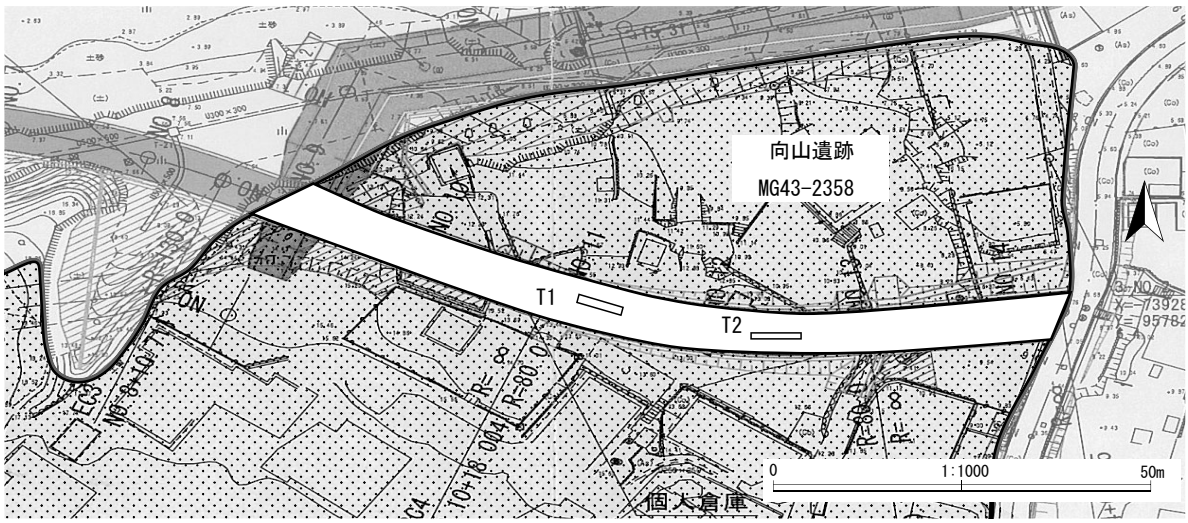
調査期日：平成26年２月27日（水）

向山遺跡は、釜石市市役所の北東7.5km に位置する。太平洋に開ける大槌湾の南岸に細長く突き出た、箱崎半島の付け根から3.5㎞ほど離れた北向き緩斜面に立地し、背後は小起伏山地に囲まれる。半島の北側に開けた２つの地区（箱崎町箱崎、箱崎町白浜）には６遺跡があり、時期的には縄文時代から弥生時代、そして古代・近世に及ぶ。また、付け根や先端部分の遺跡を含めた、半島全体では、大槌や釜石市で出土例の少ない弥生土器の出土させる遺跡の多いことも特色である。



第61図　向山遺跡位置

今回の試掘調査は、防潮堤の建設に伴う付属道路が、向山遺跡内に計画されたことから行われた。計画された現道に接続される最東端部分は、宅地造成や道路建設などのために大きく削られており、盛土されていることが判明したために、調査していない。試掘トレンチは事業予定区域の中央部に２箇所設定した。北西側Ｔ１では、表土下の黒色土下位から焼土が検出されている。その周囲から土器が検出し、円形の遺構を検出した。大型であり、土器の出土も多いことから竪穴住居跡の可能性が高い。土器は、深鉢の胴部の破片で、縄文時代中期前葉（大木７ｂ～８ａ式併行か）のものと推定される。Ｔ２は段丘の縁に当たる区域に設定した。盛土は地表から20cm程であり、その下からは黒色土が確認されたことから、トレンチを設定した段丘面においては、大きな地形の改変はなく、遺構は残されていると判断される。検出した遺構は大型の土坑１基である。検出面はⅢ層（土器包含層）上面で、時期は縄文時代より新しい遺構（中近世か）と考えられる。Ｔ２では地山面まで確認しておらず、よってⅢ層包含層の厚さは不明であるが、Ⅲ層包含層上面を検出面とする時代と、Ⅲ層下（Ⅳ層面）を検出面とする２つの時代の遺構が存在すると考えられる。



第62図　向山遺跡調査地点

7　経営体育成基盤整備事業石山地区

大日前遺跡（NE18－0050）

所 在 地：奥州市江刺区田原字大日前

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成25年11月11日（月）

大日前遺跡は奥州市役所の東北東約5.2㎞、国道456号と県道251号の交差点付近から県道251号東から南西側の水田面に広がっている。付近は伊手川右岸の自然堤防及びその周辺の谷底平野にあたる。自然堤防部分は周囲の水田面よりも僅かに高位で、現況では宅地・畑地となっている。今回の調査は石山地区ほ場整備に係るものである。当事業に係る試掘調査は平成24年に当課が実施しているが、今回は前回調査の未了部分について試掘を行った。調査地は国道と県道の交差点の南東側に位置する田面３枚である。

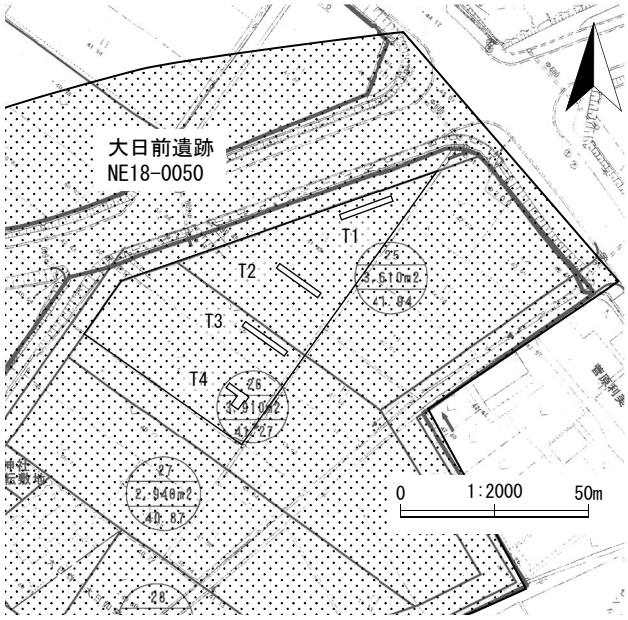
第63図　大日前遺跡位置

田面にトレンチ４箇所を設定した。北側の三角形の田面区画に設定したＴ１では、耕作土層の直下が砂礫層（Ⅲｂ層）であり、遺構・遺物ともに確認されなかった。またＴ２・３では、耕作土下に20㎝ほどの盛土整地層（Ⅱ層）が見られた。Ⅱ層を除去すると砂質土層（Ⅲａ層）となったが、遺構は検出されず、遺物も出土しなかった。

一方、南側の田面のＴ４では、耕作土の直下の黄褐色砂質土層（Ⅲａ層）上面で溝跡１条・柱穴２個を検出した。溝跡は、ほぼ南北方向に延びており、幅2.3ｍを測る。埋土には炭化物が疎らに混入し、埋土上面で土師器甕の破片１点が出土した。平安時代の遺構と推測される。また、溝の東側には径30㎝ほどの柱穴２個が検出された。１個の埋土上面には土師器壺の底部片が出土しており、平安時代に属するものと推測される。遺構の検出面は溝・柱穴ともに地表面－20㎝である。

前回試掘では、今回調査箇所の東側（宅地寄りの高位面）の自然堤防上を中心に、平安時代及び12世紀の遺構・遺物が検出されている。前回検出された遺構分布域が、今回調査のＴ４付近まで広がっていると判断される。

（平成26年度、（一財）奥州市埋蔵文化財調査センターが発掘調査実施済）



第64図　大日前遺跡調査地点

8　経営体育成基盤整備事業荻ノ窪地区

小十文字遺跡（NE25－1065）

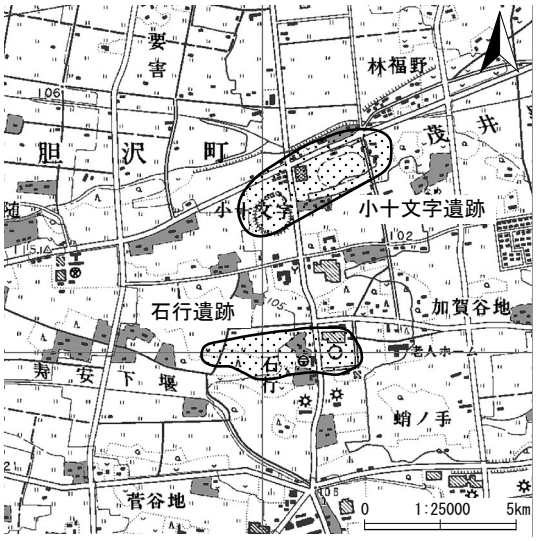
石行遺跡（NE25－2033）

所 在 地：奥州市胆沢区南都田字小十文字・石行

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成25年11月７日(木)～11月８日(金)

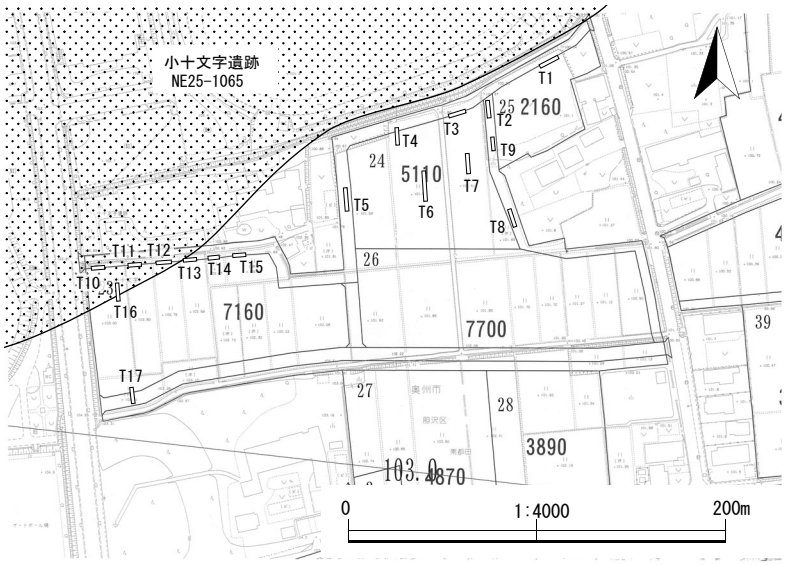
　　平成25年12月４日(水)～12月５日(木)



第65図　小十文字遺跡・石行遺跡位置

小十文字遺跡は奥州市役所の西南西約6.5㎞、胆沢扇状地の扇央部中央付近に位置している。胆沢扇状地には北縁を東流する胆沢川の下刻作用により複数の段丘面が形成されているが、当遺跡はそのうち中位段丘下位面に載っている。遺跡の範囲は主に周囲の水田面より僅かに標高高い微高地部分であるが、その中心部分は旧胆沢町の体育施設建設に伴い大規模開発されており、体育館・野球場・陸上競技場等が設置されている。周辺には宅地・畑地が広がっている。

今回の調査は荻ノ窪地区のほ場整備工事に係り、遺跡範囲及び隣接する工事範囲について試掘したもので、調査範囲は遺跡南辺東側（体育館・陸上競技場敷地の南側隣接部分）の水田面である（計画田面23～25）。トレンチ17箇所を設定した。東半部の田区24・25にはＴ１～９を設定した。北辺の道路予定地に設定したＴ１・３・４では厚さ40～90㎝の盛土層が確認された。昭和50年代の空中写真の判読から今回調査範囲の北辺付近には旧河道の存在が想定されるが、旧河道（現水路）沿いについては盛土整地されていることが確認できた。またＴ６～９では耕作土直下が地山であり、田面の南側は削平されている。以上のトレンチでは遺構・遺物ともに検出されなかったが、田区24と25の間に計画されている水路予定地のＴ２で遺構が検出された。埋土中には灰白色パミス（十和田ａ火山灰か）が混入しており、平面形及び埋土の状況から古代（平安時代か）の竪穴住居跡と推測した。Ｔ２付近には旧表土（Ⅱ～Ⅲ層）が残っており、削平を被っていないため、遺構が残存したものと思われる。西側の田区23にはＴ10～17を設定した。殆どのトレンチでは「耕作土直下で地山」という状況であり、全体に削平を被っていたが、Ｔ11で土坑１基、Ｔ12で竪穴住居跡１棟・溝跡２条、Ｔ14・16で溝跡各１条を検出した。一方、確認のため田区南辺に設定したＴ17では、遺構は確認されていない。



今回調査範囲北辺の旧河道を境として、それ以北の微高地面が遺跡の中心部分と推測されるが、旧河道南岸縁辺付近にも遺構が存在している状況が確認された。検出された遺構群は遺物が確認できなかったため詳細な時期は特定できないが、その形態等から平安時代のものと推測される。なお、調査

第66図　小十文字遺跡調査地点

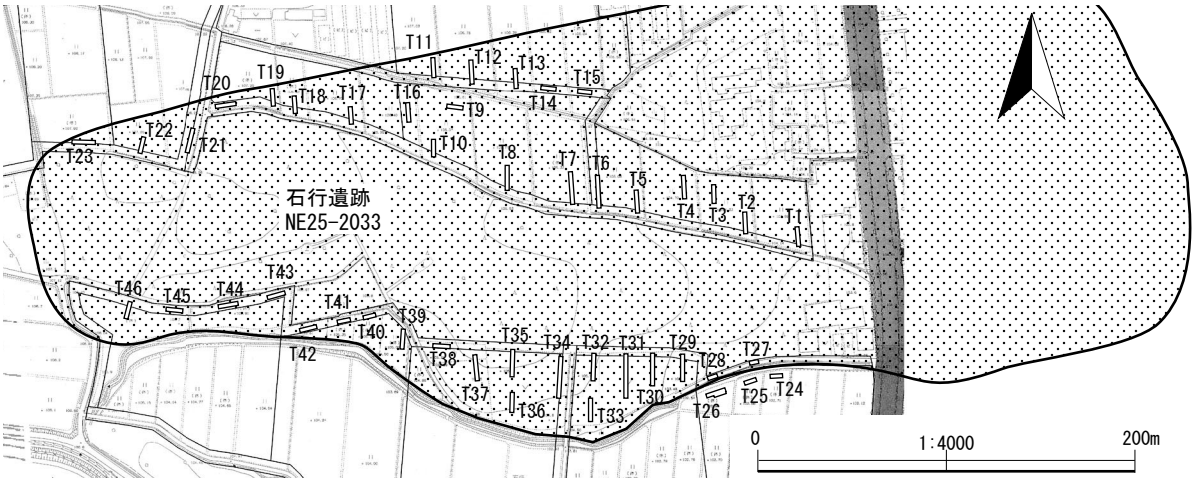
地中央から南側については著しく削平されており、遺構・遺物は消失したものと思われる。以上より、田区25及びその北～西辺の農道・水路部分、田区23の北西部及びその北辺の農道部分について発掘調査（農道については確認調査）が必要となると判断される。

石行遺跡は奥州市役所の西南西約6.9㎞、胆沢扇状地の扇央部中央付近に位置している。胆沢扇状地には北縁を東流する胆沢川の下刻作用により複数の段丘面が形成されているが、当遺跡はそのうち中位段丘中位面に載っている。遺跡の範囲は主に周囲の水田面より標高高い微高地部分である。遺跡範囲の東側を県道176号が南北に縦貫し、県道両側には奥州市役所胆沢総合支所や郵便局が建てられており、その他は宅地や畑地、林地となっている。

今回の調査は荻ノ窪地区のほ場整備工事に係り、遺跡範囲及び隣接する工事範囲について試掘したもので、調査範囲は県道以西の遺跡西半部の南北両辺付近である（計画田面８～14、15-1～18）。北側田区15-1～18にＴ１～23、南側田区８～14にはＴ24～46、合計46箇所のトレンチを設定した。北側のＴ１～10・16～23は一段低い水田面であるが、これらの田面は現況でも耕作土がぬかるむ軟弱な状態であり、低湿地的な状況と捉えられる。遺構・遺物ともに検出されなかった。この低い田面は遺跡が載る微高地面に北西側から貫入する形となっているが、この部分は元々沢及び周辺の低湿地だったと思われる。現在郵便局舎が建つ地点付近（盛土により嵩上げされていると推測される）を抜けて東の低い田面へと沢・湿地が抜けていると考えられる（その場合、遺跡範囲は南北に分断される形になる）。北側の一段高い田面のＴ11～15では耕作土直下に黒褐色土の堆積層（Ⅱ層）が見られたが、遺物は含まれず、遺構も検出されなかった。

一方、南側田区のうち北側の畑地にＴ29～38を設定したところ、Ｔ30で柱穴２個、Ｔ33で竪穴住居跡１棟（貼床のみ検出）、Ｔ34で柱穴列１条（掘立柱建物跡と思われる）、Ｔ35で溝跡１条・土坑３基、Ｔ37で溝跡１条・土坑１基をそれぞれ検出した。この畑地は耕作土直下がⅢ層（暗褐色土の漸移層。遺構検出面）～Ⅳ層（黄褐色土。地山）となることから削平されていると思われるものの、旧地形をある程度残しており、全体に遺構が残存しているものと推測される。削平されているため遺物はごく少なく、Ｔ33の住居跡と思われる範囲から須恵器１点（壺か）、周辺の耕作土から陶器１点（微細片で詳細不明）が僅かに出土したのみである。検出遺構については遺物が殆どないため時期を特定できないが、須恵器が出土していることから古代（平安時代か）に属すると思われる。その他のＴ24～28・39～46では遺構・遺物ともに検出されなかった。

以上から、田区16・17北側の畑地部分及びそれに隣接する農道・水路部分について発掘調査（農道については確認調査）が必要であると判断される。



第67図　石行遺跡調査地点

９　経営体育成基盤整備事業古城２期地区

中畑城遺跡（NE46－0322）

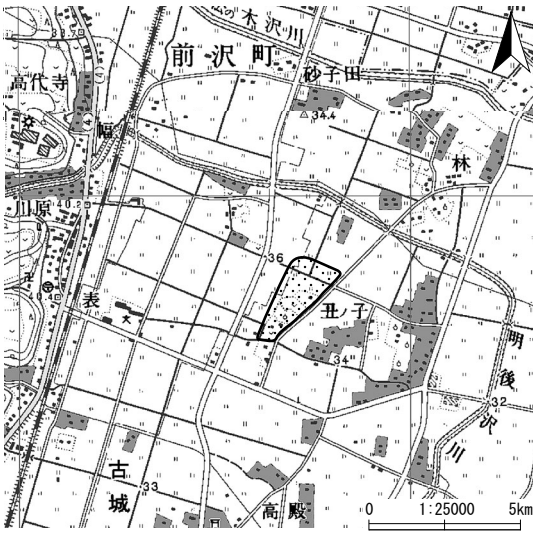
所 在 地：奥州市前沢区古城

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成25年10月18日（金）

中畑城遺跡は奥州市役所の南約7.2㎞、奥州市前沢区古城に所在する。遺跡は柏山氏が拠点とした中世館跡であるとされており、「樫山城」とも呼ばれる。

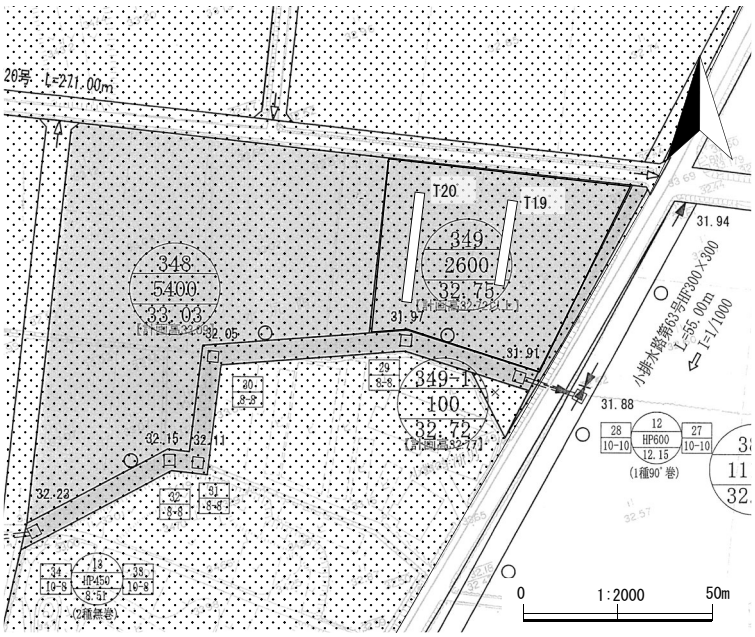
今回の調査は、古城２期地区ほ場整備に係る暗渠排水溝設置工事にともなうものである。古城地区ほ場整備に係る当遺跡の試掘調査は平成21年に実施され、工事範囲内で遺構・遺物が確認された。試掘調査の結果を承けて当課と農村整備室との間で工法変更協議が行われ、厚さ20㎝の保護層が確保できる範囲については遺構・遺物は盛土保存されることとなった。今回、保護盛土により遺構・遺物を保存した田区について暗渠設置（掘削深度40㎝）が計画されたことから、設置予定路線について試掘調査を実施したものである。



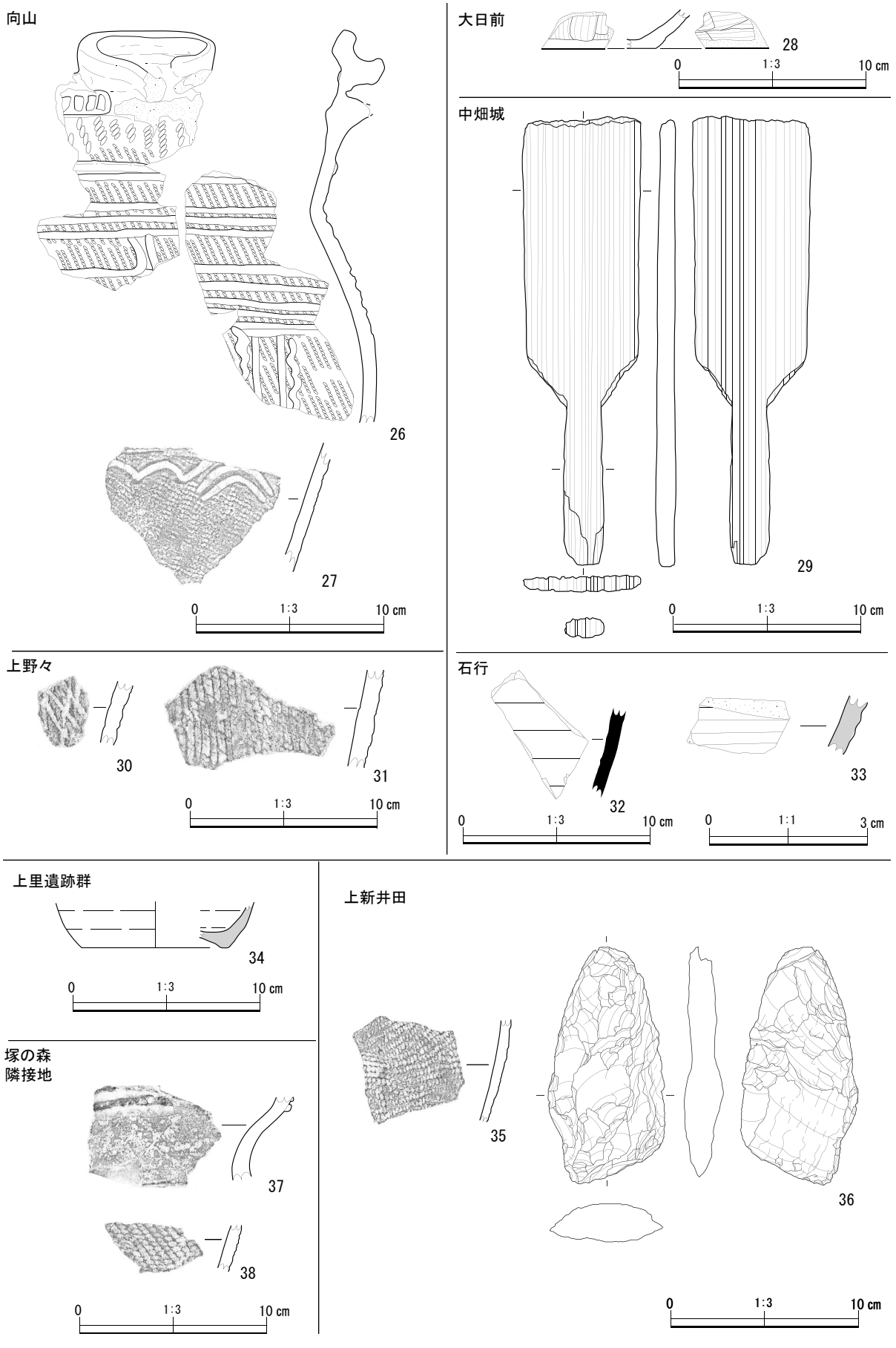
第68図　中畑城遺跡位置

今回調査対象は田区348・349の２箇所である。これらの田区は、試掘調査の結果、土坑・柱穴・溝等が検出されている。田区349にトレンチ２箇所（Ｔ19・20）を設定した。Ｔ19では溝跡１条（表土－30㎝）、Ｔ20では溝跡１条、堀跡１条（表土－30㎝）がそれぞれ検出された。溝跡は南北方向に走るもので、幅20～30㎝である。Ｔ20の堀跡はトレンチ内では東側の一部を確認したのみで、堀幅は不明である（２ｍ以上と推測）。堀跡の埋土から、箆状の木製品１点（機種不明）が出土した。田区349の状況から、田区348についてはより遺構が密であると推測されることから試掘を省略した。

Ｔ20の堀跡は、県埋蔵文化財センターの発掘調査で検出された「１号堀跡」に該当するものと思われる。当堀跡は「中畑城」の外堀であると推測されている。また、古地籍図の読み取りから、現況地形では判別できないものの、田区349内に小区画の曲輪（馬出）が存在している可能性が指摘されている。一方、外堀は田区348まで延びており、明後沢川の旧河道へと連結していると推測される。試掘状況及び縄張りから見て、田区348・349ともに工事に先立って発掘調査が必要になると判断される。



第69図　中畑城遺跡調査地点

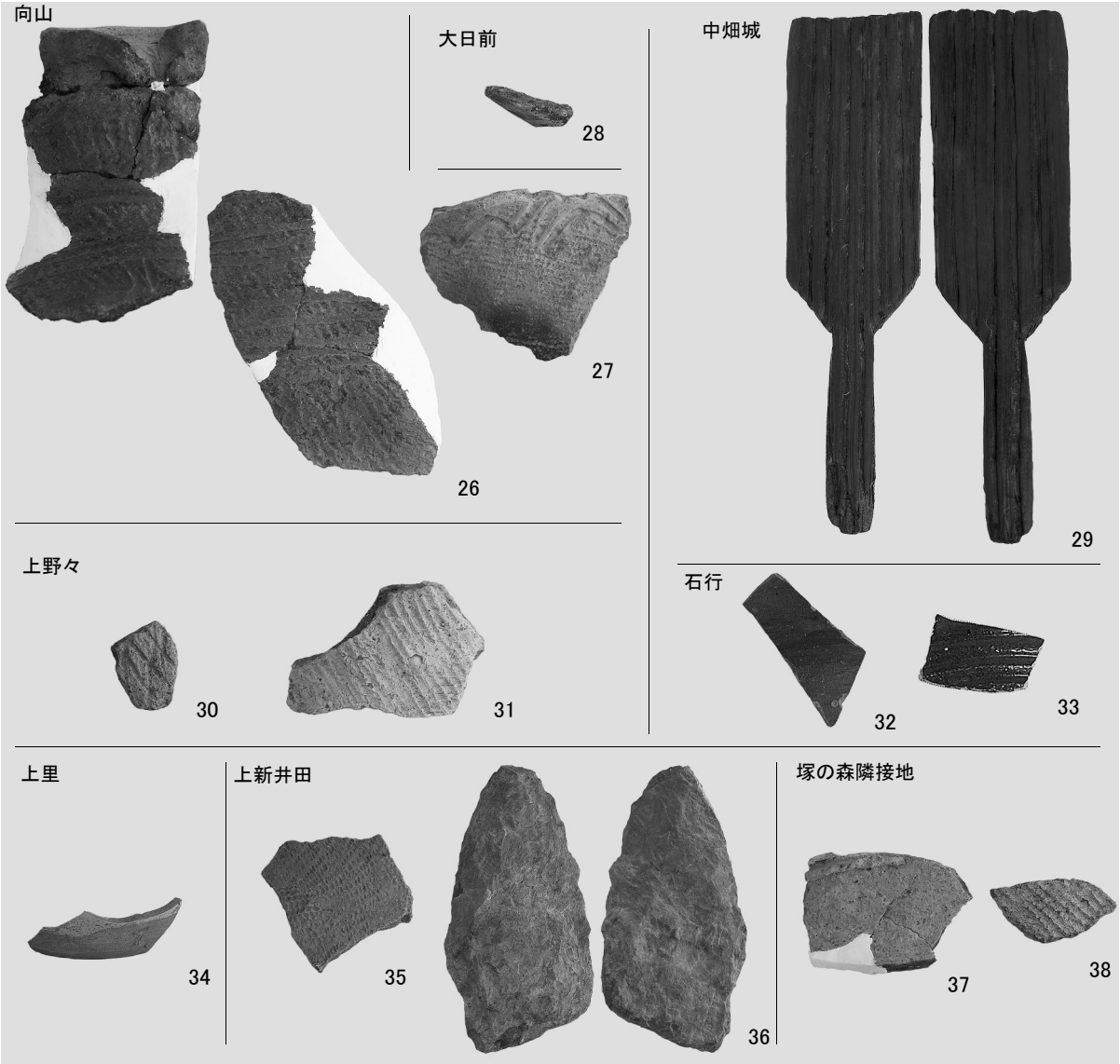


第70図　試掘調査出土遺物

第７表　試掘調査出土遺物観察表

遺跡名	掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm) 口径 縦	器高 横	底部径 厚さ	重量	特徴
向山	26	T1		土器	深鉢	口縁部～胴部	—	—	—	—	貼付文、刻目文、沈線（横走、鋸歯状）LR 縦
向山	27	T1		土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	鋸歯状沈線、LR 縦
大日前	28	T4柱穴		土師器	甕	底部	—	—	—	—	内外面ナデ
中畑城	29	溝？	埋土	木製品			24.2	6.3	1.1	—	篦ないし叩き具？
上野々	30	T13		土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	網目状撚糸文
上野々	31	T25		土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	LR 縦
石行	32	T33	住居埋土？	須恵器	甕	体部	—	—	—	—	内外面ロクロナデ
石行	33	T33	住居埋土？	陶器	壺？	体部	—	—	—	—	内外面釉薬
上里	34	T4		陶器	甕？	底部	—	(2.5)	(8.0)	—	内外面ロクロナデ、釉薬？
上新井田	35	T9	黒色土	土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	LR 横、内面ミガキ
上新井田	36	T9	黒色土	石器	打製石斧未製品？		12.9	6.3	2.2	155.2	粗い加工
塚の森Ⅰ隣接地	37	T25.26	表採	土器	壺	頸部	—	—	—	—	貼付文、内面ナデ
塚の森Ⅰ隣接地	38	T25.26	表採	土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	LRL 横

※34～38は遺物のみ掲載



写真図版30　試掘調査出土遺物

1　発掘調査一覧

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地	検出遺構	面積(㎡)
1	平成25年８月21日～８月22日	一関遊水地事業（第２管理用通路）	国土交通省東北地方整備局岩手河川国土事務所	小島館遺跡	平泉町	土坑２基、かわらけ、北栄銭、石器12点（藤原氏時代の遺構、遺物か）	25
2	平成25年５月７日～８日	地域連携道路整備事業飯岡工区	盛岡広域振興局土木部	大宮遺跡	盛岡市	溝跡１条	960
3	平成25年６月18日～21日	岩手県企業局大規模太陽光発電所建設事業	企業局経営総務室	相去遺跡	北上市	陥し穴状遺構1基	50
4	平成25年７月22日～８月20日 ※ ８月12日～16日（作業休止）	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部遠野土木センター所	赤川Ⅱ遺跡	遠野市	土坑類35基（内陥し穴状遺構34基）、縄文土器片、石器数点	1,600
	平成25年９月９日～10月１日					土坑１基、陥し穴状遺構30基、縄文土器破片	
5	平成25年10月21日～10月23日	県営体育成基盤整備事業六原地区	県南広域振興局農政部農村整備室	町の内道下遺跡	金ケ崎町	検出遺構：掘立柱建物跡１棟、溝跡２条、土坑５基、柱穴32個 出土遺物：無	805
	平成25年10月21日～10月23日	県営体育成基盤整備事業六原地区	県南広域振興局農政部農村整備室	町の内道上遺跡	金ケ崎町	検出遺構：無 出土遺物：無	1,540
6	平成25年11月18日～11月22日	経営体育成基盤整備事業和賀中部第四地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	伍大坂Ⅱ遺跡	北上市	竪穴住居跡１棟、溝跡８条	35
				六軒遺跡		土坑１基	10
7	平成25年11月７日～８日	経営体育成基盤整備事業和賀中部岩崎地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	本郷野遺跡	北上市	土坑１基	40

2　試掘調査一覧

※ アミフセはⅡ章で記載したもの

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地
1	平成25年４月８日	地域自主戦略事業（交通安全）一般県道前沢東山線	県南広域振興局土木部	安久沢東遺跡	奥州市
2	平成25年４月16日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部一関土木センター	西郷ノ目遺跡	一関市
3	平成25年５月２日	予防治山事業	盛岡広域振興局林務部	扇ノ沢館遺跡	葛巻町
4	平成25年５月10日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター	高木中館遺跡	花巻市
5	平成25年５月13日	林道整備事業（地域自主戦略交付金）森林基幹道・平糠線（第２工区）改築工事	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター林務室	大欠切Ⅲ遺跡	一戸町
6	平成25年５月16日、17日	北上川中流部治水対策事業（廿木地区）	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	可能性あり（南日詰小路口Ⅰ遺跡近接地）下川原Ⅰ遺跡及び隣接地	紫波町
7	平成25年５月27日	地域自主戦略事業（防雪・凍雪害対策）	県南広域振興局	可能性あり	西和賀町
8	平成25年６月４日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部	大谷鉄山跡	洋野町
9	平成25年６月６日	地域自主戦略事業（交通安全）	県南広域振興局土木部	安久沢東遺跡	奥州市
10	平成25年６月６日、７月１日	一般国道456号関口地区交通安全施設整備事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター	上野々遺跡 貝の淵Ⅰ遺跡 可能性あり〔塚の森Ⅰ遺跡隣接〕	花巻市
11	平成25年６月14日	地域自主戦略事業（交通安全）一般県道衣川水沢線	県南広域振興局土木部	上恩俗遺跡	奥州市
12	平成25年６月24日	林道整備事業（農山漁村地域整備交付金）森林基幹道安孫・平糠線（第１工区）改築工事 ※ 残土捨場計画地	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター林務室	田岡Ⅱ遺跡	一戸町
13	平成25年６月27日	地域連携道路整備事業（スマートインター設置）	岩手県、ＮＥＸＣＯ東日本	中島遺跡	奥州市
14	平成25年７月１日	一般県道平泉停車場中尊寺線志羅山地区	県南広域振興局土木部一関土木センター	衣関遺跡	平泉町
15	平成25年７月５日	市道尿前槻木平線若柳地区道路改良工事	県南広域振興局土木部	大寒沢遺跡	奥州市
16	平成25年７月８日	一関遊水地事業(第２管理用通路)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国土事務所	館岡Ⅱ遺跡 小島館遺跡 可能性あり〔館岡Ⅱ遺跡隣接〕	平泉町
17	平成25年７月25日	災害公営住宅整備事業（妻の神団地）	岩手県県土整備部建築住宅課	細浦Ⅶ遺跡隣接地	山田町
18	平成25年７月31日	農用地災害関連区画整理事業　山田地区折笠工区（土取場）	沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター	可能性あり	遠野市
19	平成25年８月23日	一関遊水地事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川国土事務所	舞草神社西遺跡	一関市
20	平成25年９月５日	地域連携道路整備事業	県北広域振興局農政部二戸土木センター	田余内Ⅰ遺跡	二戸市
21	平成25年９月９日	和賀中部農業水利事業　導水幹線用水路調整池下流水路工事	東北農政局和賀中部農業水利事業所	南部領伊達領境塚	金ケ崎町
22	平成25年９月10日	一般国道340号　立丸峠地区地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	可能性あり１	宮古市
23	平成25年９月24日	横沢川特定緊急砂防事業	盛岡広域振興局土木部岩手土木センター	上横沢遺跡	岩手町
24	平成25年10月２日	復興基盤総合整備事業	沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター農村整備室	大野遺跡、大野Ⅱ遺跡	大船渡市
25	平成25年10月18日	経営体育成基盤整備事業古城２期地区	県南広域振興局農政部農村整備室	下町遺跡、中畑城遺跡、古城林遺跡、八反町遺跡、古城方八町遺跡	平泉町
26	平成25年10月21日～22日	経営体育成基盤整理事業	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	八幡舘遺跡、 八幡野Ⅱ遺跡、本郷野遺跡	宮古市
27	平成25年10月24日	広域河川改修事業	県南広域振興局土木部遠野土木センター公務課治水環境チーム	坂本遺跡	遠野市
28	平成25年10月24日	北上川上流狭隘地区治水対策事業	国土交通省岩手河川国道事務所公務第一課	曲田館隣接地	一関市
29	平成25年10月25日	一関遊水地事業(磐井川堤防拡幅)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	可能性あり	一関市

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地
30	平成25年10月25日	畑地帯総合整備事業（担い手育成型）男神・米沢・湯田地区	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室	上里遺跡群	二戸市
31	平成25年10月29日	農用地災害関連区画整備事業　宇部川地区	県北広域振興局農政部農村整備室	上新山遺跡	久慈市
32	平成25年11月７日～８日	経営体育成基盤整備事業　萩ノ窪地区	県南広域振興局農政部農村整備室	小十文字遺跡	奥州市
33	平成25年11月11日	経営体育成基盤整備事業　石山地区	県南広域振興局農政部農村整備室	大日前遺跡	奥州市
34	平成25年11月13日	災害公営住宅整備事業	県土整備部建築住宅課	可能性あり（平林遺跡近隣地）	大船渡市
35	平成25年11月14日～15日	西和賀町火葬場建設事業	西和賀町教育委員会	鍵沢Ⅰ遺跡	西和賀町
36	平成25年11月20日	災害公営住宅整備事業	県土整備部建築住宅課	該当なし	大船渡市
37	平成25年11月20日	地域連携道路整備事業（一般国道282号西根バイパス2-2工区）	盛岡広域振興局土木部岩手土木センター	東部落Ⅱ遺跡	八幡平市
38	平成25年11月22日	広域公園整備事業（施設）御所湖広域公園整備（矢櫃地区）	盛岡広域振興局土木部	坂本遺跡	雫石町
39	平成25年11月25日	主要地方道重茂半島線千鶏地区地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部　宮古土木センター	千鶏Ⅳ遺跡	宮古市
40	平成25年11月26日～27日	中山間地域総合整備事業　大清水地区	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室	上新井田遺跡、小屋沢５遺跡	軽米町
41	平成25年11月28日	地域連携道路整備事業　一般県道田野畑岩泉線室場の2区	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	千丈遺跡、千丈熊っ平遺跡、可能性あり	田野畑村
42	平成25年12月４日～５日	経営体育成基盤整備事業　荻ノ窪地区	県南広域振興局農整備農村整備室	石行遺跡	奥州市
43	平成25年12月９日	中間地域総合整備事業　江刺地区	盛岡市広域振興局農政部農村整備室	可能性あり１	葛巻町
44	平成25年12月10日	地域連携道路整備事業（スマートインター設置）	岩手県、ＮＥＸＣＯ東日本	中島遺跡	奥州市
45	平成25年12月13日	主要地方道重茂半島線川代地区地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	川代Ⅲ遺跡	宮古市
46	平成25年12月12日	主要地方道重茂半島線堀内～津軽石地区地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	可能性あり①	宮古市
47	平成25年12月16日	地域連携道路整備事業(羽場工区)	盛岡広域振興局土木部	因幡遺跡	盛岡市
48	平成25年12月17日	農地整備事業 (通作条件整備)	盛岡広域振興局農政部農村整備室	達磨遺跡	盛岡市
49	平成25年12月19日	主要地方道重茂半島線大沢～浜川目地区地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	可能性あり⑤	山田町
50	平成25年12月20日	亀ケ森地区県単治山工事 (災害関連緊急治山) 事業	県南広域振興局農政部花巻農林振興センター	エゾ穴遺跡	花巻市
51	平成26年１月７日	地域自主戦略事業（交通安全）	県南広域振興局土木部　道路河川環境課	安久沢東遺跡	奥州市
52	平成26年１月８日～９日	農地等災害復旧事業（ H25大船渡工区）	沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター農村整備室	泊貝塚・尾久根山遺跡、大洞貝塚	大船渡市
53	平成26年１月28日	地域連携道路整備事業　折壁地区（室根バイパス）	県南広域振興局土木部一関土木センター	浜横沢城	一関市
54	平成26年２月19日	一般国道340号和井内地区地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	和井内西遺跡	宮古市
55	平成26年２月25日	災害復旧事業	沿岸広域振興局水産部漁港復旧課	赤沼経塚・向館遺跡	大槌町
56	平成26年２月26日	災害復旧事業（鵜）地区	沿岸広域振興局水産部漁港復旧課	向山遺跡	釜石市
57	平成26年３月６日	畑地帯総合整備事業（担い手育成型）男神・米沢・湯田地区	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室	上里遺跡群	二戸市
58	平成26年３月13日～14日	畑地帯総合整備事業（担い手育成型）男神・米沢・湯田地区	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室	段ノ越遺跡	二戸市
59	平成26年３月19日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター	戸桜遺跡及び隣接地	北上市
60	平成26年３月24日	地域連携道路整備事業　一般県道大川松草線本町～大広地区	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	可能性あり、寺庭遺跡、寺庭遺跡隣接可能性あり	岩手町

3　分布調査一覧

1　大槌病院・山田病院・高田病院新築　　医療局

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	MG32-2214	寺野遺跡隣接地				大槌町小槌第22地割地内	平成25年4月3日	影響なし
2		可能性あり				山田町織笠第14地割地内	平成25年4月9日	要試掘
3						陸前高田市高田町大田地内	平成25年4月15日	影響なし

2　道路橋りょう調査費（H25地域連携道路整備事業予定）　　県南広域振興局農政部農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり				一関市滝沢字石法華地内	平成25年3月27日	要試掘

3　中山間地域総合整備事業　上小田代ぶどう沢地区　　県南広域振興局農政部農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						奥州市江刺区田原地内	平成25年4月4日	影響なし

4　県営体育成基盤整備事業　荻ノ窪地区　　県南広域振興局農政部農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE25-1065	小十文字遺跡	縄文・奈良・平安		集落跡	奥州市胆沢区南都田字小十文字地内	平成25年4月4日	要試掘
2	NE25-2033	石行遺跡	縄文・古代		散布地	奥州市胆沢区南都田字石行地内	平成25年4月4日	要試掘
3	NE25-1203	国文遺跡隣接地				奥州市胆沢区南都田字国文遺体	平成25年4月4日	影響なし
4	NE25-1332	糀谷田遺跡	縄文・古代		散布地	奥州市胆沢区南都田字糀谷田地区	平成25年4月5日	要試掘
5	NE25-1313	片子沢遺跡	縄文・古代		散布地	奥州市胆沢区南都田字片子沢地内	平成25年4月5日	要試掘
6	NE25-2205	森下遺跡隣接地				奥州市胆沢区南都田字森下地内	平成25年4月4日	要試掘
7	NE25-1375	見分森遺跡	平安		生産跡	奥州市胆沢区南都田字見分森地内	平成25年4月4日	要試掘

5　中山間地域総合整備事業　愛宕地区　　県南広域振興局農政部農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE24-1140	土橋遺跡	縄文		散布地	奥州市胆沢区若柳字土橋地内	平成25年4月4日	要試掘
2	NE23-2308	赤剥遺跡	縄文		散布地	奥州市胆沢区若柳字赤剥地内	平成25年4月4日	要試掘
3	NE24-1090	赤剥東遺跡	縄文		散布地	奥州市胆沢区若柳字赤剥地内	平成25年4月4日	要試掘
4	NE23-1154	宮沢原遺跡群	縄文		散布地	奥州市胆沢区若柳字宮沢原地内	平成25年4月4日	要試掘
5	NE23-2204	宮沢原成沢遺跡	縄文		散布地	奥州市胆沢区若柳字宮沢原地内	平成25年4月4日	要試掘
6	NE22-23196	宮沢原Ⅱ遺跡	縄文		散布地	奥州市胆沢区若柳字観音堂地内	平成25年4月4日	要試掘
7	NE23-2124	萱刈窪遺跡	縄文		散布地	奥州市胆沢区若柳字萱刈窪地内	平成25年4月4日	要試掘
8	NE22-2353	萱刈窪Ⅱ遺跡	縄文		散布地	奥州市胆沢区若柳字中萱刈窪地内	平成25年4月4日	要試掘
9		可能性あり①(上愛宕原遺跡隣接)				奥州市胆沢区若柳字上愛宕原地内	平成25年4月4日	要試掘
10	NE22-2310	三本柳遺跡	縄文		散布地	奥州市胆沢区若柳字林尻地内	平成25年4月4日	要試掘
11		可能性あり②（宮坂遺跡・三本柳遺跡隣接）				奥州市胆沢区若柳字宮坂地内	平成25年4月4日	要試掘
12	NE21-2308	旧穴山堰跡	中世～現代		生産遺跡	奥州市胆沢区若柳字馬止地内ほか	平成25年4月4日	影響なし
13	NE33-0229	十三軒遺跡	縄文		散布地	奥州市胆沢区若柳字下横沢原地内	平成25年4月4日	要試掘
14	NE33-0371	若柳野中遺跡	平安		散布地	奥州市胆沢区若柳字下横沢原地内	平成25年4月4日	要試掘
15		可能性あり③(小山萩森遺跡隣接)				奥州市胆沢区小山字萩森地内	平成25年4月4日	要試掘
16	NE33-0055	萩森北遺跡	縄文・弥生		散布地	奥州市胆沢区若柳字上萩森地内	平成25年4月4日	要試掘
17	NE22-2387	上横沢原遺跡	縄文		散布地	奥州市胆沢区若柳字上横沢原地内	平成25年4月4日	要試掘

6　経営体育成基盤整備事業　若柳中部地区　　県南広域振興局農政部農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		作屋敷遺跡隣接				奥州市胆沢区南部田字独光地内	平成25年4月5日	要試掘
2	NE24-0399	箸塚遺跡	縄文・古代		散布地	奥州市胆沢区若柳字箸塚地内	平成25年4月5日	要試掘
3	NE24-1329	若柳要害遺跡跡	中近世		城館跡	奥州市胆沢区南都田字要害地内	平成25年4月5日	要試掘
4	NE24-1378	芦の随遺跡	縄文・平安		散布地	奥州市胆沢区若柳字芦ノ随地内	平成25年4月5日	要試掘
5	NE24-2300	十文字遺跡	縄文・古代		散布地	奥州市胆沢区小山字下十文字地内	平成25年4月5日	要試掘
6		土橋遺跡隣接				奥州市胆沢区若柳地内	平成25年4月5日	要試掘
7	NE24-1335	山田城遺跡	中世		城館跡	奥州市胆沢区若柳字明神下地内	平成25年4月5日	要試掘
8	NE24-0188	明神下遺跡	平安		散布地	奥州市胆沢区若柳字土橋地内	平成25年4月5日	要試掘

7　農地整備事業（経営体育成型）武道地区　　盛岡広域振興局農政部農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	KE57-1101	八幡館遺跡	中世		城館跡	盛岡市玉山区芋田字下武道地区	平成25年4月10日	要試掘
2		八幡館遺跡近接				盛岡市玉山区芋田字下武道地区	平成25年4月10日	要試掘
3	KE57-1181	鶴塚館跡	中世		城館跡	盛岡市玉山区渋民字鶴塚地内	平成25年4月10日	影響なし
4	KE57-1155	鵜飼遺跡	縄文		集落跡	盛岡市玉山区渋民字鵜飼地内	平成25年4月10日	影響なし
5	KE57-1125	武道Ⅴ遺跡	縄文		散布地	盛岡市玉山区芋田字武道地内	平成25年4月10日	影響なし
6	KE57-0192	武道Ⅲ遺跡	縄文		散布地	盛岡市玉山区芋田字上武道地内	平成25年4月10日	影響なし
7	KE57-0197	武道Ⅳ遺跡	縄文		散布地	盛岡市玉山区芋田字武道地内	平成25年4月10日	影響なし

8　経営体育成基盤整備事業　和賀中部岩崎地区　　県南広域振興局農政部北上農村整備センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	ME63-1286	上須々孫遺跡	縄文		集落跡	北上市和賀町煤孫3地割地内	平成25年4月11日	要試掘
2		可能性あり③				北上市和賀町煤孫8地割地内	平成25年4月11日	要試掘
3	ME63-0194	花曽根上遺跡	平安		散布地	北上市和賀町岩崎花曽根地内	平成25年4月11日	要試掘
4		可能性あり④				北上市和賀町煤孫望野地内	平成25年4月11日	要試掘
5	ME73-0236	望野Ⅱ遺跡	旧石器～縄文		散布地	北上市和賀町煤孫新生地内	平成25年4月11日	要試掘
6		可能性あり⑤				北上市和賀町煤孫旭ヶ丘地内	平成25年4月11日	要試掘
7	ME73-1281	神楽遺跡	縄文		散布地	北上市和賀町岩崎新田神楽地内	平成25年4月11日	慎重工事

9　広域河川改修事業　　県南広域振興局土木部遠野土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	ME25-1111	張山遺跡	縄文中期		集落跡	遠野市附馬牛町安居台地内	平成25年4月12日	要試掘
2	MF25-1165	南村遺跡	縄文		散布地	遠野市附馬牛町安居台地内	平成25年4月12日	要試掘
3		可能性あり				遠野市附馬牛町安居台地内	平成25年4月12日	要試掘

10　農地整備事業（通作条件整備）上野地区　　県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JF10-1090	下村向	縄文・古代	縄文土器・土師器	散布地	一戸字小井田・下村向・大沢	平成25年4月25日	要試掘
2	JE19-2339	大沢遺跡	縄文・平安		散布地	二戸郡一戸町一戸字大沢	平成25年4月25日	要試掘
3	JF20-0064	上野遺跡	縄文～中世		集落跡	二戸郡一戸町一戸字上野、字北舘	平成25年4月25日	要試掘
4	JF10-1090	一戸田中遺跡	縄文・奈良・平安		散布地	二戸郡一戸町一戸字田中	平成25年4月25日	要試掘
5	JF20-1142	上地切Ⅱ遺跡	古代（平安）		集落跡	二戸郡一戸町岩舘字上地切	平成25年4月25日	要試掘

11　中山間地域総合整備事業大清水地区（農道上新井田線）　　県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	IF92-0023	上新井田	縄文		散布地	軽米町大字山内字上新井田	平成25年4月26日	要試掘
2	IF91-0358	小屋沢5	縄文		散布地	軽米町大字山内字小屋沢	平成25年4月26日	要試掘

12　一般県道崎山宮古線佐原～熊野町地区道路災害防除工事　　沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LG24-2111	熊野町遺跡	中世		番屋跡？	宮古市熊野町地内	平成25年5月7日	影響なし

13　農村災害対策整備事業　徳田南地区　　盛岡広域振興局農政部農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LE47-2090	白沢ＸＶ遺跡	平安		散布地	矢巾町大字白沢第2地割地内	平成25年5月13日	再協議
2	LE47-0071	飯島Ⅰ遺跡	古代		散布地	矢巾町大字北郡山第6地割地内	平成25年5月13日	再協議
3	LE47-2039	南谷地遺跡	古代		城館跡	矢巾町大字東徳田第6地割地内	平成25年5月13日	再協議
4	LE47-2090	重島遺跡	平安		散布地	矢巾町大字間野々第15地割地内	平成25年5月13日	影響なし
5	LE47-2203	下通遺跡	縄文・古代		散布地	矢巾町大字東徳田第11地割地内	平成25年5月13日	影響なし

14　地域連携道路整備事業（復興交付金）今泉地区　　沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NF67-1020	中井遺跡	縄文		散布地	陸前高田市気仙町今泉地内	平成25年5月14日	要試掘

15　中山間地域総合整備事業　市野々地区　　県南広域振興局農政部一関農村整備センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						一関市萩荘地内	平成25年5月22日	影響なし

16　ため池等整備事業（原則、既存施設有効活用する整備）　　盛岡広域振興局農政部農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	KE46-1338	学校屋敷遺跡	縄文		散布地	盛岡市玉山区松内字松内	平成25年6月3日	慎重工事
2	KE66-2260	大崎Ⅳ遺跡	縄文		散布地	滝沢村滝沢字砂込地内	平成25年6月3日	慎重工事
3	KE76-1276	野沢Ⅵ遺跡	縄文		散布地	滝沢村滝沢字野沢地内	平成25年6月3日	慎重工事
4	KE76-1265	狼久保Ⅰ遺跡	縄文		散布地	滝沢村滝沢字狼久保	平成25年6月3日	慎重工事
5	KE76-1283	狼久保Ⅱ遺跡	縄文		散布地	滝沢村滝沢字狼久保地内	平成25年6月3日	慎重工事
6	KE76-2049	狼久保Ⅲ遺跡	縄文		散布地	滝沢村滝沢字狼久保地内	平成25年6月3日	慎重工事
7	KE86-0000	木賊川遺跡	縄文		集落跡	滝沢村滝沢字湯大石渡	平成25年6月3日	慎重工事
8	KE85-0379	卯遠坂遺跡	縄文		集落跡	滝沢村滝沢字湯舟沢・卯遠坂地内	平成25年6月3日	慎重工事
9	KE85-0343	湯舟沢Ⅰ遺跡	縄文		散布地	滝沢村滝沢字湯舟沢地内	平成25年6月3日	慎重工事
10	KE85-0352	湯舟沢Ⅴ遺跡	縄文・弥生・平安		集落跡	滝沢村滝沢字湯舟沢地内	平成25年6月3日	慎重工事
11	KE85-0363	湯舟沢Ⅹ遺跡	縄文・弥生・古墳・平安		散布地	滝沢村滝沢字湯舟沢地内	平成25年6月3日	慎重工事
12	KE85-0390	湯舟沢ⅩⅥ遺跡	縄文		散布地	滝沢村滝沢字湯舟沢地内	平成25年6月3日	慎重工事
13	KE851229	湯舟沢ⅩⅢ遺跡	縄文		集落跡	滝沢村滝沢字湯舟沢地内	平成25年6月3日	慎重工事
14	KE85-1229	湯舟沢ⅩⅡ遺跡	縄文・平安		散布地	滝沢村滝沢字湯舟沢地内	平成25年6月3日	慎重工事
15	KE85-1265	湯舟沢ⅩⅤ遺跡	縄文・弥生		散布地	滝沢村滝沢字湯舟沢地内	平成25年6月3日	慎重工事
16	KE85-1274	けや木の平団地遺跡	縄文・弥生・平安		集落跡	滝沢村滝沢字湯舟沢・外山地内	平成25年6月3日	慎重工事
17	KE85-2229	外山Ⅲ遺跡	縄文・奈良・平安		散布地	滝沢村滝沢字湯舟沢・外山地内	平成25年6月3日	慎重工事
18	KE85-2226	外山Ⅰ遺跡	縄文・古代		集落跡	滝沢村滝沢字湯舟沢・外山地内	平成25年6月3日	慎重工事
19	KE85-2234	外山Ⅳ遺跡	縄文・弥生		散布地	滝沢村滝沢字外山地内	平成25年6月3日	慎重工事
20	KE85-2189	外山Ⅴ遺跡	縄文・平安		散布地	滝沢村滝沢字外山地内	平成25年6月3日	慎重工事
21	KE95-0029	平蔵沢遺跡	縄文・平安		集落跡	滝沢村滝沢字平蔵沢地内	平成25年6月3日	慎重工事
22	KE95-0029	平蔵沢Ⅰ遺跡	縄文		散布地	滝沢村滝沢字平蔵沢地内	平成25年6月3日	慎重工事
23	KE95-1101	黒沢2遺跡	縄文		散布地	滝沢村滝沢字黒沢地内	平成25年6月3日	慎重工事
24	KE95-1131	外久保Ⅲ遺跡	縄文		散布地	滝沢村鵜飼字外久保地内	平成25年6月3日	慎重工事
25	KE95-1161	外久保Ⅱ遺跡	縄文・古代		散布地・集落跡	滝沢村鵜飼字外久保地内	平成25年6月3日	慎重工事
26	KE95-2029	上の山遺跡	縄文		集落跡	滝沢村鵜飼字中鵜飼・外久保・上前田・地内	平成25年6月3日	慎重工事
27	KE95-2018	三日月神社遺跡	縄文		集落跡	滝沢村鵜飼字上鵜飼・上前田地内	平成25年6月3日	慎重工事
28	KE95-1054	大畑遺跡	縄文・平安		集落跡	滝沢村鵜飼字上鵜飼・高坊・上前田・栃平・地内	平成25年6月3日	慎重工事
29	KE95-2052	上山遺跡	縄文		散布地	滝沢村鵜飼字上鵜飼上山地内	平成25年6月3日	慎重工事
30	KE95-2062	上山１遺跡	縄文		散布地	滝沢村鵜飼字上山地内	平成25年6月3日	慎重工事
31	KE05-0062	大沢館遺跡	中世		城館跡	滝沢村大沢字若松・鷲が沢地内	平成25年6月3日	慎重工事
32	KE04-0389	館遺跡	中世		城館跡	滝沢村大沢字館地内	平成25年6月3日	慎重工事
33	KE04-1337	上篠木遺跡	縄文・奈良・平安		散布地	滝沢村大沢字上篠木地内	平成25年6月3日	慎重工事
34	KE04-1388	篠木エゾ館遺跡	縄文・中世		散布地・城館跡	滝沢村篠木字鳥谷平・中鼻・館沢・地内	平成25年6月3日	慎重工事
35	KE04-2346	細屋遺跡	縄文・平安		散布地	滝沢村大釜字白山地内	平成25年6月3日	慎重工事
36	KE04-2375	白山遺跡	縄文・弥生・平安		散布地	滝沢村大釜字白山地内	平成25年6月3日	慎重工事
37	KE04-2375	白山１遺跡	縄文・古墳・奈良・平安		散布地	滝沢村大釜字白山地内	平成25年6月3日	慎重工事
38	KE04-2382	八幡館山遺跡	中世		城館跡	滝沢村大釜字白山・千が窪地内	平成25年6月3日	慎重工事
39	KE04-2388	千が窪遺跡	平安		城館跡・集落跡	滝沢村大釜字千が窪地内	平成25年6月3日	慎重工事

17　ため池等整備事業下平地区　　県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JF50-0099	下野尻遺跡	縄文	縄文土器	散布地	一戸町平糠字下野尻	平成25年6月3日	慎重工事
2	JF50-1142	野尻Ⅲ遺跡	縄文	縄文土器	散布地	一戸町平糠字下野尻	平成25年6月3日	慎重工事
3	JF50-0342	名子根Ⅳ遺跡	縄文	縄文土器	散布地	一戸町平糠字名子根	平成25年6月3日	慎重工事

18　地域連携道路整備事業（一般国道340号立丸峠ほか1地区、主要地方道重茂半島大沢〜浜川目地区ほか6地区、一般県道宮古山田線豊間根地区）　沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	FL98-2170	新田遺跡	縄文	土器片	散布地	宮古市立丸峠地内	平成25年6月10日	要試掘
2		可能性あり1（新田遺跡北東側）				宮古市立丸峠地内	平成25年6月10日	要試掘
3		可能性あり2（新田遺跡南西側）				宮古市立丸峠地内	平成25年6月10日	影響なし
4	LF118-1335	和井内西遺跡	縄文		散布地	宮古市和井内字清水地内	平成25年6月11日	要試掘
5		可能性あり1				宮古市和井内字清水地内	平成25年6月11日	要試掘
6		可能性あり①				山田町大沢地内	平成25年6月20日	要試掘
7		可能性あり②				山田町大沢地内	平成25年6月20日	要試掘
8	LG84-2227	大沢館跡	中世	遺構	城館跡	山田町大沢地内	平成25年6月20日	要試掘
9		可能性あり③				山田町大沢地内	平成25年6月20日	要試掘
10	LG84-2273	紅山Ｂ遺跡	縄文	土器片	集落跡	山田町大沢地内	平成25年6月20日	要試掘
11		可能性あり④				山田町大沢地内	平成25年6月20日	要試掘
12	LG84-2381	浜川目沢田Ⅱ遺跡	縄文	遺構	集落跡	山田町大沢地内	平成25年6月20日	要試掘
13	LG84-2393	浜川目沢田Ⅰ遺跡	縄文	土器等	集落跡	山田町大沢地内	平成25年6月20日	要試掘
14		可能性あり⑤		土器等		山田町大沢地内	平成25年6月20日	要試掘
15	LG85-0183	川代Ⅲ遺跡	縄文		散布地	宮古市重茂第22地割川代赤坂地内	平成25年6月13日	要試掘
16	LG75-1238	石浜Ⅰ遺跡	縄文		集落跡	宮古市重茂第16地割石浜地内	平成25年6月13日	影響なし
17	LG75-0248	千鶏Ⅳ遺跡	縄文	遺構・遺物	集落跡	宮古市重茂第12地割上野地内	平成25年6月13日	要試掘
18						宮古市里地内	平成25年6月25日〜26日	影響なし
19	LG54-0113	小堀内Ⅰ遺跡	縄文・弥生・奈良		集落跡	宮古市赤前地内	平成25年6月25日	要試掘
20	LG54-0113	堀内Ⅳ遺跡	縄文・弥生・奈良		集落跡	宮古市赤前地内	平成25年6月25日	要試掘
21		可能性あり				宮古市赤前地内	平成25年6月25日	要試掘
22	LG54-0123	小堀内Ⅱ遺跡				宮古市赤前第14地割小堀内	平成25年6月19日〜20日	要試掘
23	LG54-0142	小堀内Ⅲ遺跡	縄文・奈良		散布地	宮古市赤前町第14地割小堀内	平成25年6月19日〜20日	要試掘
24	LG54-0160	赤前Ⅵ釜屋ヶ沢遺跡	縄文・古代・近世		散布地	宮古市赤前第13地割釜屋ヶ浜	平成25年6月19日〜20日	要試掘
25	LG54-0089	赤前Ⅴ柳沢遺跡	縄文・古代		散布地	宮古市赤前第12地割柳沢	平成25年6月19日〜20日	要試掘
26	LG54-1025	可能背あり1				宮古市赤前第7地割御蔵地	平成25年6月19日〜20日	要試掘
27	LG63-2133	羽々の下Ⅰ遺跡	縄文		散布地	山田町豊間根地内	平成25年6月12日	影響なし
28	LG63-2153	羽々の下Ⅱ遺跡	縄文・古代		散布地、生産遺跡	山田町豊間根地内	平成25年6月12日	影響なし

19　広域公園整備事業（施設）御所湖広域公園整備（矢櫃地区）　盛岡広域振興局土木部

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LE23-2240	町場Ⅵ遺跡	縄文(時期不明)	縄文土器、剥片	散布地	雫石町西安庭第47地割	平成25年6月11日	要試掘
2	LE23-2169	町場Ⅴ遺跡	縄文(時期不明)		散布地	雫石町西安庭第46地割	平成25年6月11日	要試掘

20　河川等災害復旧事業　二級市道沼の浜青の滝線　沼の浜地区　沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
29	KG84-1259	重津部Ⅰ遺跡	縄文		散布地	宮古市田老字重津部地内	平成25年6月12日	要試掘

21　地域連携道路整備事業　一般国道343号一ノ通地区　県南広域振興局土木部一関土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						一関市大東町大原字一ノ通〜字松ノ木田地内	平成25年6月27日	影響なし

22　社会資本整備総合交付金（復興枠）事業【地域連携道路整備事業】一般国道281号　久慈市山形町案内工区　県北広域振興局土木部

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JF46-1064	外山Ⅵ遺跡	縄文	縄文土器	散布地	山形町川井2地割	平成25年7月3日	影響なし

23　歩行空間整備事業　一般国道282号八坂神社工区　盛岡市広域振興局土木部岩手土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						八幡平市大更地内	平成25年7月4日	影響なし

24　（仮称）滝沢南スマートインターチェンジ設置　ネクスコ東日本株式会社、滝沢村

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	KE95-1277	大久保遺跡	縄文	遺構	散布地	滝沢村滝沢字大久保地内	平成25年7月25日	要試掘
2	KE95-1226	高屋敷Ⅱ遺跡	縄文		散布地	滝沢村滝沢字高屋敷平地内	平成25年7月25日	要試掘
3		可能性あり				滝沢村滝沢字高屋敷平地内	平成25年7月25日	要試掘

25　経営体育成基盤整備事業滝沢地区　県南広域振興局農政部一関農村整備センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり1				一関市真滝地内	平成25年8月1日	要試掘
2		可能性あり2				一関市真滝地内	平成25年8月1日	要試掘
3		可能性あり3				一関市真滝地内	平成25年8月1日	要試掘
4		可能性あり4				一関市真滝地内	平成25年8月1日	要試掘
5		可能性あり5				一関市真滝地内	平成25年8月2日	要試掘
6		可能性あり6				一関市真滝地内	平成25年8月2日	要試掘
7		可能性あり7				一関市真滝地内	平成25年8月2日	要試掘
8		可能性あり8				一関市真滝地内	平成25年8月2日	要試掘
9		可能性あり9				一関市真滝地内	平成25年8月2日	要試掘
10		可能性あり10				一関市真滝地内	平成25年8月2日	要試掘
11		可能性あり11				一関市真滝地内	平成25年8月2日	要試掘
12		可能性あり12				一関市真滝地内	平成25年8月2日	要試掘

26　県単交通安全施設整備事業　宇南田地区歩道設置工事地域づくり緊急改善事業　一般国道456号中田地区側溝修繕工事　県南広域振興局土木部

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE12-2353	宇南田遺跡	平安		集落跡	奥州市胆沢区南都田字南田地内	平成25年8月16日	要工事立会
2	NE15-2256	要害遺跡（止々井館遺跡）	平安・近世		散布地・城館跡	奥州市胆沢区南都田字本木地内	平成25年8月16日	周知
3	NE29-2125	宿ノ平遺跡	弥生		散布地	奥州市江刺区田原字宿の平地内	平成25年8月16日	周知

27　中山間地域総合整備事業　霞沢地区　　県南広域振興局農政部一関農村整備センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり1				一関市大東町渋民	平成25年8月21日	要試掘
2		可能性あり2				一関市大東町渋民	平成25年8月21日	要試掘
3	MF61-0118	和田沢遺跡及び隣接地	縄文	縄文土器、石器	散布地	一関市大東町渋民	平成25年8月21日	要試掘
4		可能性あり3				一関市大東町渋民	平成25年8月21日	要試掘
5		可能性あり4				一関市大東町渋民	平成25年8月21日	要試掘
6		可能性あり5				一関市大東町渋民	平成25年8月21日	要試掘
7		可能性あり6				一関市大東町渋民	平成25年8月21日	要試掘
8		可能性あり7				一関市大東町渋民、沖田	平成25年8月21日	要試掘
9		可能性あり8				一関市大東町沖田	平成25年8月21日	要試掘
10		可能性あり9				一関市大東町渋民、沖田	平成25年8月21日	要試掘
11		可能性あり10				一関市大東町渋民、沖田	平成25年8月21日	要試掘
12		可能性あり11				一関市大東町渋民、猿沢	平成25年8月21日	要試掘
13		可能性あり12				一関市大東町渋民	平成25年8月21日	要試掘
14		可能性あり13				一関市大東町渋民	平成25年8月21日	要試掘
15		可能性あり14				一関市大東町沖田	平成25年8月21日	要試掘

28　農村災害対策整備事業　湯本地区　　県南広域振興局長農政部北上農村整備センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						花巻市湯本地内	平成25年8月26日	影響なし

29　農地整備事業（通作条件整備）巻掘２期地区　　盛岡広域振興局農整備農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						盛岡市玉山区	平成25年8月28日	影響なし

30　農村地域防災減災事業　丹藤地区　　盛岡広域振興局農整備農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						岩手町川口第18第地割山下地内	平成25年8月28日	影響なし

31　中山間地域総合整備事業　江刺地区　　盛岡広域振興局農整備農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JF83-1290	小森遺跡	縄文	石器	散布地	葛巻町江刺地内	平成25年9月3日	要試掘

32　中山間地域総合整備事業上折壁地区　　県南広域振興局農政部一関農村整備センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり1				一関市室根町矢越	平成25年9月4日	要試掘
2		可能性あり2				一関市室根町矢越	平成25年9月4日	要試掘
3		可能性あり3				一関市室根町矢越	平成25年9月4日	要試掘
4		可能性あり4				一関市室根町矢越	平成25年9月4日	要試掘
5		可能性あり5				一関市室根町矢越	平成25年9月4日	要試掘
6		可能性あり6				一関市室根町矢越	平成25年9月4日	要試掘
7		可能性あり7				一関市室根町矢越	平成25年9月4日	要試掘
8		可能性あり8				一関市室根町矢越	平成25年9月4日	要試掘
9		可能性あり9				一関市室根町矢越	平成25年9月4日	要試掘
10		可能性あり10				一関市室根町矢越	平成25年9月4日	要試掘
11		可能性あり11				一関市室根町矢越	平成25年9月4日	要試掘

33　農地等災害復旧事業（H25大船渡工区）　　沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	MG21-2096	泊貝塚	縄文		貝塚	大船渡市三陸町越喜来字泊、小泊地内	平成25年8月29日	要試掘
2	NF49-0294	尾久根山遺跡	縄文		散布地	大船渡市赤碕町字跡浜地内	平成25年8月28日	慎重工事
3	NF94-1265	生形貝塚（生形館と複合）	縄文		貝塚	大船渡市赤碕町字山口地内	平成25年8月28日	要試掘
4	NF49-1341	大洞貝塚	縄文		貝塚・集落跡	大船渡市赤碕町字大洞地内	平成25年8月28日	要試掘
5	NF69-2084	門之浜遺跡	縄文・平安		散布地	大船渡市末先町字太田、鶴巻地区	平成25年8月27日	慎重工事

34　農地等災害復旧事業　　沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						陸前高田市　気仙町中堰、土手影、木場地内	平成25年9月4日	影響なし

35　農地等災害復旧事業　　沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						陸前高田市　米崎町字西風道、宇和方地内、小友町字小崎下、宇小谷地上地内	平成25年9月4日	影響なし

36　農地海岸保全施設災害復旧事業　　沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NF78-0166	鳥嶋Ⅰ遺跡		土師器	散布地	陸前高田市小友町字鳥嶋地内	平成25年9月4日	慎重工事
2	NF78-0178	塩谷Ⅰ遺跡	縄文		散布地	陸前高田市小友町字塩谷地内	平成25年9月4日	慎重工事

37　農地等災害復旧事業　　沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						陸前高田市　気仙町、竹駒町、矢作町、高田町、米崎町、小友町地内	平成25年9月5日	影響なし

38　地域連携道路整備事業　一般道田野畑岩泉線室場の2地区　　沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	KG31-0116	千丈熊っ平遺跡	縄文		散布地	田野畑村千丈地内	平成25年9月6日	要試掘
2		可能性あり①				田野畑村千丈地内	平成25年9月6日	要試掘
3	KG31-0161	千丈遺跡	縄文		散布地	田野畑村千丈地内	平成25年9月6日	要試掘

39　（仮称）矢巾スマートインター整備事業　　ネクスコ東日本㈱

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LE46-0144	煙山Ⅰ遺跡	古代		キャンプ地	矢巾町大字煙山第19地割字松ノ木地内	平成25年9月19日	要試掘

40　宇部川地区農業基盤整備事業　　県北広域振興局農政部農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JG51-1032 JG50-1319 JG50-1308	中新山遺跡 上新山一里塚 上新山遺跡	縄文・古代 江戸時代 古代		散布地 一里塚 集落跡	久慈市宇部町、野田村大字野田字中新山地内	平成25年9月24日	影響なし

41　地域自立活性化交付金事業　　県北広域振興局度土木部二戸土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	IF92-1056	まつっこ遺跡	縄文・古代	縄文土器、土師器	散布地	軽米町大清水地内	平成25年9月25日	影響なし

42　農地等災害復旧事業　　沿岸広域振興局農林部

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	MG52-0239	泉沢屋敷遺跡	縄文	縄文土器片、石器	集落跡	釜石市鵜住居第25地割	平成25年9月26日	要試掘調査
2	MG33-1008 MG33-0097 MG33-0092	夏本遺跡 沢山遺跡 狭田館跡	縄文、古代 縄文、平安 中世	縄文土器片、石器、住居跡、土師器、城館跡	集落跡 散布地 城館跡	大槌町大槌第24・23地割		影響なし
3						釜石３工区		影響なし
4						釜石９工区		影響なし

43　復興基盤総合整備事業　　沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NF28-0192	松館遺跡				大船渡市日頃市町字関谷	平成25年10月2日	影響なし

44　治山事業　西舘地区　　県南広域振興局林務部

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE57-0129	西舘遺跡	縄文後期・中世	石鏃、石器剥片	散布地・城館跡	奥州市前沢区生母字西舘	平成25年10月4日	影響なし

45　北上川上流狭隘地区治水対策事業　　岩手河川国道事務所

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	OE49-1088	曲田舘（大西舘）	中世	井戸跡、径塚	城館跡	藤沢町黄海字曲田地内	平成25年10月24日	要試掘
2	OE49-2092	青葉山城 （東永井館、東館）	室町	曲輪、土塁、空堀、涌井、腰郭	城館跡	花泉町永井字角屋	平成25年10月24日	要試掘

46　ため池等整備事業大川目地区　　県北広域振興局農政部農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JF38-0255	外里遺跡	縄文		集落跡	久慈市大川目町19地割地内	平成25年10月24日	工事立会

47　ため池等整備事業大川目地区　　県北広域振興局農政部農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JF38-0255	外里遺跡	縄文		集落跡	久慈市大川目町19地割地内	平成25年10月24日	工事立会

48　一関遊水地事業（第3遊水地　舞草水門）　　国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE76-2347	猪岡館（東城）	中・近世		城館跡	平泉町長島字須崎	平成25年10月31日	工事立会

49　一関遊水地事業（第3遊水地　管理用通路）　　国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE87-1186	平遺跡	縄文・古代		散布地	一関市舞川字平	平成25年10月31日	要発掘調査
2	NE87-2137	川岸遺跡	縄文		散布地	一関市舞川字川岸		影響なし

50　一関遊水地事業（第2遊水地　小堤）　　国土公津商東北地方整備局岩手河川国道事務所

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE66-1215	月舘Ｉ遺跡	縄文・平安・中世		散布地	平泉町長島字月舘	平成25年10月31日	影響なし

51　主要地方道二戸五日市線向川原地区御堂整備事業　　県北広域振興局土木部二戸土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JE36-1272	金森遺跡	縄文		散布地・配石	二戸市浄法寺町瑞保口・滝見橋	平成25年11月5日	影響なし

52　一般国道395号赤石峠地区道路整備事業　　県北広域振興局土木部二戸市土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	IF95-2325	玉川鉄山Ｂ遺跡	近世		製鉄関連跡	軽米町大字小軽米字屋敷	平成25年11月6日	影響なし
2	IF95-1384	玉川鉄山Ａ遺跡	近世		製鉄関連跡	軽米町大字小軽米字屋敷		
3	IF96-2163	赤石峠東の沢	近世		製鉄関連跡	軽米町大字小軽米字市野々		

53　一般国道340号長興寺地区道路整備事業　　県北広域振興局土木部二戸市土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JF12-1148	漆沢Ⅲ遺跡	縄文・古代		散布地	九戸村長興寺11−20−1外	平成25年11月6日	要試掘
2	JF12-1179	大道端遺跡	縄文・古代		散布地	九戸村長興寺9−87外		
3	JF12-1251	沖遺跡	縄文・古代		散布地	九戸村長興寺10−47外		

54　災害復旧事業吉里吉里地区及び白浜（鵜）地区　　沿岸広域振興局（水産部漁港復旧課）

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	MG34-0062	赤沼経塚	近世		経塚	大槌町吉里吉里第30地割字向山	平成25年11月12日	要試掘
2	MG34-0064	向館遺跡	中世		城館跡	大槌町吉里吉里四丁目	平成25年11月12日	要試掘

55　地域づくり緊急改善事業　宮野地区　　沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						大船渡市三陸町宮野地内	平成25年12月2日	影響なし

56　沿岸保全災害復旧事業　大沢漁港沿岸災害復旧（防潮堤）工事　　沿岸広域振興局水産部宮古水産振興センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LG94-0157	袴田Ⅰ遺跡	縄文		散布地	山田町大沢袴田地内	平成25年12月3日	影響なし
2	LG84-2393	浜川目沢田Ⅰ遺跡	縄文		散布地	山田町大沢浜川目地内	平成25年12月3日	要試掘
3	MG05-0039	極楽遺跡	縄文		散布地	山田町船越地内	平成25年12月2日	影響なし
4	MG05-0171	川半貝塚	縄文、不明		貝塚、散布地	山田町大沢浜川目地内	平成25年12月2日	要試掘
5	MG14-0376	田の浜館遺跡及び隣接地	中世		城館跡	山田町船越地内	平成25年12月3日	要試掘
6	MG14-0321	岩ヶ沢遺跡	縄文		集落跡	山田町船越地内	平成25年12月3日	要試掘
7	MG14-0310	船越御所遺跡	縄文、中世		散布地、城館跡	山田町船越地内	平成25年12月3日	要試掘
8	MG14-0217	船越Ⅴ遺跡	縄文		散布地	山田町船越湾台地内	平成25年12月3日	影響なし
9	MG14-0202	船越西館遺跡	縄文、中世、不明		散布地、城館跡城館跡、製鉄跡	山田町船越地内	平成25年12月3日	影響なし
10	MG14-0222	山ノ内Ⅰ遺跡	中世		城館跡	山田町船越地内	平成25年12月3日	影響なし

57　一般国道４号線　三ヶ尻交差点改良事業　　国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						金ケ崎町三ヶ尻地内	平成25年12月6日	影響なし

58　一級河川伊手川筋雲南地区河川災害復旧工事　　県南広域振興局土木部

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE09-2111	雲南遺跡	縄文		集落跡	奥州市江刺区藤里字雲南地区	平成25年12年6日	影響なし

59　一級河川荒谷川筋桝和橋下地区河川災害復旧工事　　県南広域振興局土木部

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE09-1329	久田遺跡	平安		散布地	奥州市江刺区伊手桝和地内	平成25年12月6日	影響なし
2	NE01-1358	陣馬館遺跡	縄文		祭祀跡			

60　中山間地域総合整備事業　真地野地区　　県南広域振興局農政部　農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NF69-0098	二渡遺跡	縄文		散布地	奥州市江刺区梁川字二渡地内	平成25年12月18日	要試掘

61　経営体育成基盤整備事業　南方地区　　県南広域振興局農政部　農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE34-1228	北赤堰遺跡	平安		散布地	奥州市胆沢区小山字北赤堰地内	平成25年12月18日	要試掘
2	NE35-2002	念仏塚遺跡	縄文		散布地	奥州市胆沢区小山字明山地内	平成25年12月18日	要試掘

62　経営体育成基盤整備事業　真城北地区　　県南広域振興局農政部　農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE27-1070	林前Ⅰ遺跡	平安		集落跡	奥州市水沢区真城字迎畑地内	平成25年12月19日	要試掘

63　経営体育成基盤整備事業　真城南地区　　県南広域振興局農政部　農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE36-0247	中林下遺跡	平安		散布地	奥州市水沢区真城字中林下地内	平成25年12月19日	要試掘
2	NE36-1265	要害遺跡	中・近世		城館跡	奥州市水沢区真城字要害地内	平成25年12月19日	要試掘
3	NE36-1297	北舘遺跡	中世		環濠屋敷跡	奥州市前沢区古城字北舘地内	平成25年12月19日	要試掘

64　北上川上流狭隘地区治水対策事業　下曲田地区、上曲田地区　　国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	OE49-1088	曲田館隣接地				一関市藤沢町黄海字曲田地内	平成26年1月29日	要慎重工事

65　地域連携道路整備事業（国道340号、県道津軽石停車場線付け替え工事）　　沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LF19-2060	袈帯遺跡	縄文・中世・近世	有	集落跡	宮古市和井内地内	平成26年2月18日	要試掘
2		可能性あり（袈帯遺跡隣接）				宮古市和井内地内	平成26年2月18日	要試掘

66　地域連携道路整備事業（国道340号、県道津軽石停車場線付け替え工事）　　沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LG53-1207	津軽石大森遺跡	縄文		散布地	宮古市津軽石4地割大森地内	平成26年2月19日	影響なし

67　急傾斜地崩壊対策事業山口五丁目地区　　沿岸広域振興局土木部宮古センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LG23-1253	高根遺跡隣接地	縄文			山口第11地割赤畑	平成26年3月11日	影響なし

68　①農地等災害復旧事業津軽石地区②農用地災害関連区画整理事業宮古地区（津軽石・赤前工区）　　沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						宮古市津軽石第2～10地割、赤前第1～9地割	平成26年2月20日	影響なし

69　基幹水利施設ストックマネジメント事業　　県南広域振興局農政部　農村整備室

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		上島遺跡近接地				奥州市水沢区姉体町上島～中島地内	平成26年3月12日	影響なし

4　工事立会一覧

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地
1	平成25年4月16日	経営体育成基盤整備事業　都鳥3期地区	県南広域振興局農政部農村整備室	漆町遺跡	奥州市
2	平成25年4月18日	小沢地区予防治山工事	宮古農林振興センター林務室	小沢Ⅱ大上遺跡	宮古市
3	平成25年4月18日	根市地区予防治山工事	宮古農林振興センター林務室	下根市遺跡	宮古市
4	平成25年5月17日	経営体育成基盤整備事業　日形地区	県南広域振興局農政部一関農村整備センター	小野遺跡	一関市
5	平成25年5月30日	一般国道106号宮古西道路地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	田鎖車堂前遺跡	宮古市
6	平成25年9月9日	和賀中部農業水利事業　右岸導水幹線用水路調整池建設工事 〃　右岸地区内幹線用水路 〃　導水幹線用水路(その４)工事	東北農政局和賀中部農業水利事業所	南部領伊達領境塚	金ケ崎町
7	平成25年10月7日	県営体育成基盤整備事業小瀬川地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	小瀬川館遺跡	花巻市
8	平成25年10月23日	盛岡地家裁庁舎機会設備等改修	仙台高等裁判所事務局	盛岡城外曲輪跡	盛岡市
9	平成25年10月24日	地域連携道路整備事業一般国道282号一本木地区狐森１の橋下流水路工事	盛岡広域振興局土木部	砂込Ⅰ遺跡	滝沢村
10	平成25年10月28日	ため池等整備事業　大川目地区第3号工事	県北広域振興局農政部農村整備室	中田遺跡	久慈市
11	平成25年10月29日	形成体育成基盤整備事業　都鳥3期地区	県南広域振興局農西部農村整備室	漆町遺跡	奥州市
12	平成25年11月1日	山口地区復旧治山工事	沿岸広域振興局農林部　宮古農林振興センター林務室	馬子舞Ⅱ遺跡	宮古市
13	平成25年11月6日	太陽光発電設備整備事業（一関工業高等学校太陽光発電設備設置工事）	教育企画室	釜淵遺跡	一関市
14	平成25年11月6日～8日	一般県道平泉停車場中尊寺線志羅山地区電線共同溝整備	県南広域振興局土木部一関土木センター	鈴沢の池遺跡	平泉町
15	平成26年1月10日	釜石地区中妻仮設公舎（仮称）整備事業	沿岸広域振興局経営企画部	中妻宝町遺跡	釜石市
16	平成26年1月14～16日	経営体育成基盤整備事業　古城２期地区	県南広域振興局農政部農村整備室	下町遺跡	奥州市
				中畑城遺跡	奥州市
				八反町遺跡	奥州市
				古城林遺跡	奥州市
17	平成26年1月27日	県単独急傾斜地崩壊対策事業　中沢の2地区急傾斜地崩壊対策工事　ほか１工事	沿岸広域振興局　大船渡土木センター	中沢浜貝塚	陸前高田市
18	平成26年2月4日	治水施設整備事業　一級河川添市川	県南広域振興局土木部花巻土木センター	高畑Ⅱ遺跡	花巻市
19	平成26年3月7日、10日	集落基盤整備事業（地域用水型）鹿妻新堰地区第6号工事	盛岡広域振興局農政部農村整備室	紫波城跡	盛岡市
20	平成26年3月7日	経営体育成基盤事業徳田第二・下矢次地区第18号工事	盛岡広域振興農政部農村整備室	高畑遺跡	矢巾町
21	平成26年3月18日	三陸高潮対策事業　二級河川小本川筋小本地区左岸堤防嵩上げ工事	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	腰廻館遺跡	岩泉町

報 告 書 抄 録

ふりがな	いわてけんないいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書名	岩手県内遺跡発掘調査報告書
副書名	平成25年度　国庫補助事業
シリーズ名	岩手県文化財調査報告書
シリーズ番号	第142集
編集者名	岩手県教育委員会
編集機関	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課
所在地	〒020−8570　岩手県盛岡市内丸10−１　TEL 019−629−6180
発行年月日	平成27年３月27日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東緯	調査期間	調査面積 (㎡)	調査 原因
		市町村	遺跡番号					
小島館（古舘）遺跡	西磐井郡平泉町長島字古館	3402	NE76-1383	38度59分8秒	141度8分38秒	20130821～0822	25	記録保存調査
大宮遺跡	盛岡市本宮字大宮	3201	LE16-2035	39度41分1秒	141度7分1秒	20130507～0508	960	記録保存調査
相去遺跡	北上市相去町高前檀	3206	ME75-1139	39度15分38秒	141度4分52秒	20130618～0621	50	記録保存調査
赤川Ⅱ遺跡	遠野市上郷町板沢	3208	MF56-2180	39度17分56秒	141度34分41秒	20130722～0820 20130909～1001	1,600	記録保存調査
町の内道下遺跡	胆沢郡金ケ崎町六原町の内道の下	3381	ME75-2064	39度14分54秒	141度3分50秒	20131021～1023	805	記録保存調査
町の内道上遺跡	胆沢郡金ケ崎町六原町の内道の下	3381	ME85-0011	39度14分39秒	141度3分43秒		1,540	
伍大坂Ⅱ遺跡	北上市和賀町岩崎	3206	ME64-2318	39度16分48秒	141度3分37秒	20131118～1122	35	記録保存調査
六軒遺跡	北上市上鬼柳２・３地割	3206	ME65-2055	39度16分42秒	141度3分48秒		10	
本郷野遺跡	北上市和賀町煤孫２地割	3206	ME63-1252	39度17分2秒	140度59分44秒	20131107～1108	40	記録保存調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
小島館（古舘）遺跡	散布地・城館跡	縄文・中近世	土坑2	かわらけ・北宋銭	
大宮遺跡	集落跡	古代・中世	溝跡1	なし	
相去遺跡	集落跡	平安	陥し穴状遺構1	なし	縄文か
赤川Ⅱ遺跡	散布地、狩場	縄文	陥し穴状遺構64・土坑2	縄文土器	
町の内道下遺跡	散布地	縄文・平安	掘立柱建物跡2・溝跡2・柱穴	なし	11世紀の遺構か
町の内道上遺跡	散布地	平安	なし	なし	
伍大坂Ⅱ遺跡	散布地	古代	竪穴住居跡1・溝跡8	なし	
六軒遺跡	散布地	平安	土坑1	土師器・須恵器	
本郷野遺跡	集落跡	縄文	土坑1	縄文土器	

岩手県文化財調査報告書　第142集

岩手県内遺跡発掘調査報告書

（平成25年度　国庫補助事業）

発行日　　平成27年3月27日

発　行　　岩手県教育委員会

〒020-8570　岩手県盛岡市内丸10−1

編　集　　岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課

印　刷　　小松総合印刷㈱

〒020-0827　岩手県盛岡市鉈屋町15−4

©岩手県教育委員会　2015

Iwate Board of Education 2015